IDWR

2026 年第 13 週(3 月 23 日～3 月 29 日)

静岡県 *Infectious Diseases Weekly Report Shizuoka*

感染症週報

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づく感染症発生動向調査より

作成　静岡県健康福祉部感染症対策課／静岡県環境衛生科学研究所

（2026 年 4 月 3 日公開）

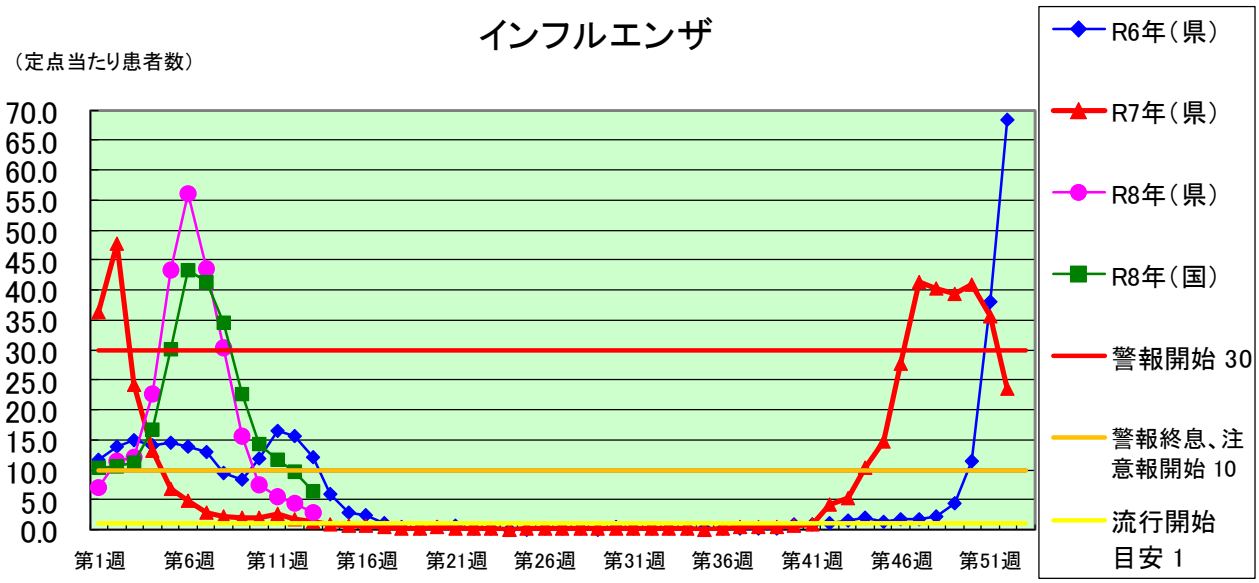
インフルエンザの警報レベルは終息しています（第13週2.87）

インフルエンザの発生動向調査は、9月1日から新シーズン（2025-2026シーズン）となり、新シーズン7週目となる、2025年第42週（10/13～19）の感染症発生動向調査で、静岡県内のインフルエンザの定点当たり患者数が流行開始の目安とされている1以上となり（第42週：4.23）、流行期となりました。第44週（10/27～11/2）には注意報開始基準の10を超え（第44週：10.40）、注意報レベルとなり、第47週（11/17～23）には警報開始基準の30を超え（第47週：41.26）、警報レベルとなりました（記録が残る2002年以降、2009年、2023年と並び、最も早い警報入りです（2009年第47週（11/16～）、2023年第47週（11/20～））。その後、横ばいの状況が続きましたが、2026年第1週（12/29～1/4）には6.94となり、警報終息基準値の10を下回りました（警報の期間：2025年第47週～2025年第52週（11/17～12/28））。その後、2026年第2週（1/5～11）には11.55となり、再度10を上回り注意報レベルとなり、第5週（1/26～2/1）には、30を上回り再び警報レベルとなりましたが、第10週（3/1～8）には警報解除基準値の10を下回り終息しました。

警報レベルは終息しましたが、流行の目安である1を超えており、流行期は続いています。県民の皆様には、もうしばらく、咳エチケットや換気、手洗いといった感染拡大防止対策に努めていただくとともに、今年の秋には、ワクチン接種を検討していただくようお願いします。

※インフルエンザの定点当たり患者数とは、県内139の内科・小児科定点医療機関から報告された1週間の患者数を施設数139で割った数値です。

※流行開始の目安とされている定点当たり患者数は1、注意報レベルは10、警報レベルの開始は30、警報レベルの終息は10です。

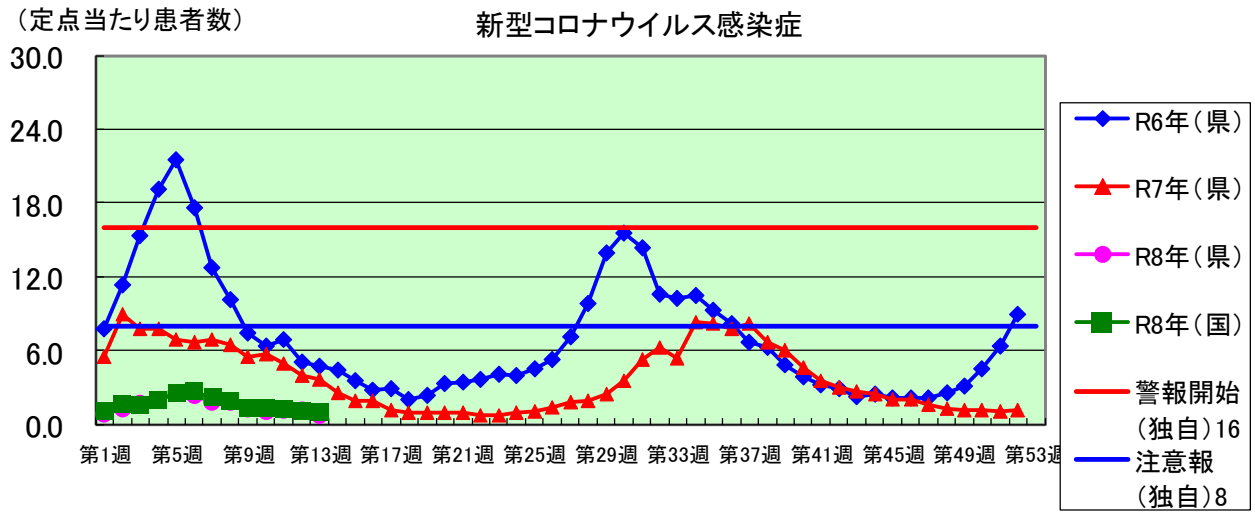


新型コロナウイルス感染症感染拡大注意報は解除されています（第 13 週 0.71）

2025 年第34週（8/18～24）の定点あたり患者数が 8.34 と注意報基準値の8を超えたため、8/29 に感染症拡大注意報を発令しました（昨年は第 30 週（7/22～28）がピークで定点当たり患者数が15．60、注意報は7/19～9/19の約9週間続きました）。第 36 週（9/1～7）は、7.80 と基準値の8を下回ったため、感染拡大注意報を解除しましたが、第 37 週（9/8～14）に8を超えたため、再度、注意報を発令しました。第 38 週（9/15～21）は、6.65 と基準値の8を下回ったため、感染拡大注意報は解除されています。（注意報期間：8/29～9/11、9/19～25）。

なお、9月に入ってからのコロナ患者さんは、学校の新学期が始まったためか、20歳未満が全体の4割を占めています。

現在、感染拡大注意報基準である定点当たり8人を下回っていますが、県民の皆様には、引き続き、他の感染症の発生動向も御確認いただき、必要に応じて咳エチケットや換気、手洗いといった感染拡大防止対策に御協力をお願いします。



RS ウイルス感染症の発生は少なめですが続いています（第 13 週 0.32）

RSウイルス感染症の定点医療機関当たり１週間の報告数が、2025 年第 10 週において 1.07 人と1を超えましたので、県は流行期に入ったと判断しました（RSウイルス感染症には、国が定める注意報や警報の基準値はありませんが、静岡県では 0.5 で「流行が始まる可能性あり」、1 以上で「流行期に入っている」と考えています。）

静岡県内のRSウイルス感染症の定点医療機関当たり１週間の報告数は、今年に入ってからは、平均 0.3 台の発生が続いています。昨年の同じ頃よりは少ないですが、今後発生数が増加し、流行が拡大する可能性があります。県内の患者の年齢は、80％以上が２歳以下です。

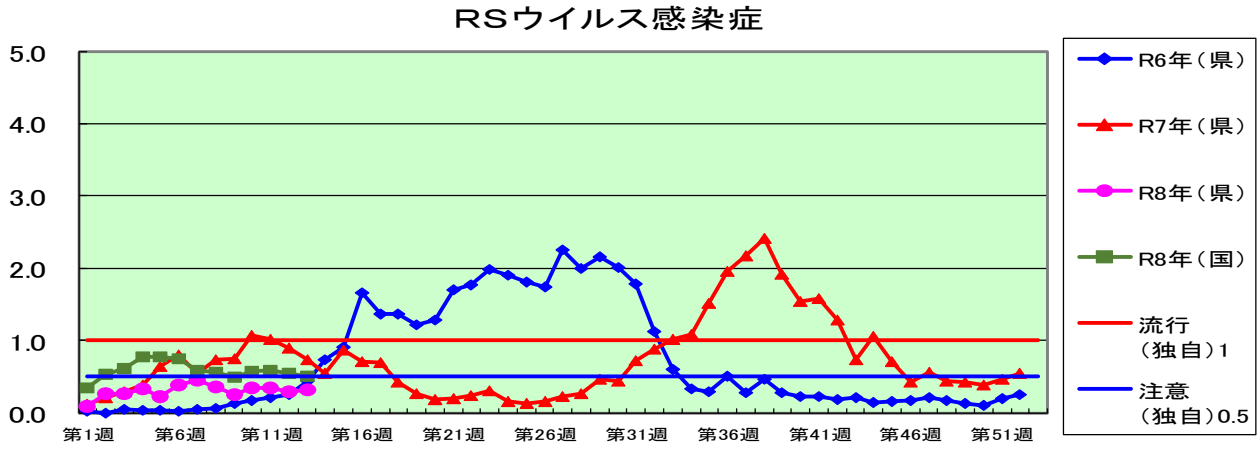
RSウイルス感染症は、飛沫感染（咳、くしゃみの飛び散り）や接触感染（鼻水や痰、だ液等を触る）でうつります。うつってから発症するまでの潜伏期間は約５日、人にうつす感染期間は発症後約１週間です。

症状は、発熱、咳、鼻水、喘鳴（ぜーぜー、ひゅーひゅーの呼吸）です。年長児や成人では、軽いかぜ症状ですむ場合も多いですが、乳児早期（特に２か月以下の赤ちゃん）に感染した場合は、急性細気管支炎や肺炎となり、哺乳低下や呼吸困難で入院したり、さらには人工呼吸管理を要したりすることもあります（感染した乳幼児の約 30 人に１人は入院するという報告もあります）。

RSウイルス感染症専用の有効な治療法はなく、水分補給の点滴や酸素投与などの対症療法のみです。赤ちゃんがいる家庭では、かぜ症状のある方から赤ちゃんにうつさないようにマスク着用や手洗いを励行してください。赤ちゃんが、咳鼻水やぜーぜーで、ミルクの飲む量が減ってきたら、早めに小児科医院を受診しましょう。

この感染症の詳しい説明は、国立健康危機管理研究機構（JIHS）の感染症情報提供サイトを御覧ください。

https://id-info.jihs.go.jp/diseases/alphabet/rs/010/rs-intro.html



百日咳の流行は収まってきています(第 13 週 2 人)

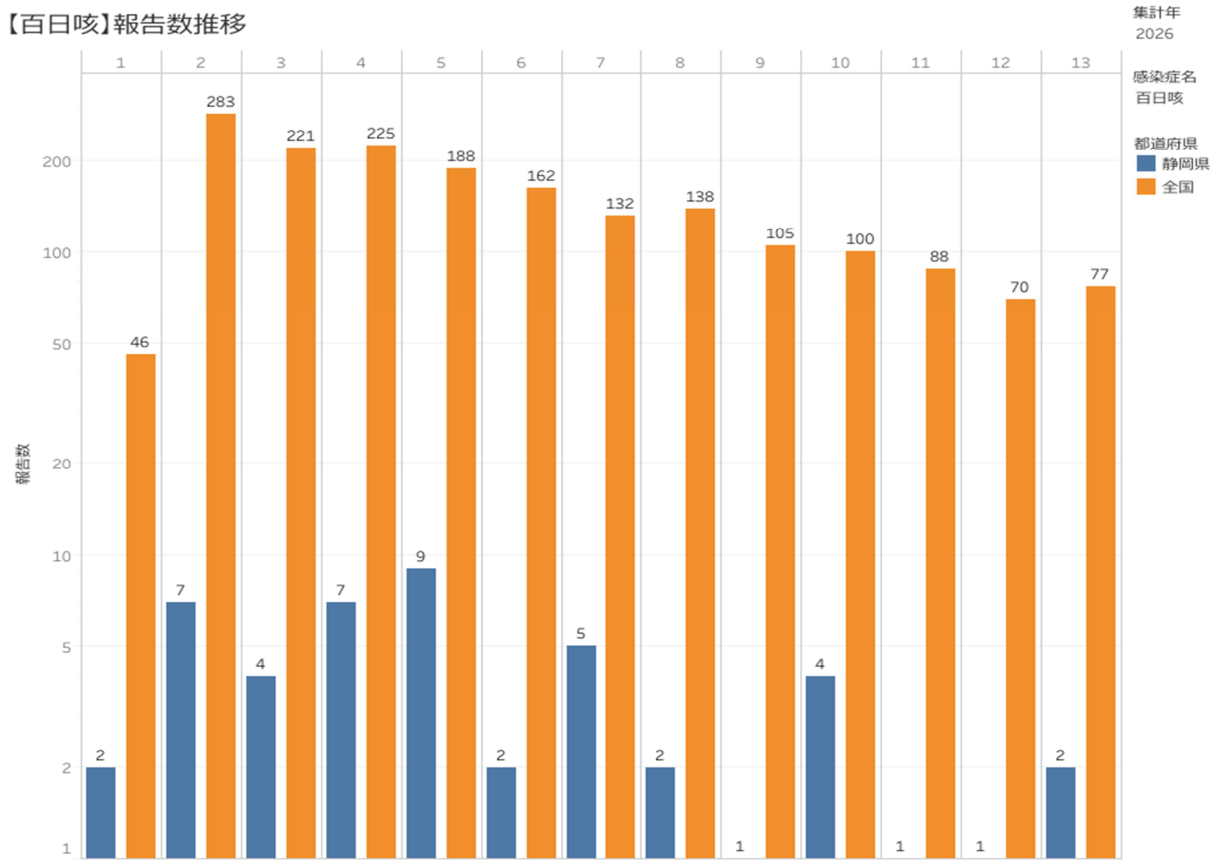
2025 年第6週(2/3～)以降、1週間に 1～2 人の百日咳患者が県内医療機関から報告されることが多くなっていましたが、第 14 週(3/31～4/6)に 5 人となり、第 15週(4/7～13)は 21 人と急増しました。その後は第20週(5/12～18)までは20人前後が続いた後、第21週(5/19～25)に40人まで増えてからは毎週増加し、第 28週(7/7～14)は 84人となり、全数把握感染症となった 2018 年以降の最高値を更新しました。(それまでの過去最高値は、2025年第26週(6/23～29)80人です。)発生数は徐々に減少し、第 39 週(9/22～28)には 19 人まで減少しました。2025 年末から、減少傾向にあり、流行が収まってきました(第 13 週 2 人:浜松市 2)。

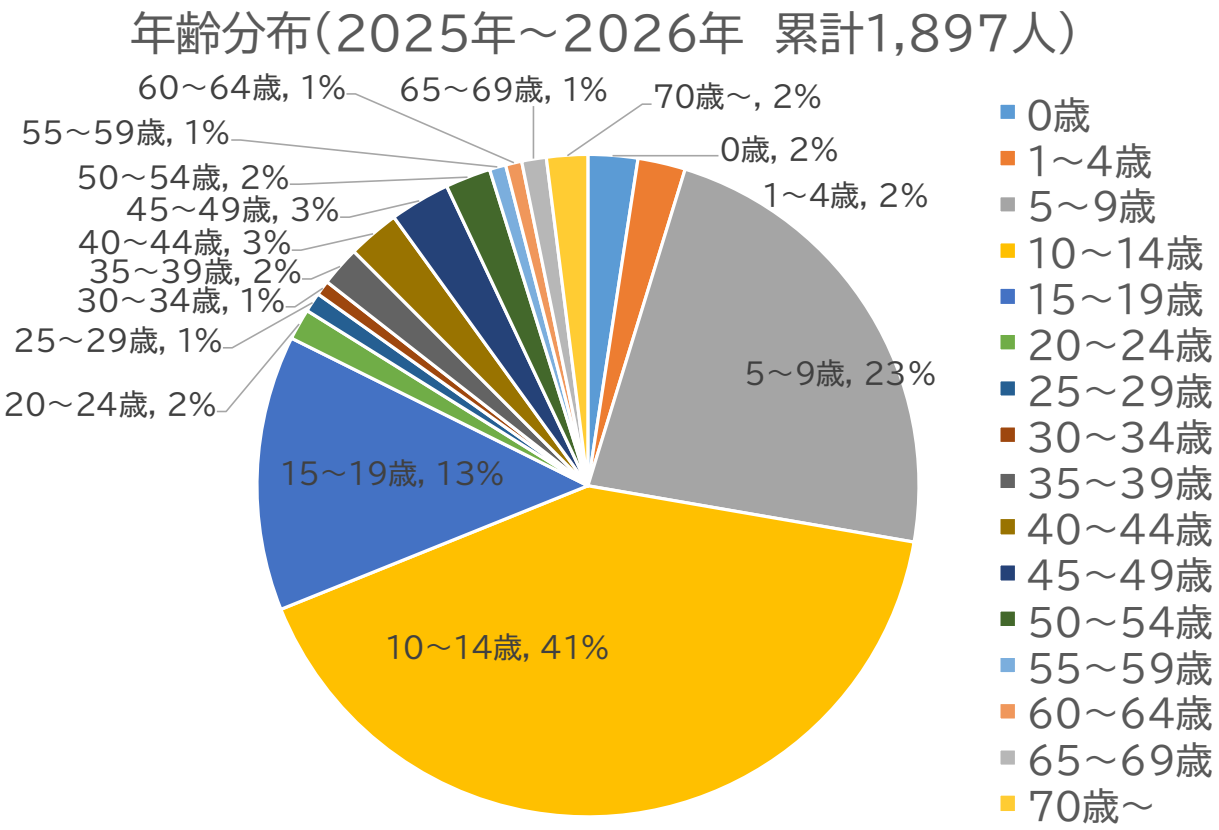
コンコンという咳が連発してよる眠りにくい場合には、マスク可能な方は着用して、早めに受診しましょう。

年齢分布では 10～14 歳が最多で、続いて5～9歳が多くなっています。百日咳を含むワクチンをまだ打っていない赤ちゃんがいる家庭で、兄弟が咳症状がある場合には赤ちゃんに近づかないようにしてください。

なお、生後6か月以下の赤ちゃんが百日咳にかかると呼吸がしにくくなるなど重症になる場合がありますので、2か月になったらすぐに5種混合ワクチン(百日咳ワクチンを含んでいます)を接種しましょう。また、咳のひどい人は赤ちゃんの世話を避けることも大切です。

この感染症の詳しい説明は、国立健康危機管理研究機構(JIHS)の感染症情報提供サイトを御覧ください。
https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ha/pertussis/010/




年齢分布(2025年～2026年　累計1,897人)
60～64歳, 1%
65～69歳, 1%
70歳～, 2%
55～59歳, 1%
0歳, 2%
50～54歳, 2%
1～4歳, 2%
45～49歳, 3%
40～44歳, 3%
35～39歳, 2%
30～34歳, 1%
25～29歳, 1%
20～24歳, 2%
5～9歳, 23%
15～19歳, 13%
10～14歳, 41%
0歳
1～4歳
5～9歳
10～14歳
15～19歳
20～24歳
25～29歳
30～34歳
35～39歳
40～44歳
45～49歳
50～54歳
55～59歳
60～64歳
65～69歳
70歳～

伝染性紅斑の警報レベルは終息しました（第 13 週 0.08）

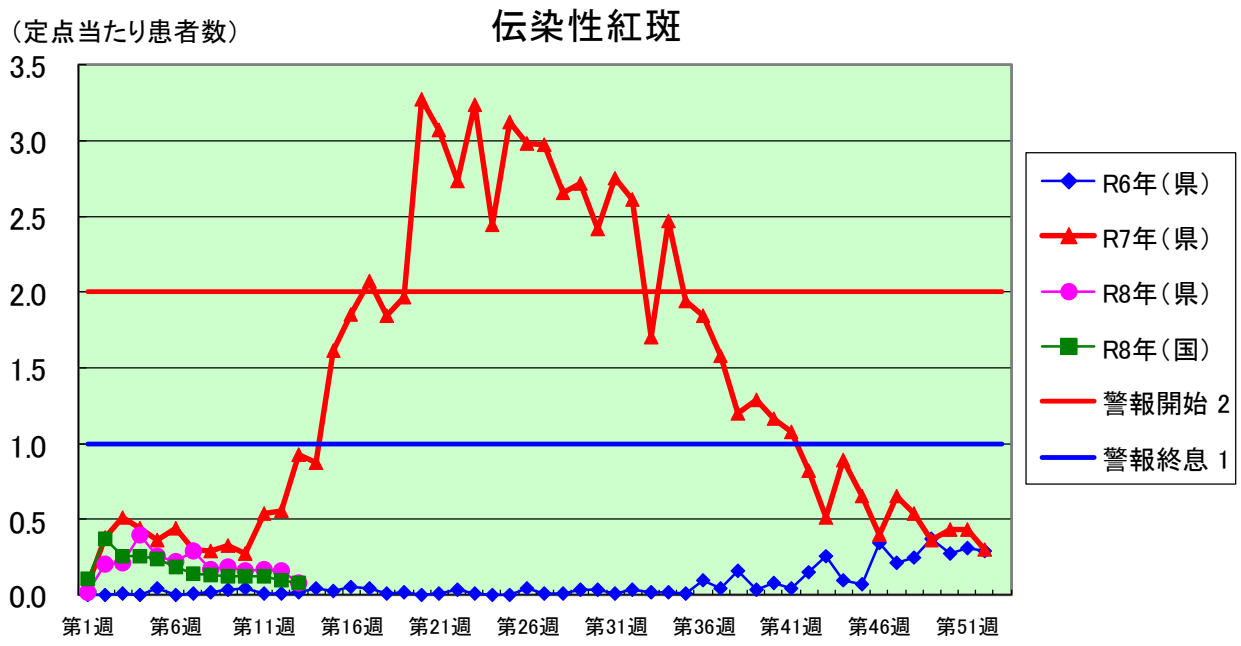
伝染性紅斑が、2025年第3週（1/13～19）の0.51以来、0.5を超えることが続いていましたが第17週（4/21～27）に警報基準値の2を超えました。第42週（10/13～19）は0.82となり、警報終息基準値の1を下回りました。（警報レベルの期間は25週間（4/21～10/12）でした。）

警報レベルとなったのは、2011年第25週（6/21～27）以来で、その時は第28週（7/12～18）まで継続しました。2025年第20週（5/12～18）には3.27となり、記録が残る2006年以降の最高値となりました。（これまでの過去最高値は、2011年第25週（6/20～26）の2.57です。）

直近の県内では、伝染性紅斑にかかる人は3～9歳の子どもが主になっています。子どもがかかっても、軽い風邪症状のあと、両頬や腕に淡いピンクの発疹が出ては消えるだけのことがほとんどで心配は要りません。

妊婦さんがかかると赤ちゃんがしんどくなることがありますので、妊婦さんで多数の子どもに接する方は、かからないようにマスク着用が望ましいです。

家族が伝染性紅斑になった場合、妊婦さんは産科医院に相談してください。



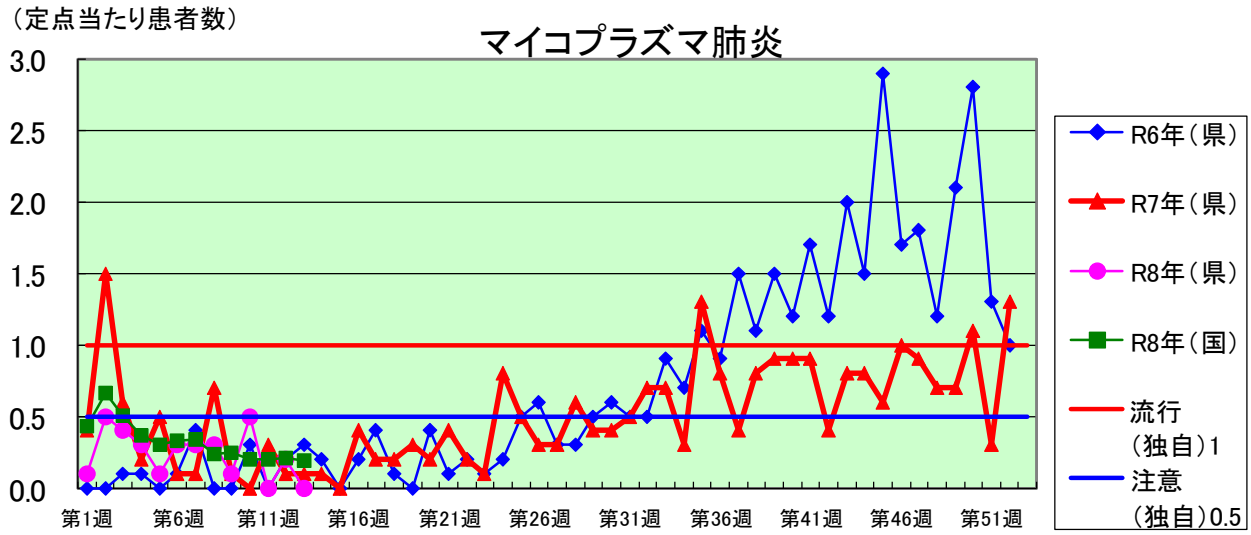
マイコプラズマ肺炎の流行は収まってきています（第 13 週報告なし）

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマによる細菌感染症です。感染経路は、主に飛沫感染と接触感染で、家族内や学校など濃厚接触が多い場所で、しばしば集団発生が起こります。潜伏期間は2～3週間程度で、主な症状は発熱、全身倦怠感、頭痛、咳などで、解熱後も咳が長く続くことがあります。必ずしも肺炎にならず、上気道炎や気管支炎も多いです。全年齢層に感染が見られますが、若年齢層に多く、14 歳以下が6～8割を占めます。過去の疫学調査研究では、3～7年程度に1回国内で大きな流行が起こっています。

2024 年第 29 週（7/15～21）以降、定点当たり患者数※0. 5 以上が続き、第 35 週（8/26～9/1）は 1.1 となりました。国は基準値を定めていませんが、県感染症情報センターでは、0.5 以上が継続した場合、流行が始まる可能性あり、1以上では確実に流行していると考えています。（県内の定点当たり患者数が1以上となったのは、2019 年第 51 週（12/16～22）以来です。）

2025 年に入ってからは、第 2 週（1/6～12）に 1.5 まで上昇しましたが、その後は 0～0.8（平均 0.3）で推移していました。第35 週（8/25～31）は再度1を超え、1.3となり、第 50 週（12/8～14）にも 1.1 となっていましたが、2026 年第 11 週（3/9～15）には報告が0となり、流行は収まってきています。

マイコプラズマ肺炎の過去の流行では、1、2年間にわたって患者数が多い期間が続いていますので、県民の皆様には、引き続き、人混みでのマスク着用、咳エチケット、適切な換気と手洗いなど、飛沫・接触感染の対策に御協力をお願いします。



◆全数届出の感染症

感染症分類	感染症名	保健所名	報告数
2類感染症	結核	富士	3
		中部	1
		西部	1
		浜松市	1
5類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	静岡市	1
	後天性免疫不全症候群	浜松市	2
	侵襲性肺炎球菌感染症	静岡市	1
		浜松市	1
	水痘（入院例に限る）	静岡市	1
	梅毒	東部	1
		中部	1
		浜松市	2
	百日咳	浜松市	2

保健所別の警報状況

警　報　なし

注意報　水痘（西部）

警報・注意報・流行期入りの目安（新型コロナウイルス感染症以外

区分	説明
警報レベル	大きな流行が発生または継続しつつあると疑われる
注意報レベル	流行の発生前：今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高い 流行の発生後：流行が継続していると疑われる
流行入りの目安 （インフルエンザのみ）	定点医療機関あたり患者数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられる

※1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

疾病	警報レベル 開始基準値	警報レベル 終息基準値	注意報レベル 基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	－
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	－
感染性胃腸炎	20.0	12.0	－
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	－
伝染性紅斑	2.0	1.0	－
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	－
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

警報・注意報の目安（新型コロナウイルス感染症）

新型コロナウイルス感染症の警報・注意報の基準値は、静岡県が独自に設定しています。注意報レベルは、1 週間当たりの新規感染者数が人口 10 万人当たり 200 人以上となった水準を保健所ごとに設定し、感染者が急増するおそれがある状況を指します。警報レベルは、人口 10 万人当たり 400 人以上となった水準を設定し、感染者の増加が続き、医療のひっ迫のおそれがある状況を指します。国が基準値を設定するまでの間、暫定的にこの基準値に基づき注意喚起します。

新型コロナウイルス感染症（県独自）

保健所名	注意報基準値	警報基準値
賀茂	13.0	26.0
熱海	9.0	18.0
東部	8.0	16.0
御殿場	17.0	34.0
富士	11.0	22.0
県東部地域	10.0	20.0
静岡市	6.0	12.0
中部	8.0	16.0
県中部地域	7.0	14.0
西部	10.0	20.0
浜松市	7.0	14.0
県西部地域	8.0	16.0
県全体	8.0	16.0

環境衛生科学研究所
感染症情報センター

感染症発生動向調査

令和8年第13週(3/23～3/29)の動向

警報・注意報・流行期入りの目安

警報・注意報のねらいは、感染症発生動向調査における定点把握感染症のうち、公衆衛生上その流行現象の早期把握が必要な疾病について、流行の原因究明や拡大阻止対策などを講ずるための資料として、都道府県衛生主幹部局や保健所など第一線の衛生行政機関の専門家に向け、データの何らかの流行現象がみられることを、一定の科学的根拠に基づいて迅速に注意喚起することにあります。

ほとんどの感染症では、時間の経過とともに流行が地域的に拡大あるいは移動していくことから、流行拡大を早期に探知するためには、小区域での流行状況を広域的に監視することが重要と考えられます。

「警報レベル」は、大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを示します。

「注意報レベル」は、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

「警報レベル」は、1週間の定点当たり報告数がある基準値（開始基準値）以上で開始し、別の基準値（終息基準値）未満で終息します。

「注意報レベル」は1週間の定点当たり報告数がある基準値以上の場合です。警報・注意報レベルの基準値は、これまでの感染症発生動向調査データから、下記の通り定められています。

インフルエンザには、「流行期入りの目安」として、「1」があります。

1週間の定点医療機関あたり報告数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられます。ただし、あくまでも目安であり、1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

【五類感染症（定点把握）の追加：急性呼吸器感染症（ARI）】

将来的なパンデミックに備え、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等、すでに感染症発生動向調査の対象疾病となっている感染症以外が原因となる急性呼吸器感染症の発生傾向や発生水準を把握する目的で、急性呼吸器感染症（ARI）が、五類定点把握感染症に追加されることとなりました。（令和6年11月29日　感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則改正　令和7年4月7日施行）

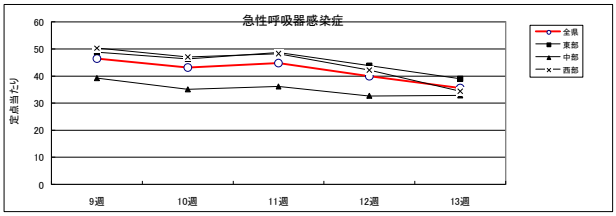
令和7年第15週から急性呼吸器感染症（ARI）も報告の対象となっています。

	警報レベル		注意報レベル
疾病	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	―
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	―
感染性胃腸炎	20.0	12.0	―
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	―
伝染性紅斑	2.0	1.0	―
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	―
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

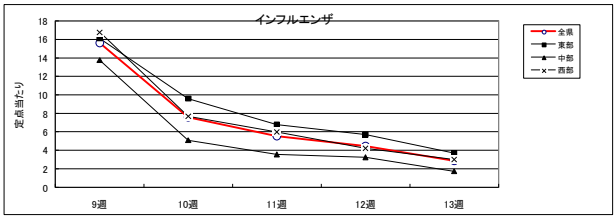
【今週のコメント】

第13週（3/23～3/29）の感染症発生動向調査では、インフルエンザの定点当たり報告数が2．87人となり、前週の4．47人から減少しました。急性呼吸器感染症（ARI）の定点当たり報告数は、35．59人となり前週の39．91から減少、新型コロナの定点当たり報告数は、0．71人となり前週の1．14人から減少しました。

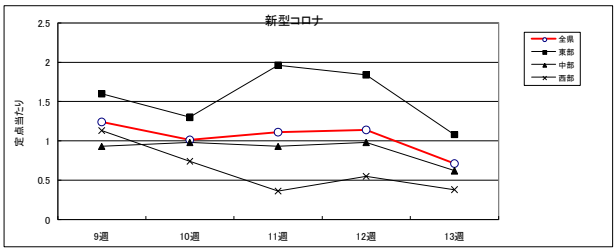
【急性呼吸器感染症】
全県で罹患数4,947、定点当たり35.59の患者発生があり、前週の39.91から減少した。定点当たり東部地区で39.02、中部地区で32.86、西部地区で34.38の患者が発生した。



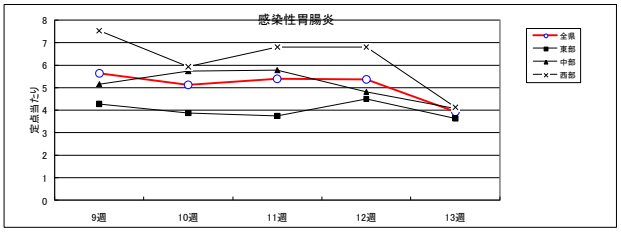
【インフルエンザ】
全県で罹患数399、定点当たり2.87の患者発生があり、前週の4.47から減少した。定点当たり東部地区で3.70、中部地区で1.74、西部地区で3.00の患者が発生した。



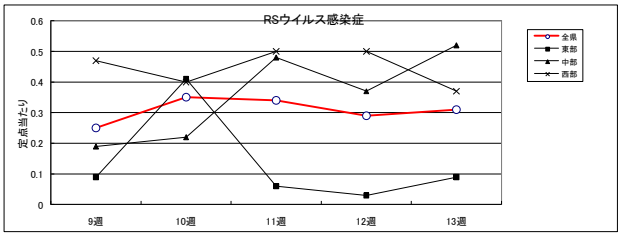
【新型コロナ】
全県で罹患数98、定点当たり0.71の患者発生があり、前週の1.14から減少した。定点当たり東部地区で1.08、中部地区で0.62、西部地区で0.38の患者が発生した。



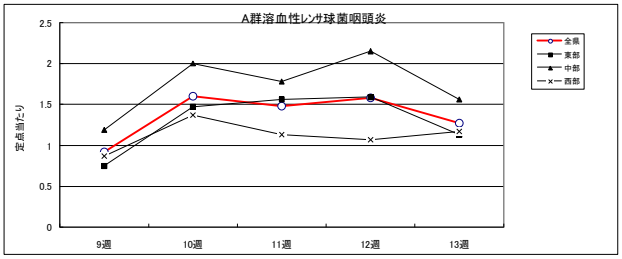
【感染性胃腸炎】
全県で罹患数350、定点当たり3.93の患者発生があり、前週の5.37から減少した。定点当たり東部地区で3.63、中部地区で4.07、西部地区で4.13の患者が発生した。



【RSウイルス感染症】
全県で罹患数28、定点当たり0.31の患者発生があり、前週の0.29から若干増加した。定点当たり東部地区で0.09、中部地区で0.52、西部地区で0.37の患者が発生した。



【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】
全県で罹患数113、定点当たり1.27の患者発生があり、前週の1.58から減少加した。定点当たり東部地区で1.13、中部地区で1.56、西部地区で1.17の患者が発生した。



【その他】

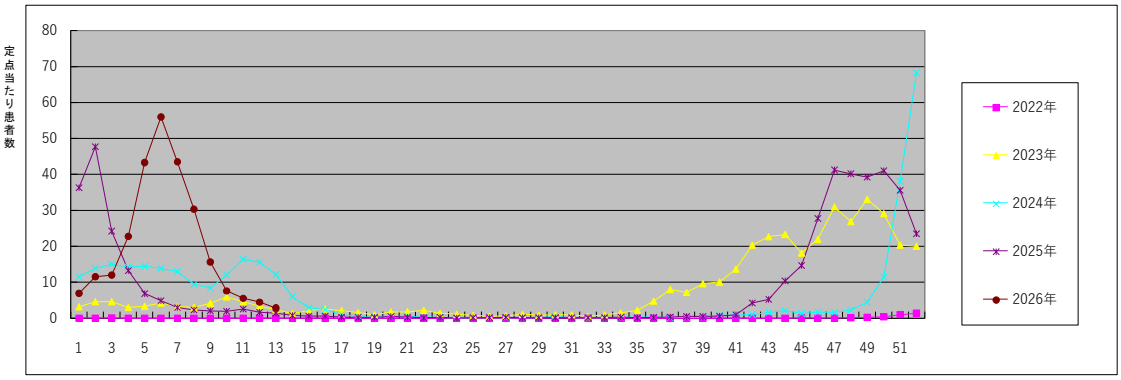
・麻疹、風疹は患者発生なし。

・全国のインフルエンザの定点当たりの患者報告数は6.46で前週の9.75から減少した。警報レベルの保健所を有する都道府県は31で前週の43から減少し、注意報レベルの保健所を有する都道府県は13で前週の25から減少した。

・全国の新型コロナの定点当たりの患者報告数は1.07で前週の0.96から減少した。

・静岡県において第13週に定点当たり患者報告数の多かった疾病は、順に1)急性呼吸器感染症(35.59)、2)感染性胃腸炎(3.93)、3)インフルエンザ (2.87)、4)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (1.27)、5)新型コロナ (0.71)、6)RSウイルス感染症(0.31)であった。

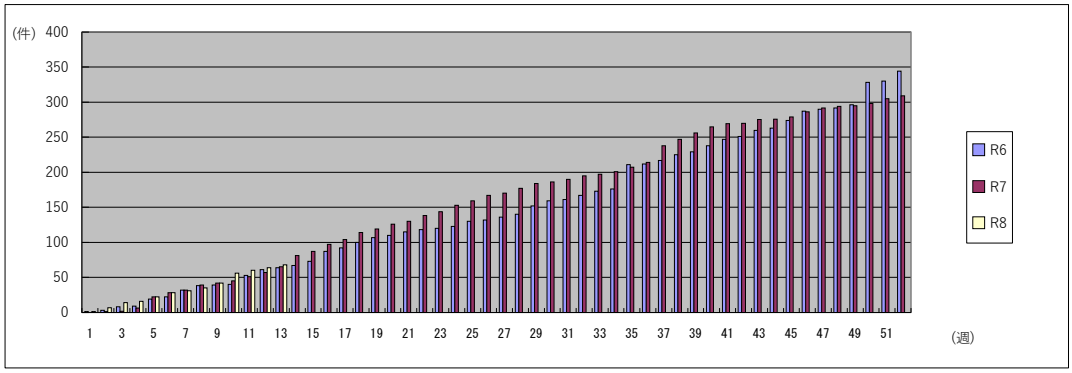
【インフルエンザ罹患数推移】



【県内衛生研究所におけるインフルエンザウイルス検出状況（2025/2026シーズン）】　（令和7年第36週～）

週	型	A/H1	A/H3	B/山形	B/Victoria
		pdm09		系統	系統
R7年　第36週～第41週	静岡県	2			2
	静岡市				
	浜松市				
R7年　第42週～第45週	静岡県		13		2
	静岡市	1	2		
	浜松市	1	1		
R7年　第46週～第50週	静岡県		9		
	静岡市		4		
	浜松市		20		
R7年　第51週～第3週	静岡県	1	8		
	静岡市		6		
	浜松市		8		1
R8年　第4週～第8週	静岡県				3
	静岡市				3
	浜松市				5
R8年　第9週	静岡県				2
	静岡市				
	浜松市				2
R8年　第10週	静岡県				
	静岡市				1
	浜松市				2
R8年　第11週	静岡県				
	静岡市				
	浜松市				
R8年　第12週	静岡県				
	静岡市				1
	浜松市				
R8年　第13週	静岡県				
	静岡市				
	浜松市				
合　計		5	71	0	24

【梅毒の発生状況（静岡県・累計）】
・第13週までの累計は68件で、前年同期比1.05倍であった。



急性呼吸器感染症（ARI）について

令和7年4月7日から急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスが始まりました。

急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスは、症例定義に一致する患者数の発生を把握する症候群サーベイランスです。

平時から、①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備、③国内の急性呼吸器感染症の発生状況について、県民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制を整備するために、急性呼吸器感染症が5類感染症となりました。

症例定義

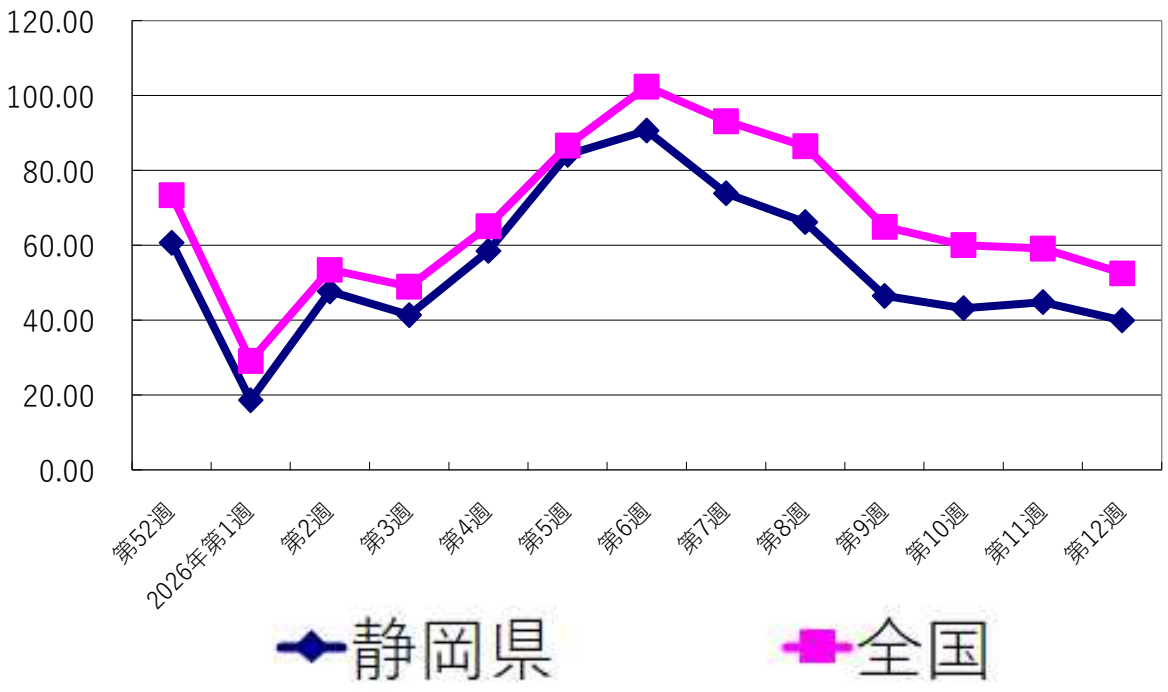
咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ異常の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

急性呼吸器感染症（ARI）報告数

報告数は県内139の定点医療機関からの報告数です。

管轄保健所	報告数	定点当たり
県合計	4,947	35.59
賀茂	31	10.33
熱海	104	17.33
東部	710	35.50
御殿場	588	98.00
富士	518	34.53
静岡市	846	33.84
中部	534	31.41
西部	600	31.58
浜松市	1,016	36.29

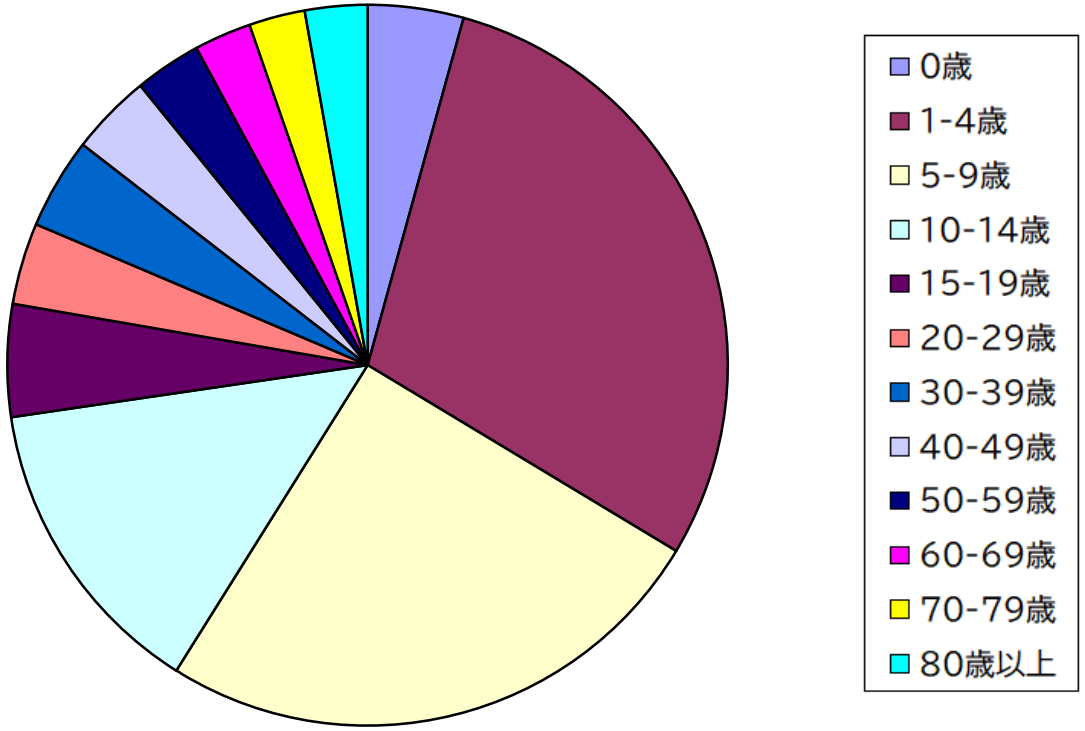
（全国　50.87）



	2026年 第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	第8週	第9週	第10週	第11週	第12週	第13週
静岡県	18.60	47.62	41.30	58.53	84.19	90.65	73.88	66.21	46.44	43.17	44.76	39.91	35.59
全国	29.12	53.43	48.91	65.15	86.68	102.39	93.17	86.46	64.96	60.08	59.18	52.51	50.87

急性呼吸器感染症（ARI）年齢別報告割合

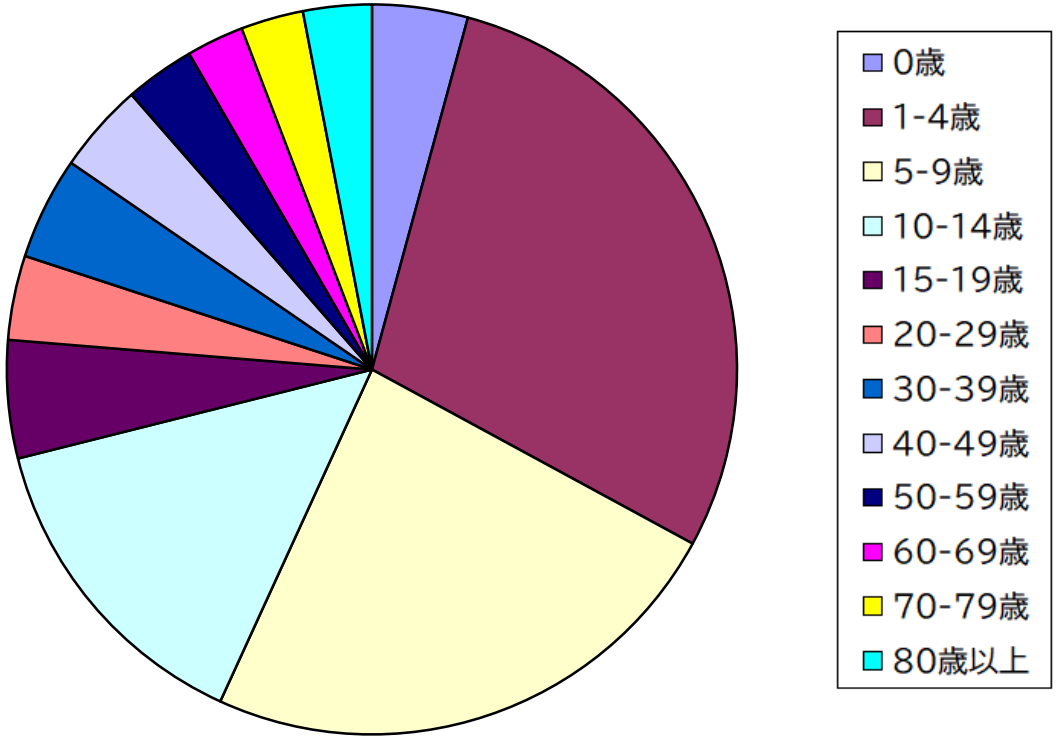
2025年第41週～第52週の合計（10/6～12/28）



年齢	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳
合計割合	4.3%	29.3%	25.3%	13.8%	5.0%	3.7%

年齢	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
合計割合	4.1%	3.6%	3.0%	2.6%	2.5%	2.8%

2026年第1週～第13週の合計（12/29～3/29）

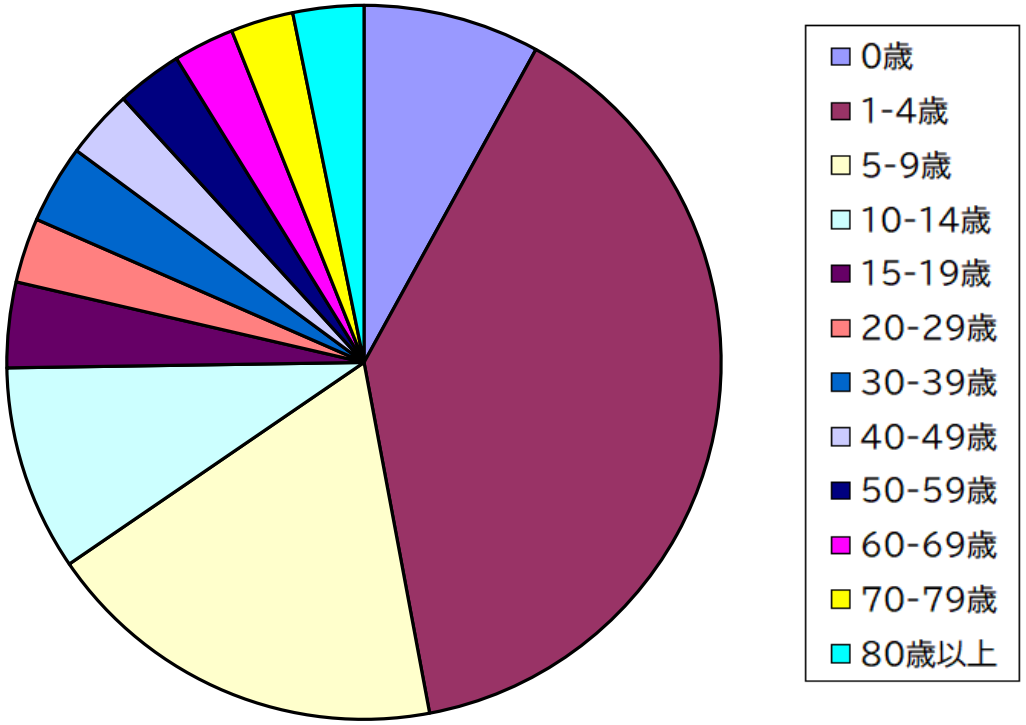


年齢	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳
合計割合	4.2%	28.7%	23.9%	14.3%	5.2%	3.7%

年齢	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
合計割合	4.6%	4.0%	3.1%	2.5%	2.8%	3.0%

急性呼吸器感染症（ARI）年齢別報告割合

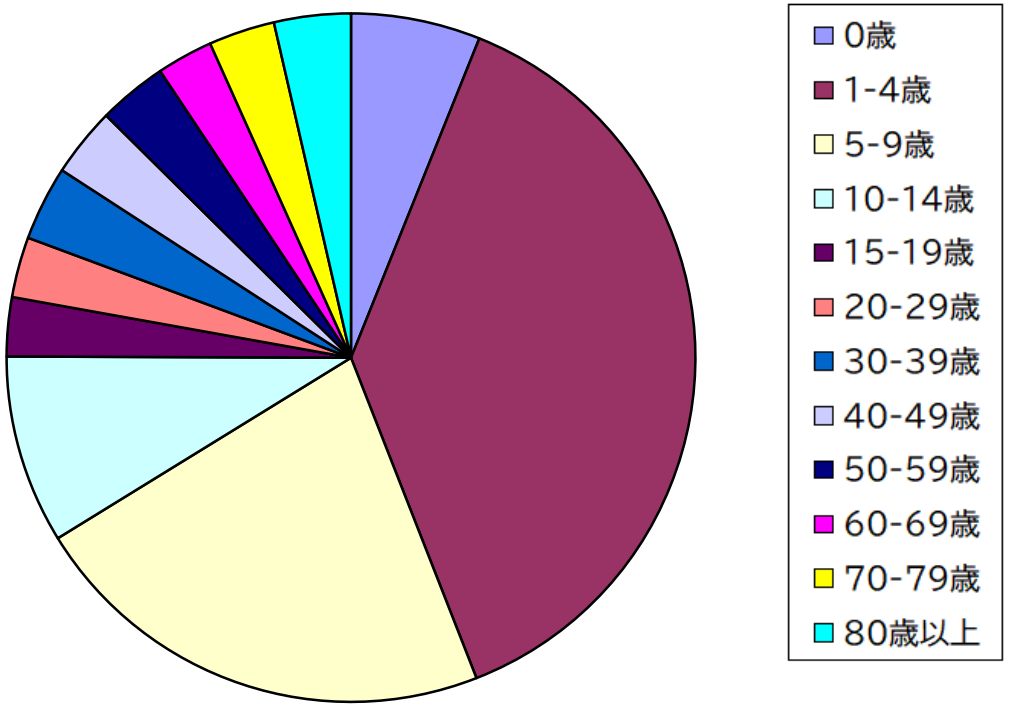
2025年第15週～第27週の合計（4/7～7/6）



年齢	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳
合計割合	7.8%	39.1%	18.7%	9.4%	3.8%	2.9%

年齢	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
合計割合	3.5%	3.1%	2.9%	2.7%	2.8%	3.2%

2025年第28週～第40週の合計（7/7～10/5）

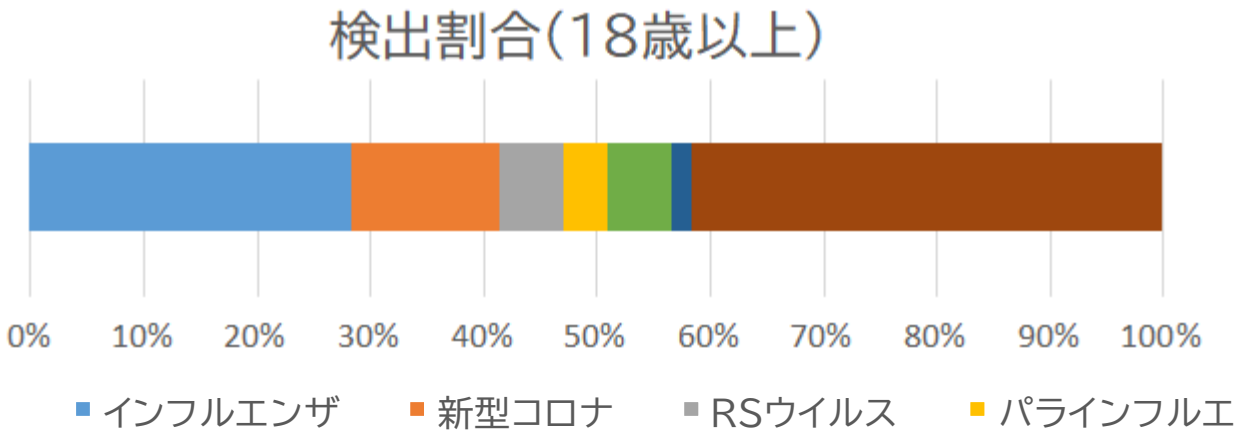


年齢	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳
合計割合	6.1%	38.0%	22.2%	8.8%	2.8%	2.8%

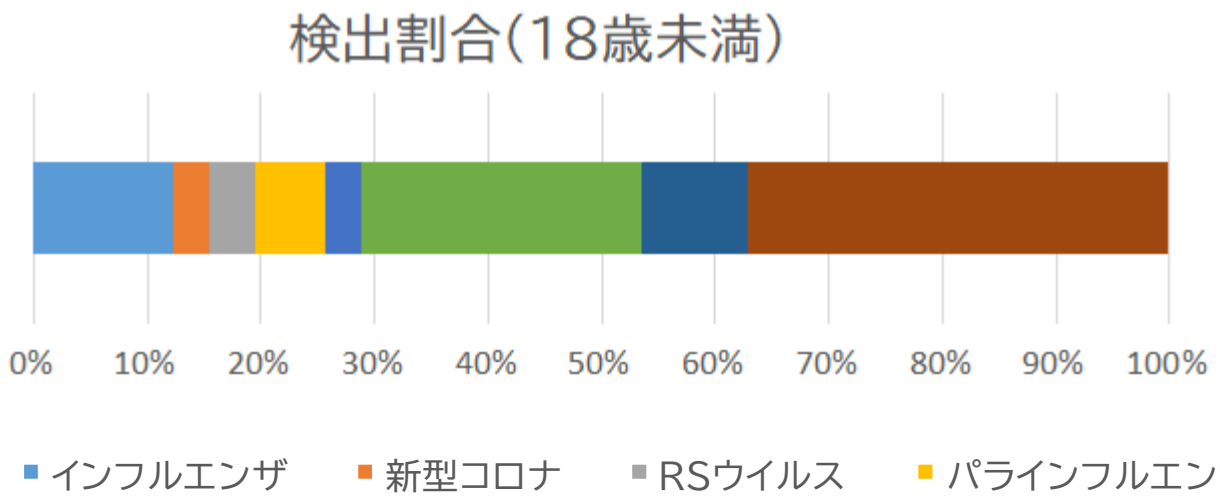
年齢	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
合計割合	3.5%	3.3%	3.2%	2.6%	3.1%	3.6%

県内の急性呼吸器感染症病原体定点から提出された検体の検査結果について

検出割合、検出数合計は2026年第1週～第13週の合計(12/29～3/29)



病原体	インフルエンザ	新型コロナ	RSウイルス	パラインフルエンザ	ヒトメタニューモ	ライノ/エンテロ	アデノ	該当なし
検出割合	35.7%	16.7%	4.8%	2.4%	0.0%	4.8%	2.4%	33.3%
検出数合計	15	7	2	1	0	2	1	14
2026年12週	2	1	0	0	0	0	0	1

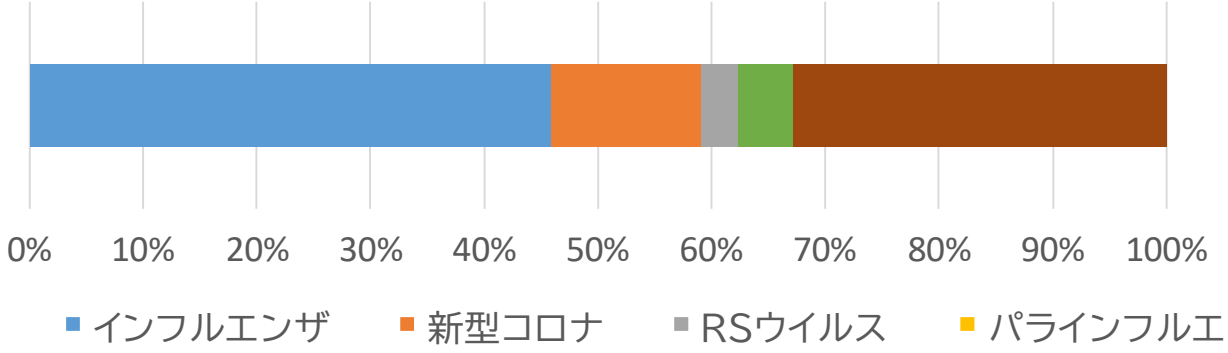


病原体	インフルエンザ	新型コロナ	RSウイルス	パラインフルエンザ	ヒトメタニューモ	ライノ/エンテロ	アデノ	該当なし
検出割合	13.5%	2.7%	5.4%	8.1%	2.7%	21.6%	8.1%	37.8%
検出数合計	10	2	4	6	2	16	6	28
2026年12週	1	0	1	0	0	1	0	7

県内の急性呼吸器感染症病原体定点から提出された検体の検査結果について

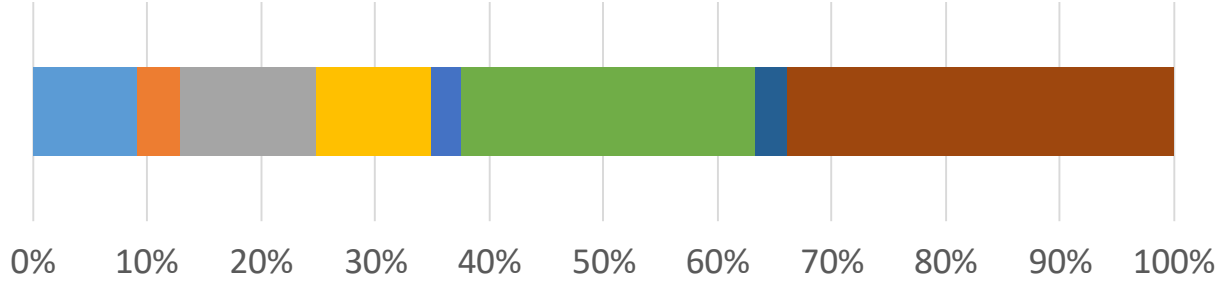
検出割合、検出数合計は2025年第41週～第52週の合計(10/6～12/28)

検出割合(18歳以上)



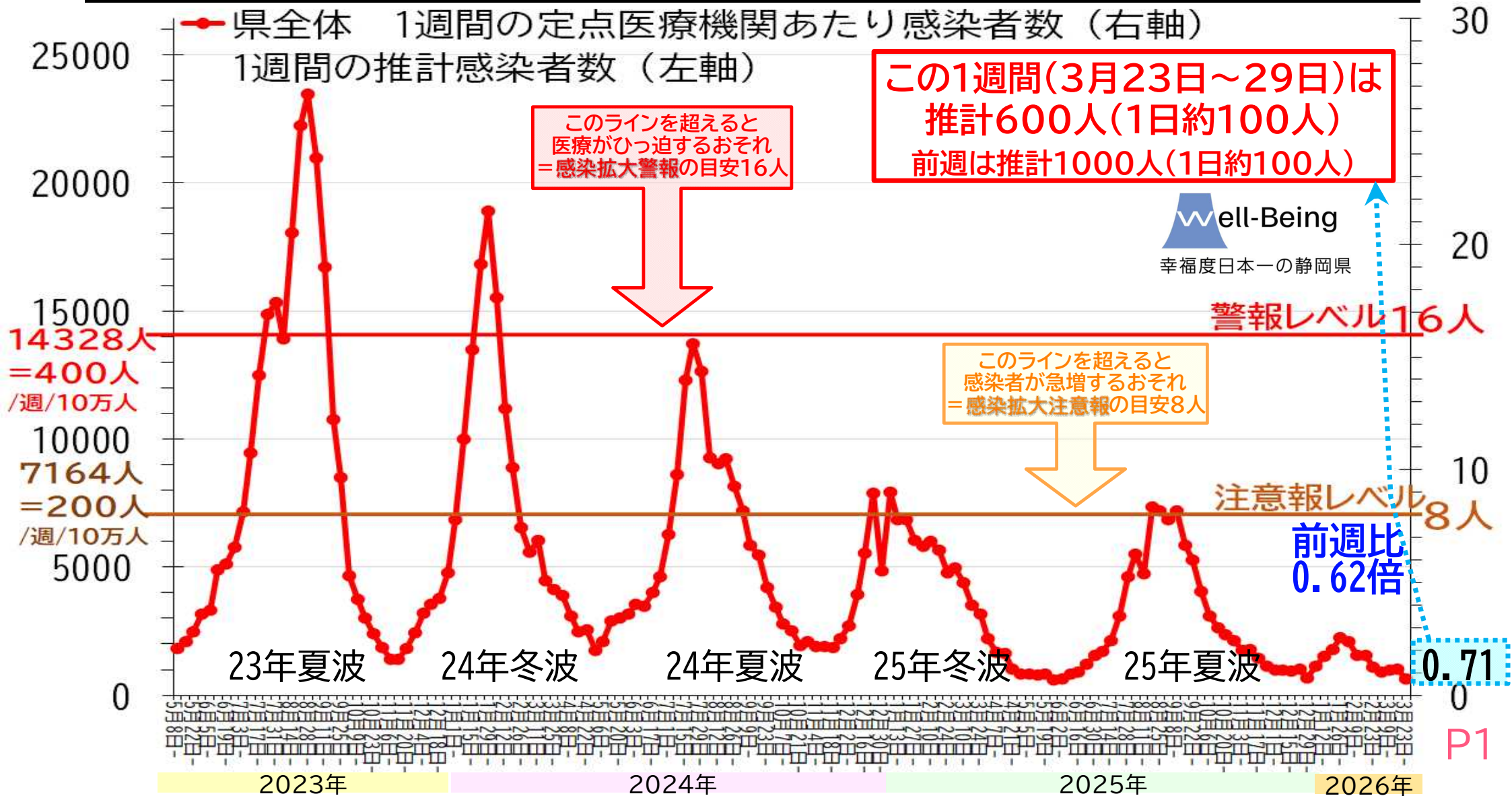
病原体	インフルエンザ	新型コロナ	RSウイルス	パラインフルエンザ	ヒトメタニューモ	ライノ/エンテロ	アデノ	該当なし
検出割合	45.9%	13.1%	3.3%	0.0%	0.0%	4.9%	0.0%	32.8%
検出数合計	28	8	2	0	0	3	0	20
2025年52週	12	0	0	0	0	0	0	3

検出割合(18歳未満)

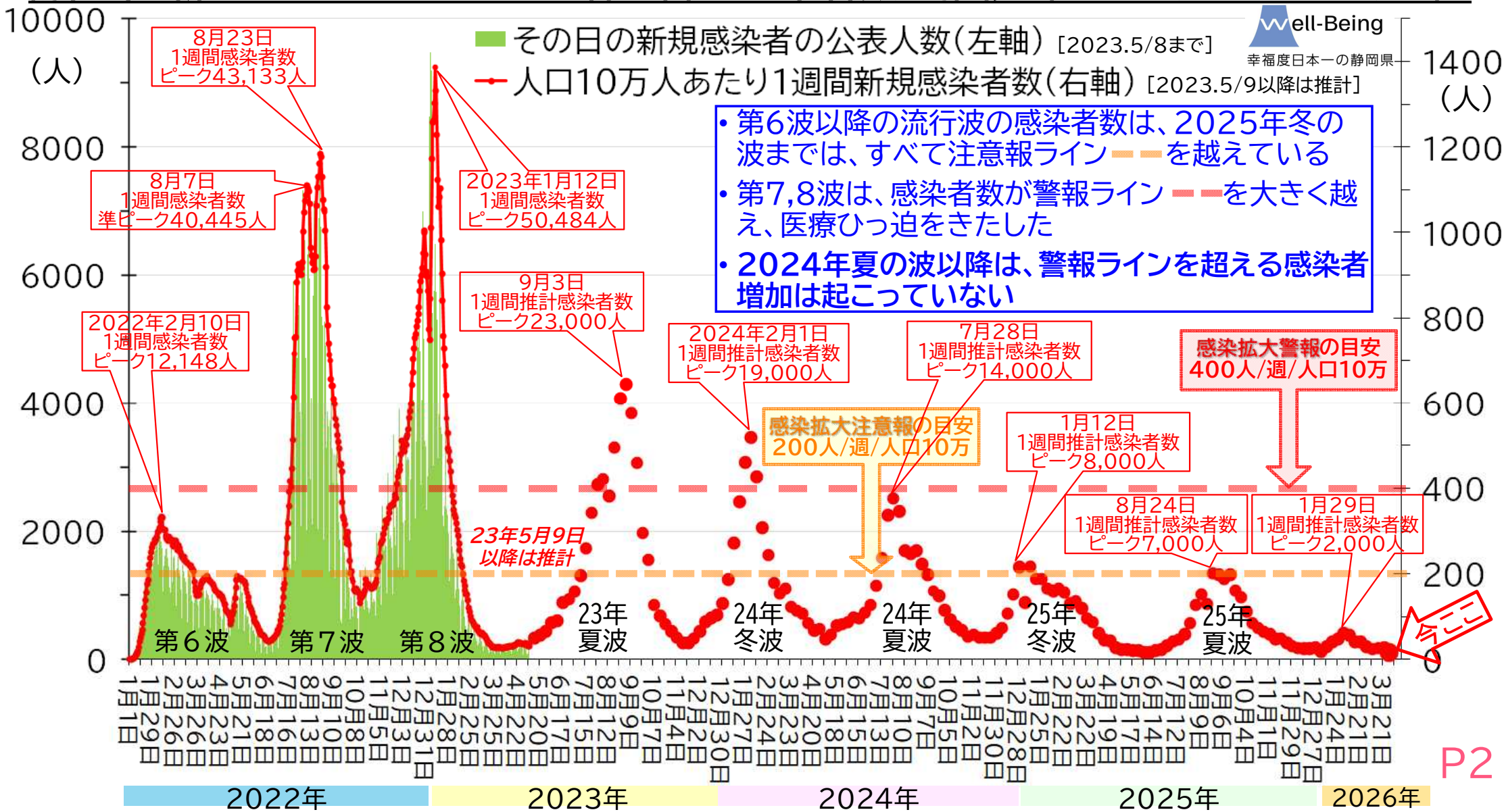


病原体	インフルエンザ	新型コロナ	RSウイルス	パラインフルエンザ	ヒトメタニューモ	ライノ/エンテロ	アデノ	該当なし
検出割合	9.2%	3.7%	11.9%	10.1%	2.8%	25.7%	2.8%	33.9%
検出数合計	10	4	13	11	3	28	3	37
2025年52週	2	0	0	0	0	5	0	5

静岡県 新型コロナ １週間感染者数(2023.5/8～2026.3/29)



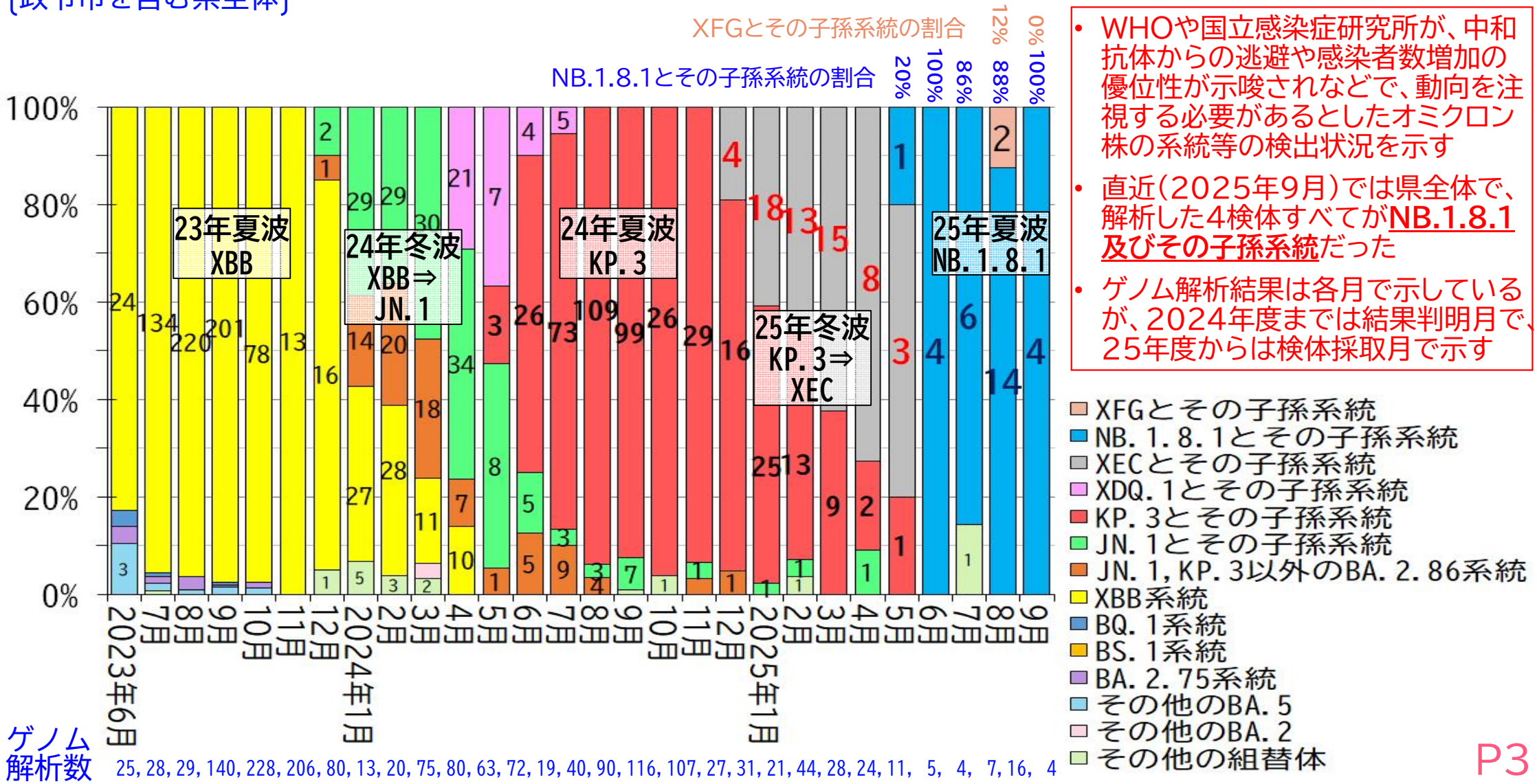
静岡県 新型コロナ オミクロン株以降の感染者数の推移（2022.1/1～2026.3/29）



- 第6波以降の流行波の感染者数は、2025年冬の波までは、すべて注意報ライン ---- を越えている
- 第7,8波は、感染者数が警報ライン ---- を大きく越え、医療ひっ迫をきたした
- **2024年夏の波以降は、警報ラインを超える感染者増加は起こっていない**

静岡県 新型コロナ オミクロン株の系統 月別状況（2023.4月～2025.9月）

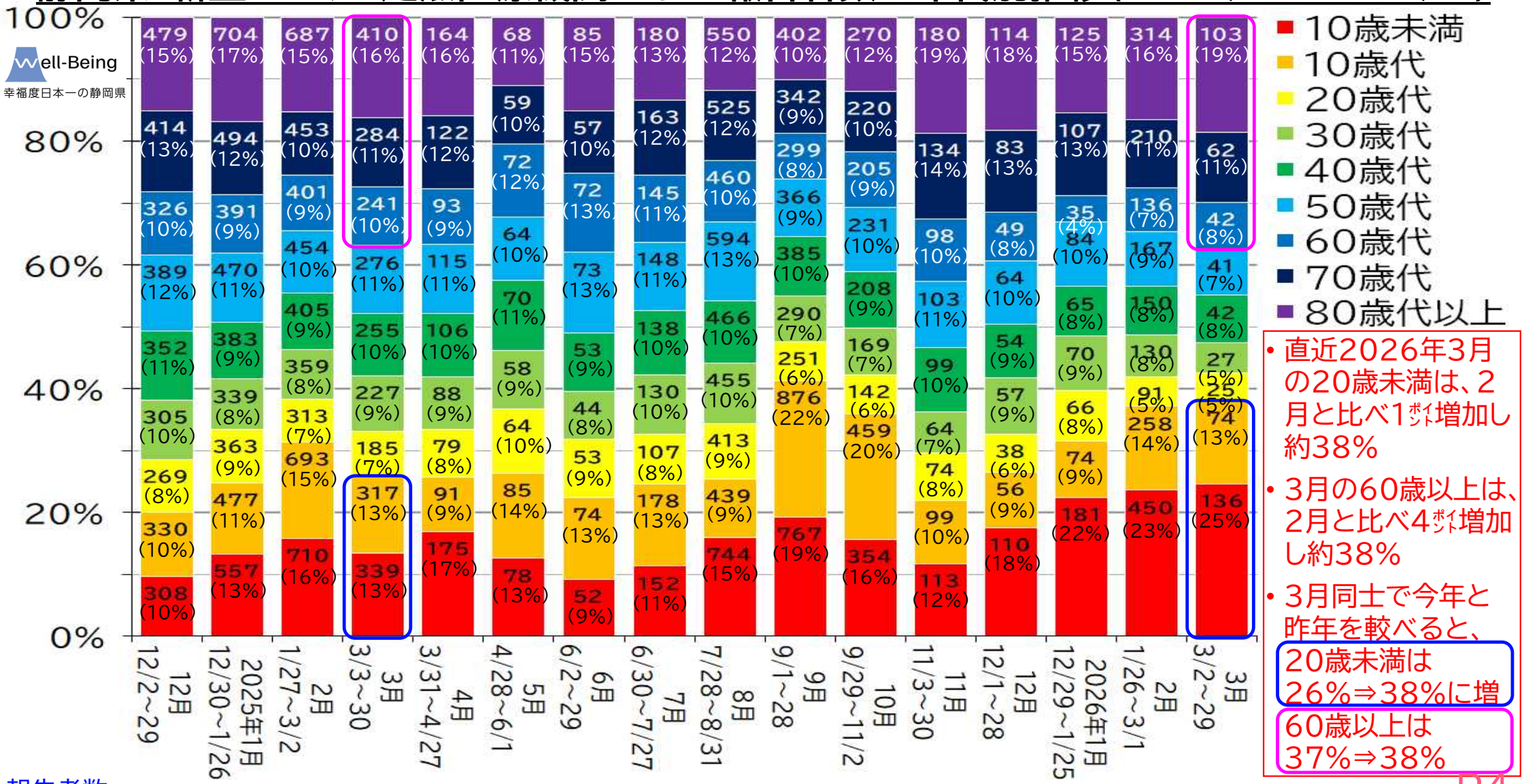
政令市を含む県全体



ゲノム解析数 25, 28, 29, 140, 228, 206, 80, 13, 20, 75, 80, 63, 72, 19, 40, 90, 116, 107, 27, 31, 21, 44, 28, 24, 11, 5, 4, 7, 16, 4

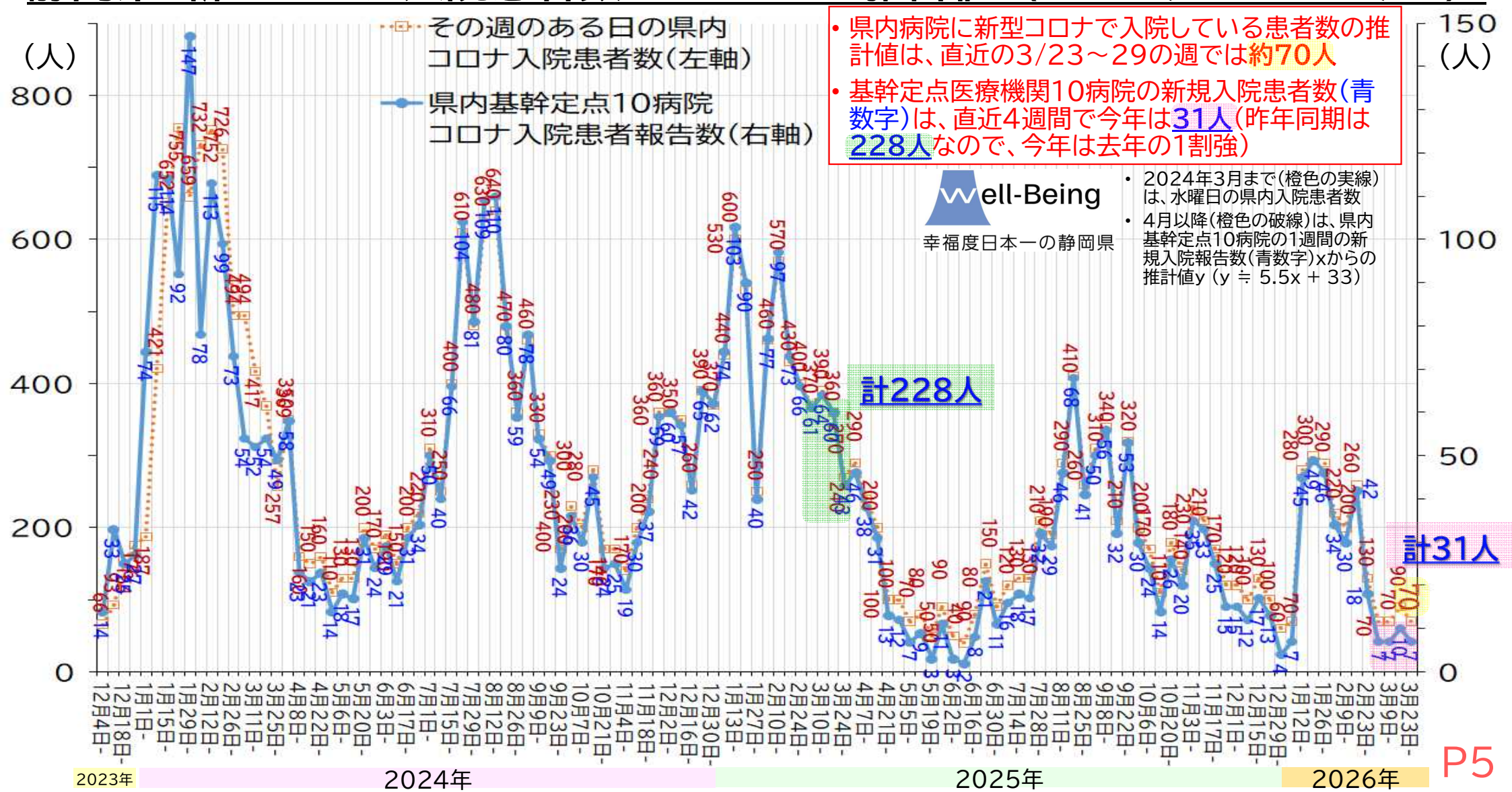
- WHOや国立感染症研究所が、中和抗体からの逃避や感染者数増加の優位性が示唆されなどで、動向を注視する必要があるとしたオミクロン株の系統等の検出状況を示す
- 直近（2025年9月）では県全体で、解析した4検体すべてが**NB.1.8.1及びその子孫系統**だった
- ゲノム解析結果は各月で示しているが、2024年度までは結果判明月で、25年度からは検体採取月で示す

静岡県 新型コロナ 定点医療機関からの報告者数の年代別推移(2024.9/30～2026.3/29)



- 直近2026年3月の20歳未満は、2月と比べ1ポイント増加し約38%
- 3月の60歳以上は、2月と比べ4ポイント増加し約38%
- 3月同士で今年と昨年を較べると、
  20歳未満は26%⇒38%に増
  60歳以上は37%⇒38%

静岡県 新型コロナ入院患者数 おおまかな推計値（2024.4/1～2026.3/29）

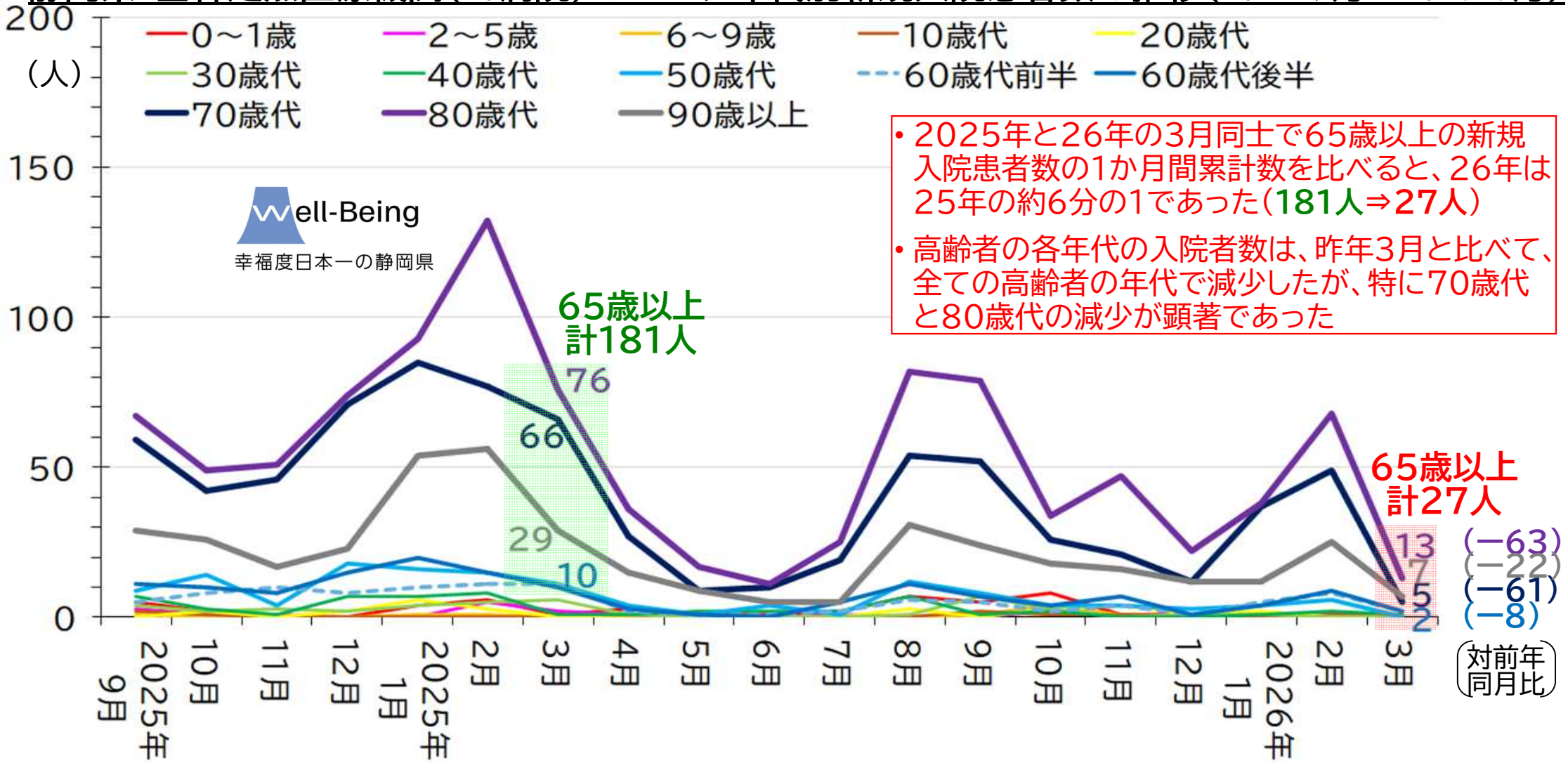


- 県内病院に新型コロナで入院している患者数の推計値は、直近の3/23～29の週では約70人
- 基幹定点医療機関10病院の新規入院患者数（青数字）は、直近4週間で今年は31人（昨年同期は228人なので、今年は去年の1割強）

Well-Being
幸福度日本一の静岡県

- 2024年3月まで（橙色の実線）は、水曜日の県内入院患者数
- 4月以降（橙色の破線）は、県内基幹定点10病院の1週間の新規入院報告数（青数字）xからの推計値y（y ≒ 5.5x ＋ 33）

静岡県 基幹定点医療機関(10病院)のコロナ年代別新規入院患者数の推移(2024.9月～2026.3月)



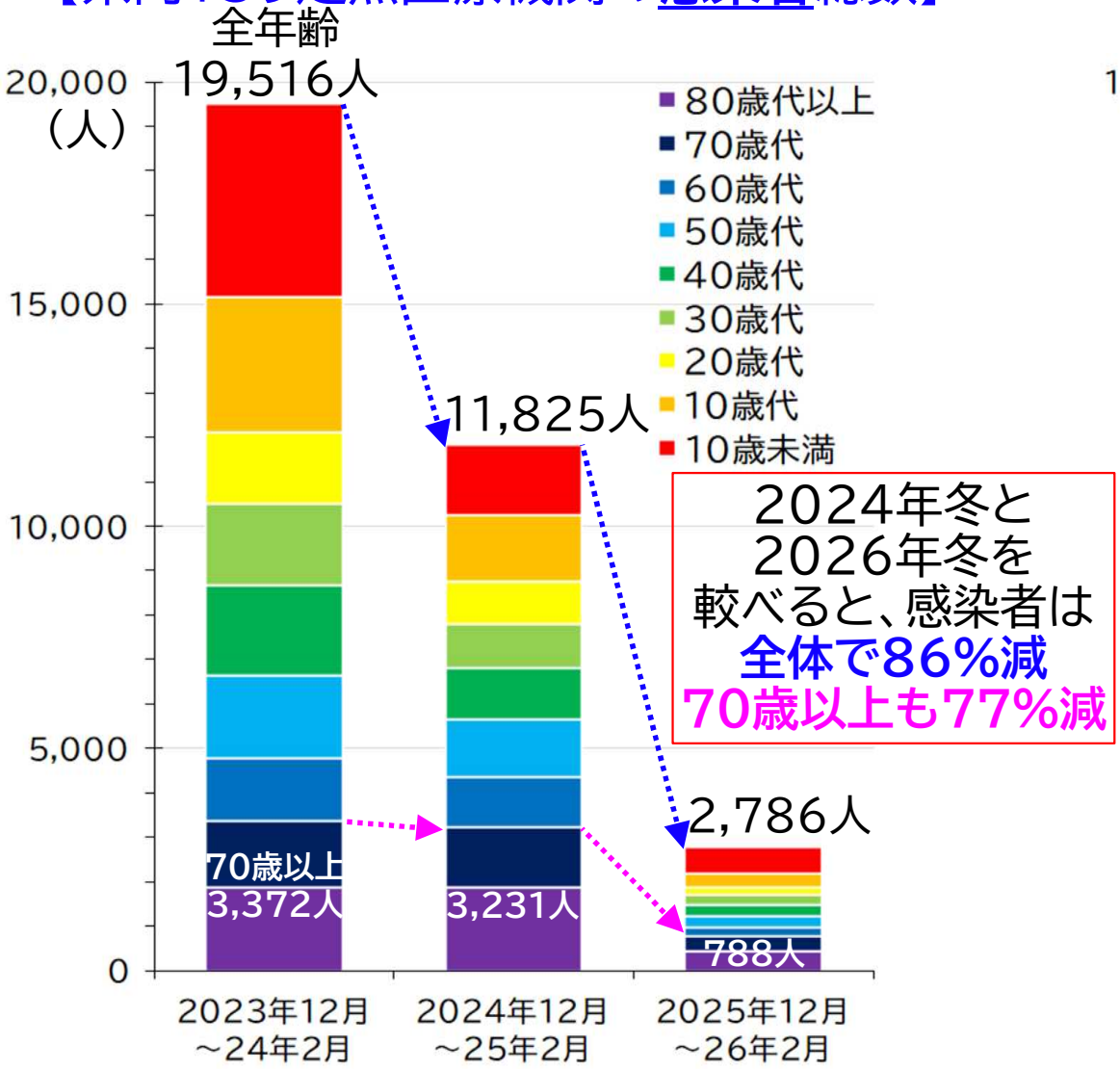
- 2025年と26年の3月同士で65歳以上の新規入院患者数の1か月間累計数を比べると、26年は25年の約6分の1であった(181人⇒27人)
- 高齢者の各年代の入院者数は、昨年3月と比べて、全ての高齢者の年代で減少したが、特に70歳代と80歳代の減少が顕著であった

＊入院者数には、院内感染者を含まない

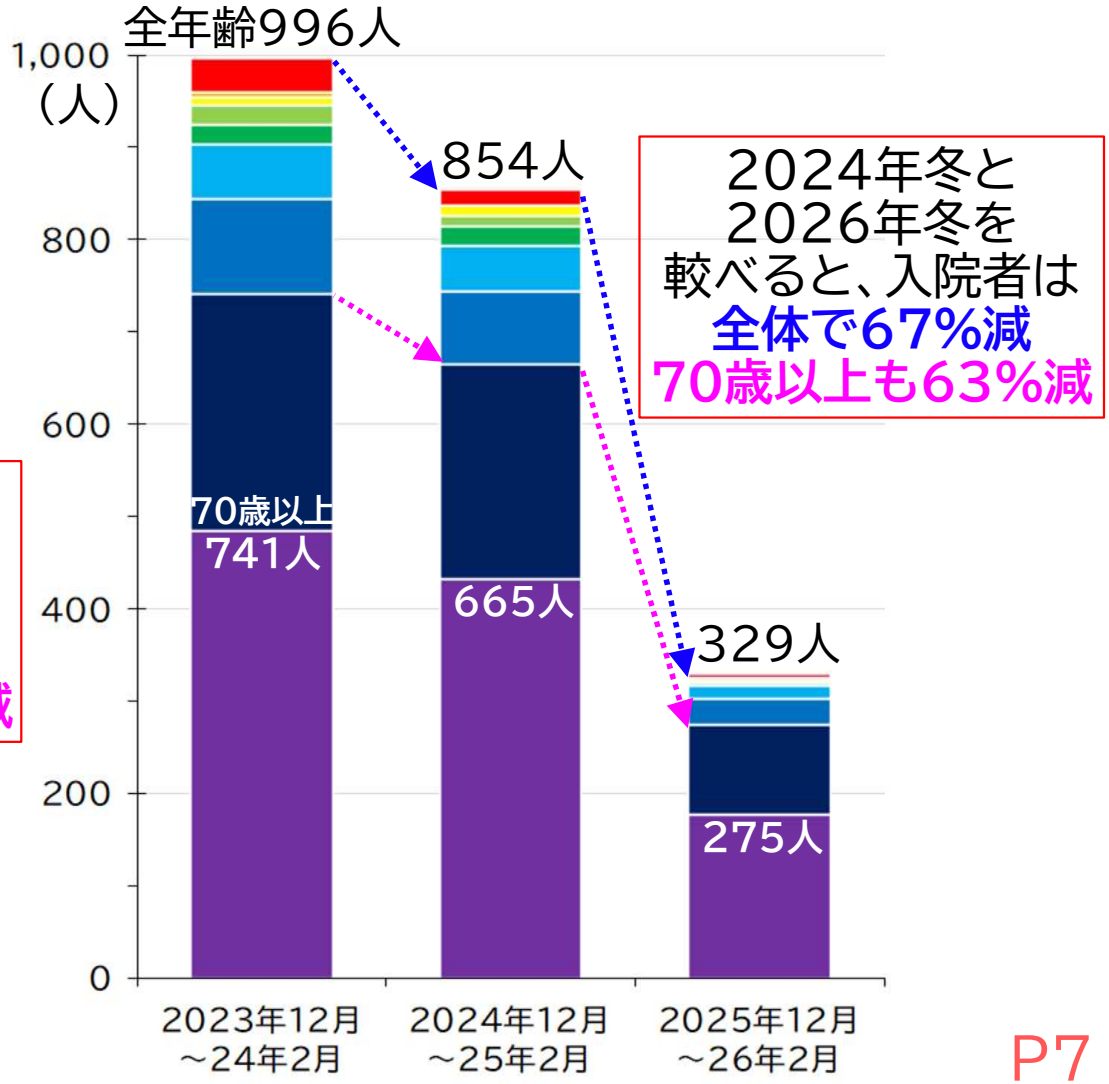
全年代の入院者数＊ 407, 203, 135, 166, 220, 300, 334, 213, 95, 42, 34, 62, 214, 191, 111, 106, 54, 105, 31,

静岡県 新型コロナ 定点医療機関 2024～26年の冬の感染者数・入院者数の比較

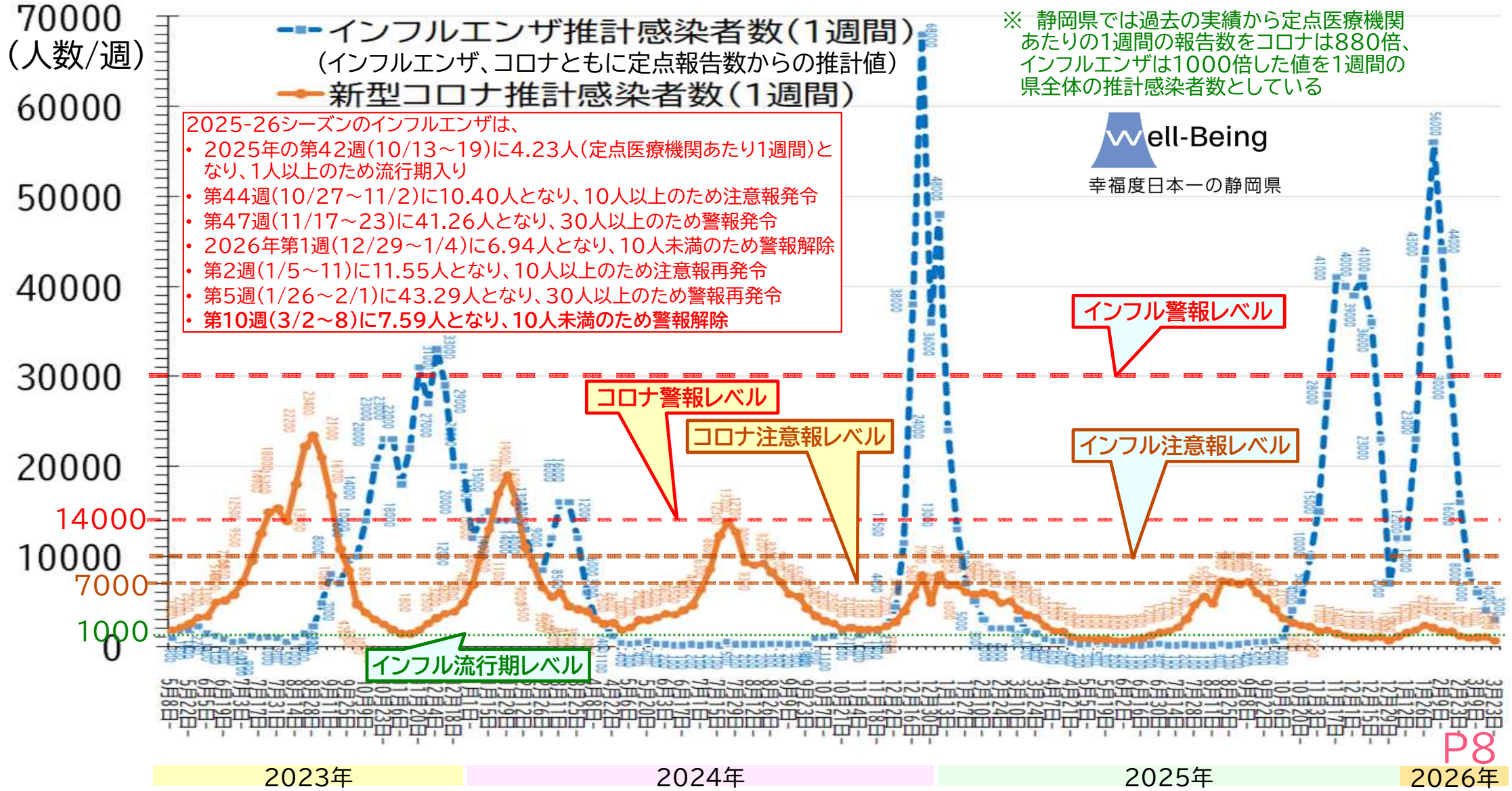
【県内139定点医療機関の感染者総数】



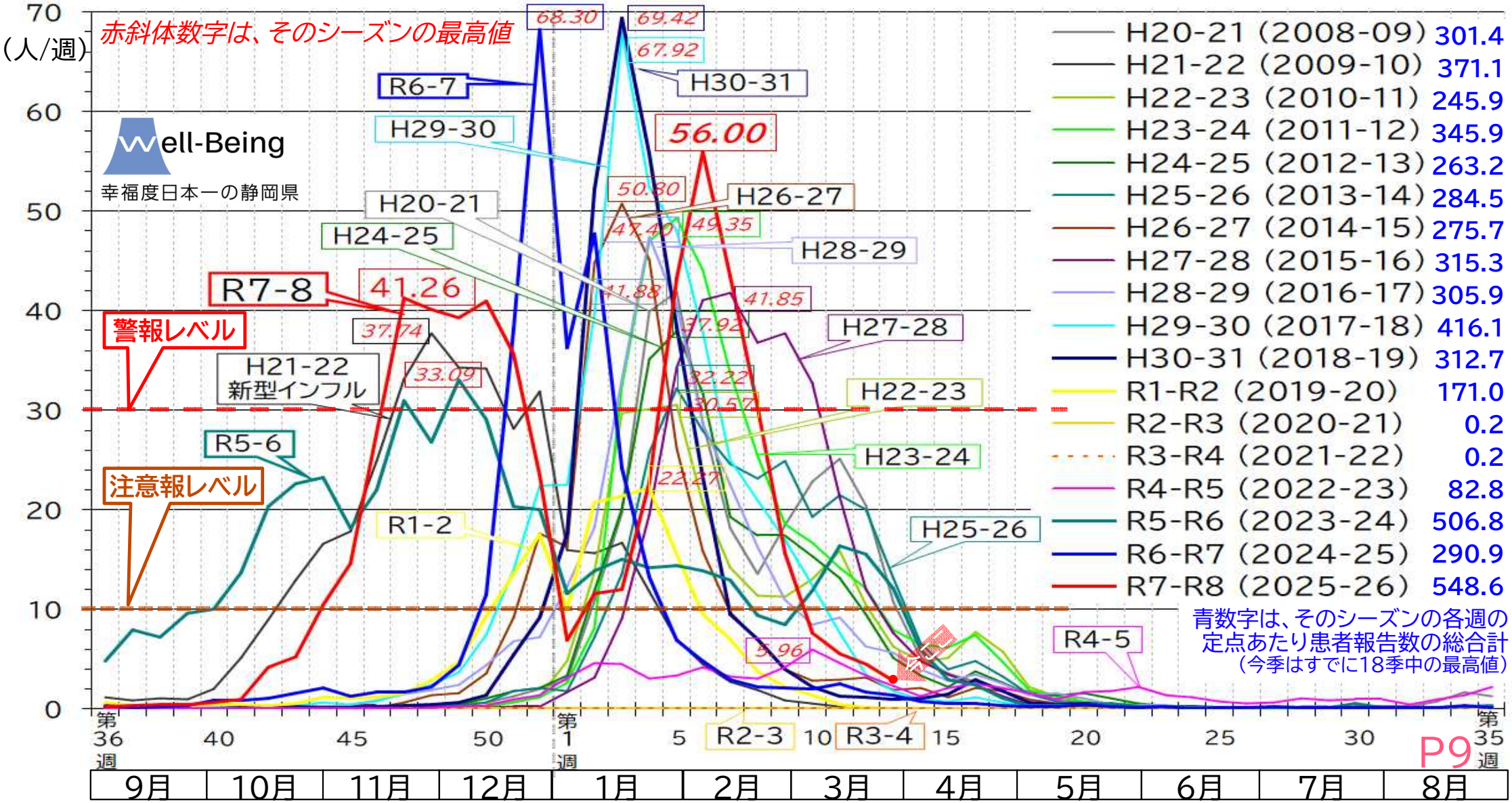
【県内10基幹定点医療機関の入院者総数】



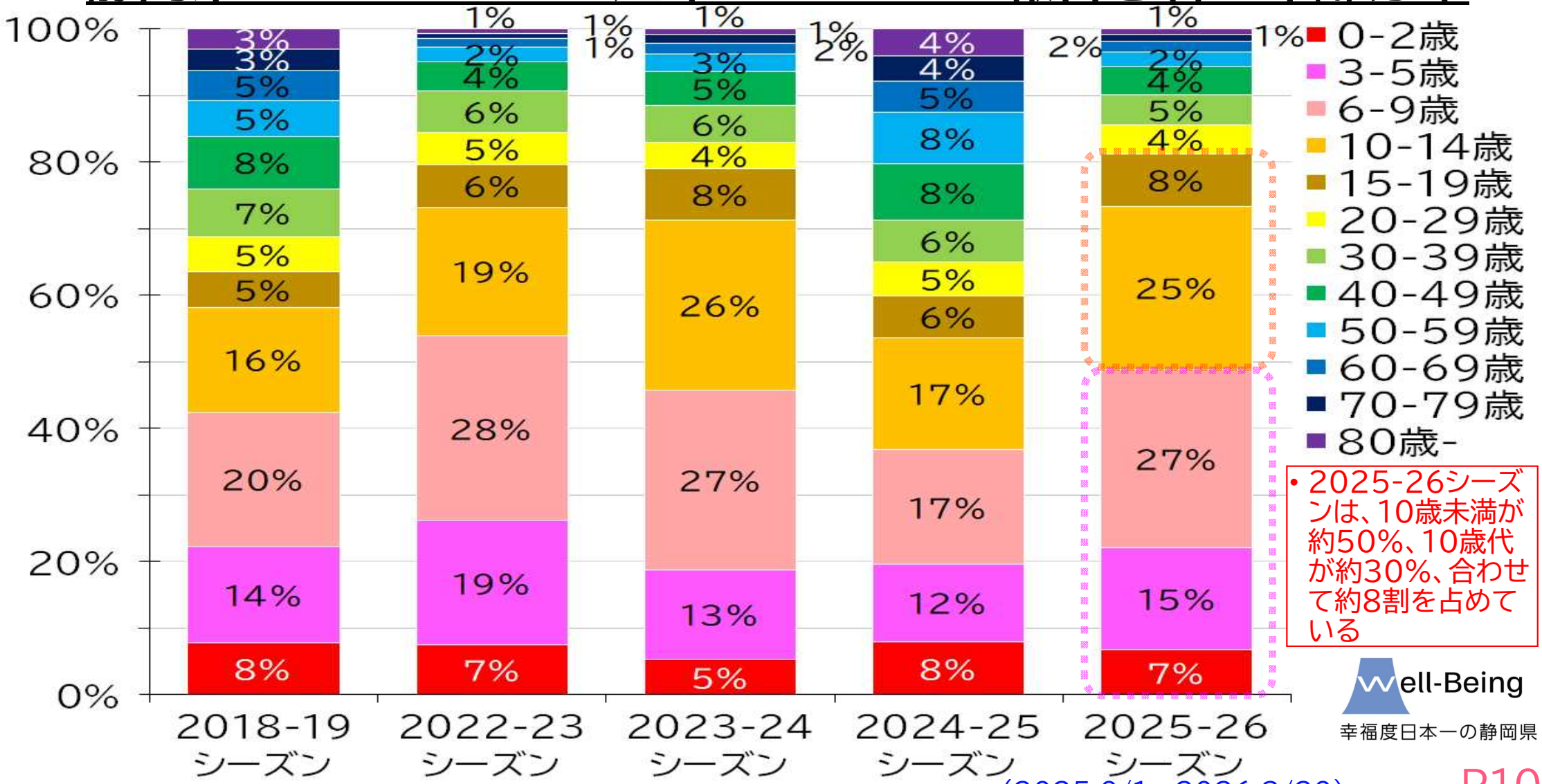
静岡県　新型コロナとインフルエンザの流行の状況（2023.5/8～2026.3/29）



静岡県　インフルエンザ 定点医療機関からの患者報告数　今季と過去17季の比較



静岡県 インフルエンザ 近年5シーズンの報告患者の年齢分布

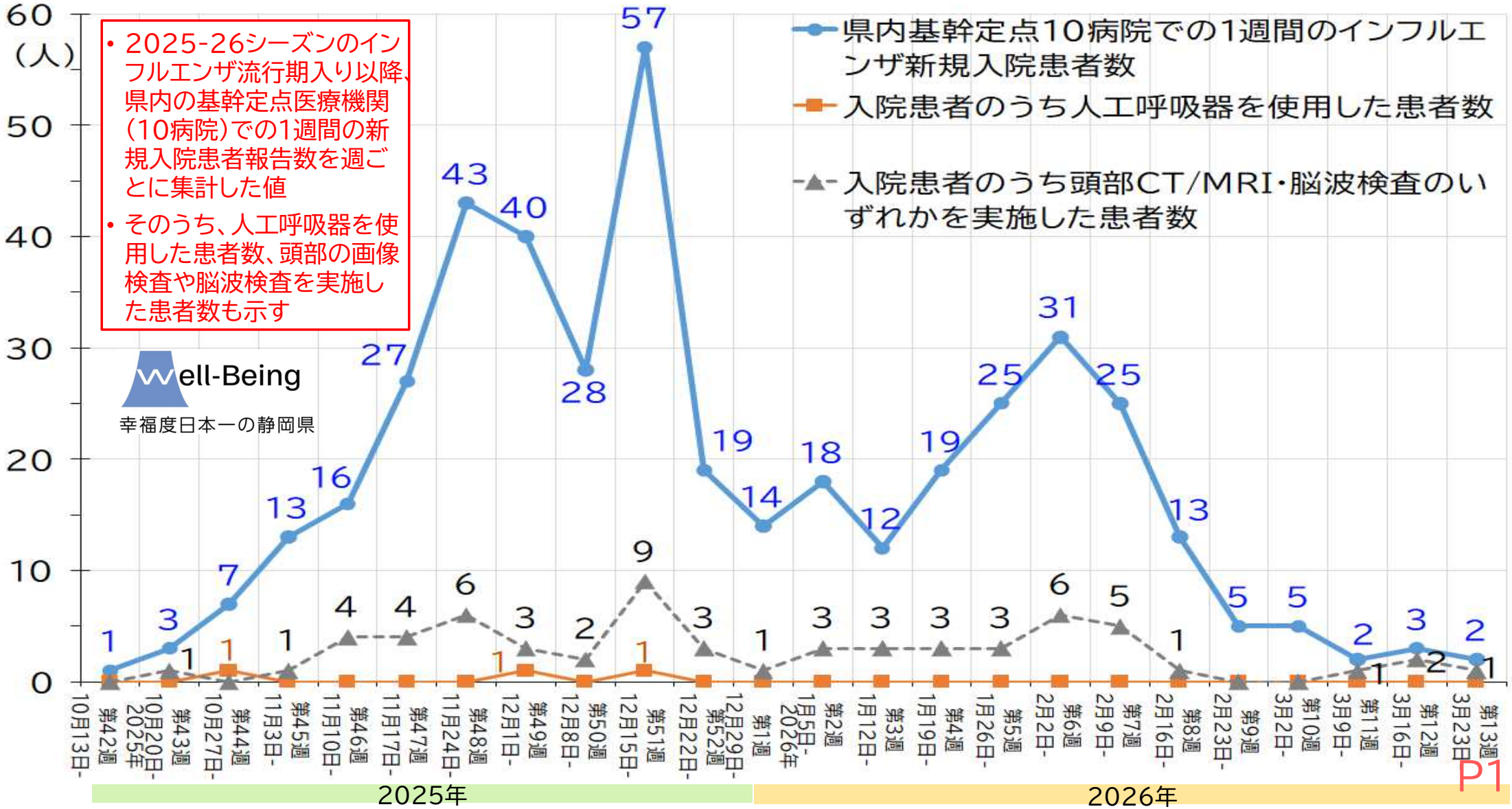


- 2025-26シーズンは、10歳未満が約50%、10歳代が約30%、合わせて約8割を占めている

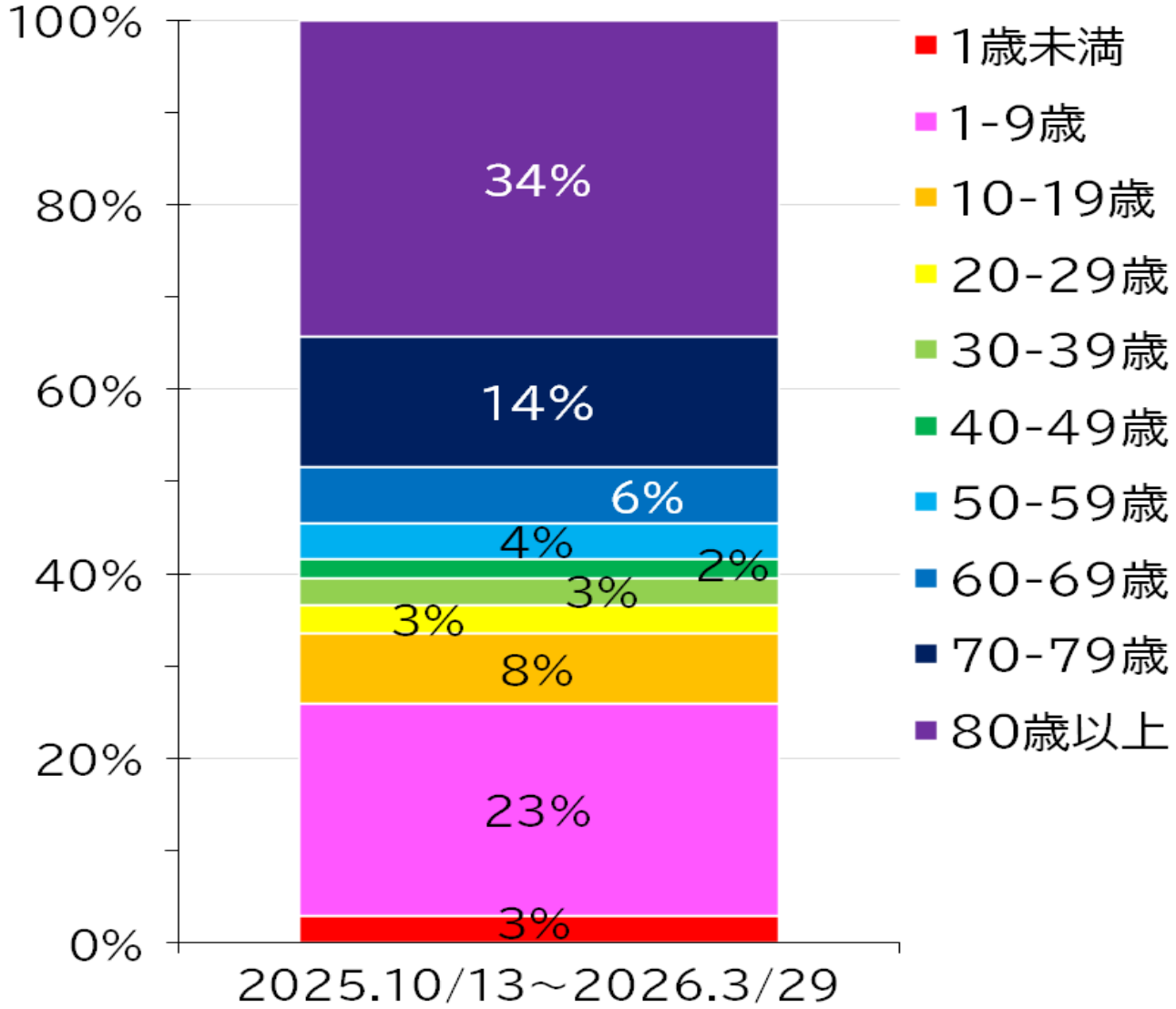
Well-Being
幸福度日本一の静岡県

（2025.9/1～2026.3/29）

静岡県 インフルエンザ 基幹定点病院での新規入院患者数の推移(2025.10/13～2026.3/29)



静岡県 インフルエンザ 基幹定点病院での新規入院患者年齢分布(2025.10/13～2026.3/29)

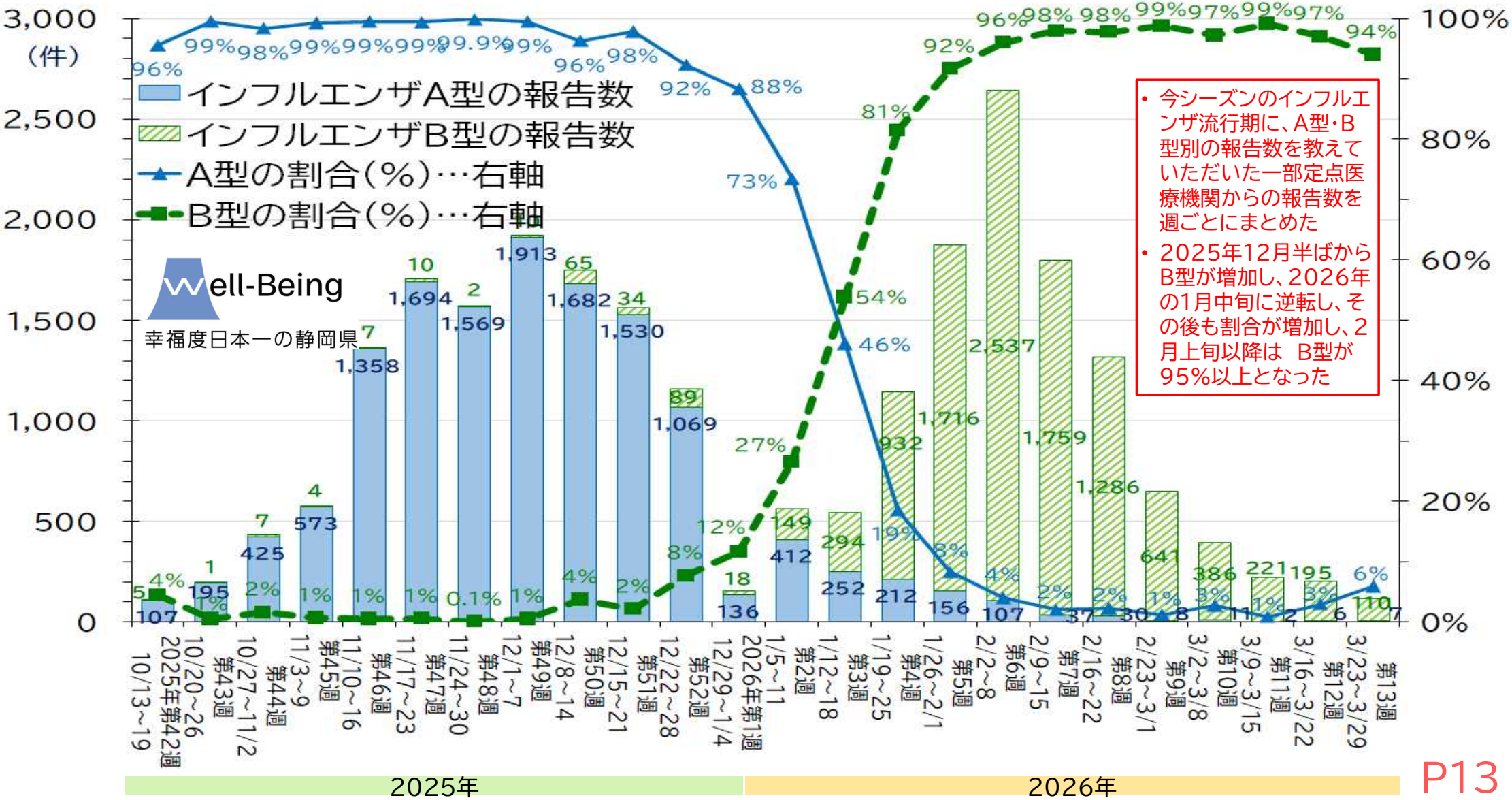


総入院者数 428人

- 今シーズン(2025-26シーズン)のインフルエンザ流行期における、県内の基幹定点医療機関(10病院)での1週間新規入院患者を累計した集団の年齢分布
- 80歳以上が最多で全体の約3分の1を占め、次いで1-9歳が多く約4分の1
- 70歳以上が、約半数を占めている
- 20歳未満は、約3分の1を占めている

Well-Being
幸福度日本一の静岡県

静岡県 インフルエンザ 定点医療機関(一部)のA型とB型の状況(2025.10/13～2026.3/29)



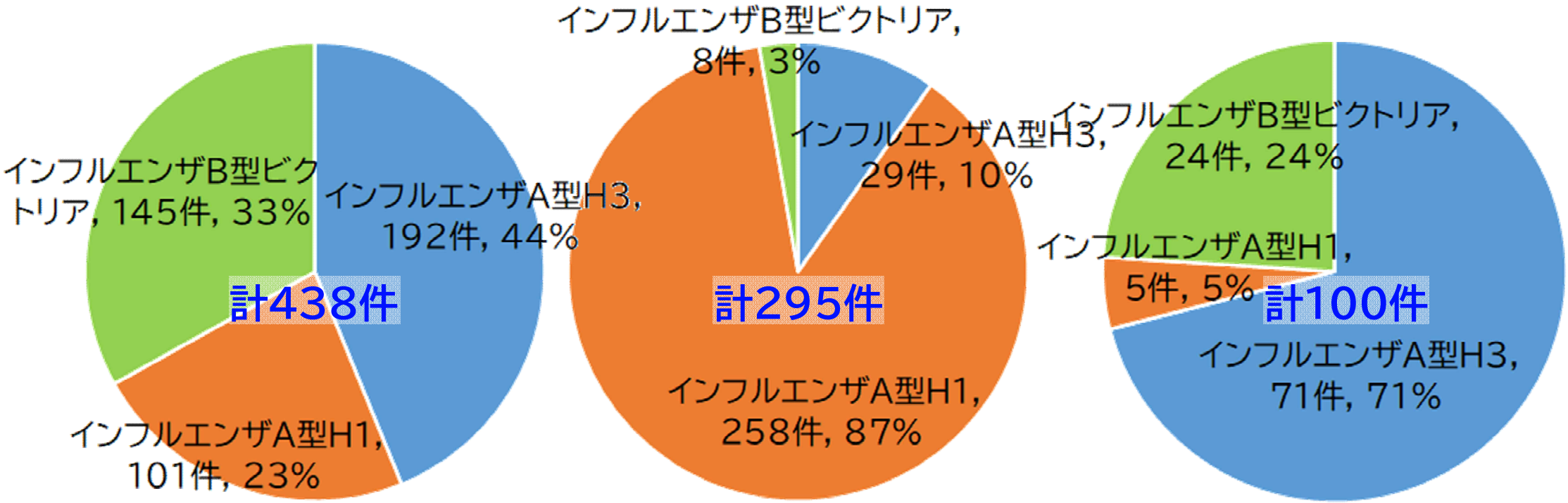
- 今シーズンのインフルエンザ流行期に、A型・B型別の報告数を教えていただいた一部定点医療機関からの報告数を週ごとにまとめた
- 2025年12月半ばからB型が増加し、2026年の1月中旬に逆転し、その後も割合が増加し、2月上旬以降は B型が95%以上となった

静岡県内衛生研究所（県，静岡市，浜松市）インフルエンザウイルス型別検出の状況（2023.10/2～2026.3/29）

2023-24シーズン
2023年 第40～52週，
＋ 2024年 第1～22週
（2023.10/2～2024.6/2）

2024-25シーズン
2024年 第36～52週，
＋ 2025年 第1～14週
（2024.9/2～2025.4/6）

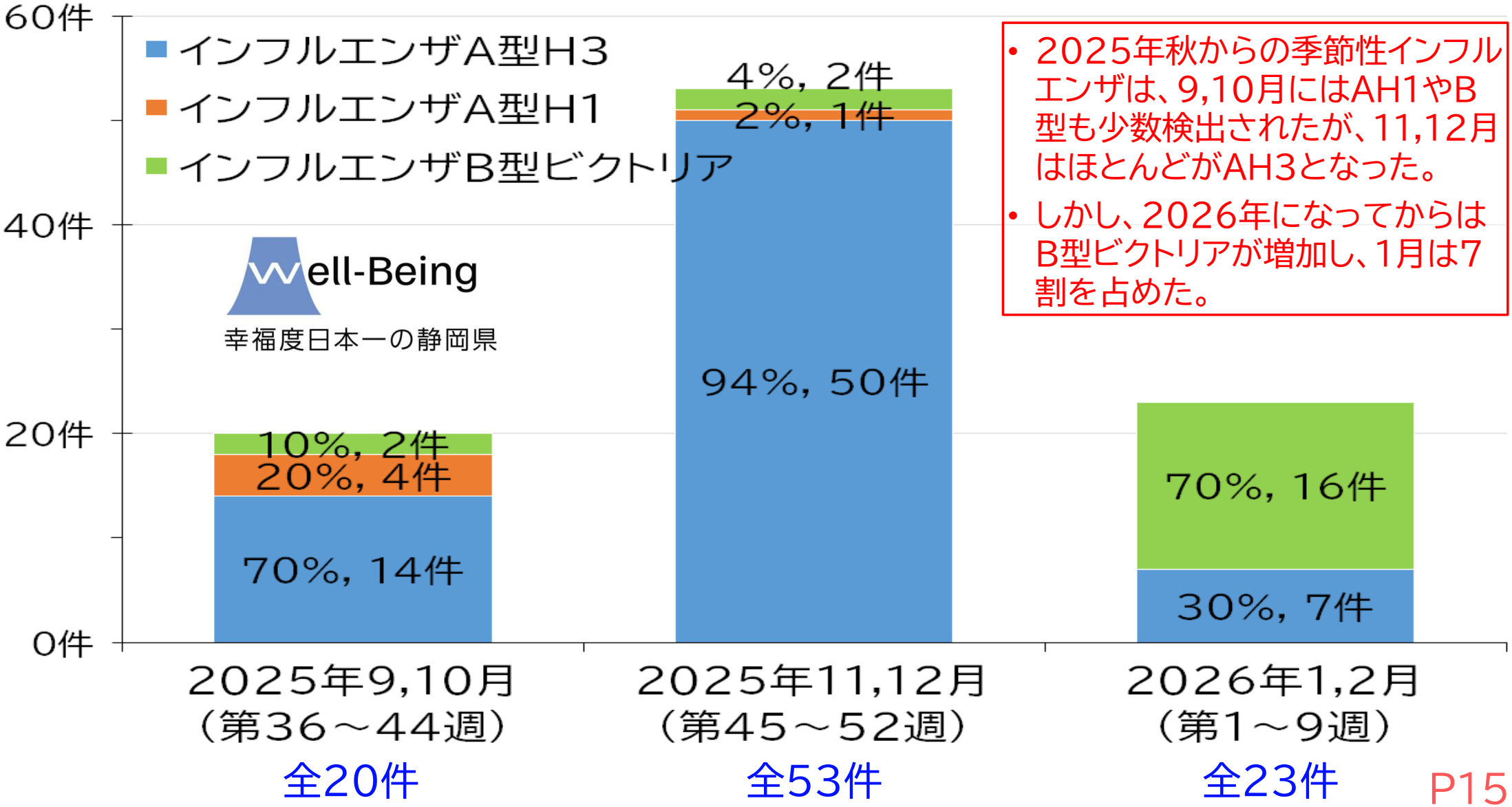
2025-26シーズン
2025年 第36～52週，
＋ 2026年 第1～13週
（2025.9/1～2026.3/29）



- 今シーズンの季節性インフルエンザは、昨シーズンとは異なり、インフルエンザA型H3が主体で流行が始まり、これまでの累積ではA型H3が約7割を占め、次いでB型ビクトリアが約2割

Well-Being
幸福度日本一の静岡県

静岡県内衛生研究所(県,静岡市,浜松市) 2025-26シーズン インフルエンザウイルス型別検出の状況



- 2025年秋からの季節性インフルエンザは、9,10月にはAH1やB型も少数検出されたが、11,12月はほとんどがAH3となった。
- しかし、2026年になってからはB型ビクトリアが増加し、1月は7割を占めた。

急病センターや当番医を受診

しようか迷ったら…

救急車を呼ぼうか迷ったら…

15歳以上は #7119

15歳未満は #8000

で電話相談を！

Well-Being
幸福度日本一の静岡県

麻しん（はしか）って、どんな感染症？

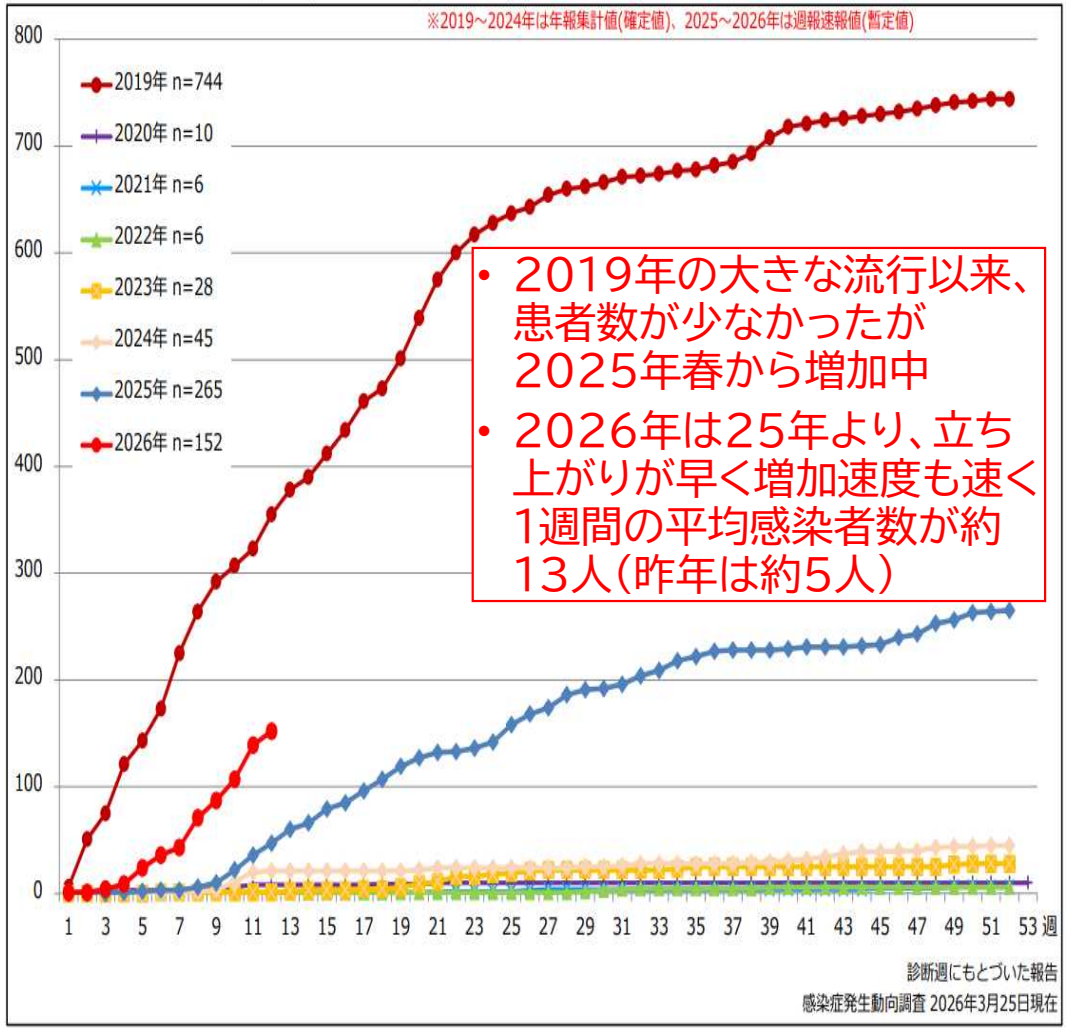
- **感染力最強ウイルス**で、感染者1人から未感染者約15人に感染し（コロナの5倍）、ほぼ全員が発症
- **空気感染**するので、同じ空間にいるだけで感染
- **治療薬は無し**（抗麻しんウイルス薬なし）
- **ワクチン2回接種**の人は感染しないか、感染しても軽症
- ワクチン未接種患者の**数100人に1人は死亡**
- 症状は、高熱・咳鼻水・目の充血⇒赤いヒョウ柄発疹が顔から全身へ、**消耗が激しく多くの患者が入院**
- 合併症は、**中耳炎（7%）、肺炎（6%）、脳炎（0.1%）**等

麻しんの詳細は、JIHS（国立健康危機管理研究機構）の感染症情報提供サイトへ
https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ma/measles/010/measles.html

麻しん　今年の国内発生状況①（国立健康危機管理研究機構のサイトより）

1. 麻しん累積報告数の推移　2019~2026年 (第1~12週)（2026年は3月22日まで）

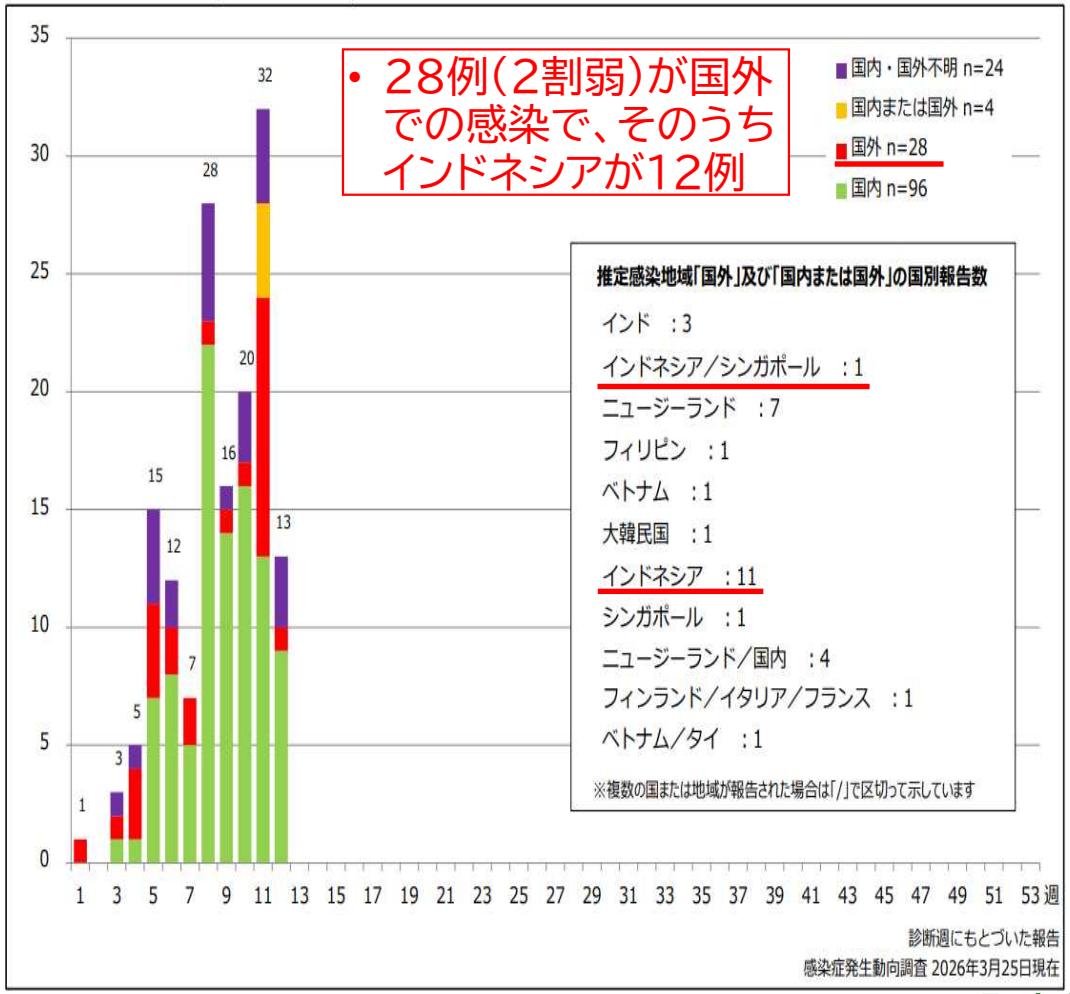
Cumulative measles cases by week, 2019-2026 (week 1-12)　(based on diagnosed week as of March 25, 2026)



- 2019年の大きな流行以来、患者数が少なかったが2025年春から増加中
- 2026年は25年より、立ち上がりが早く増加速度も速く1週間の平均感染者数が約13人（昨年は約5人）

8. 週別推定感染地域(国内・外)別麻しん報告数　2026年 第1~12週 (n=152)（2025年12月29日～26年3月22日）

Weekly measles cases by acquired region, week 1-12, 2026 (based on diagnosed week as of March 25, 2026)



- 28例（2割弱）が国外での感染で、そのうちインドネシアが12例

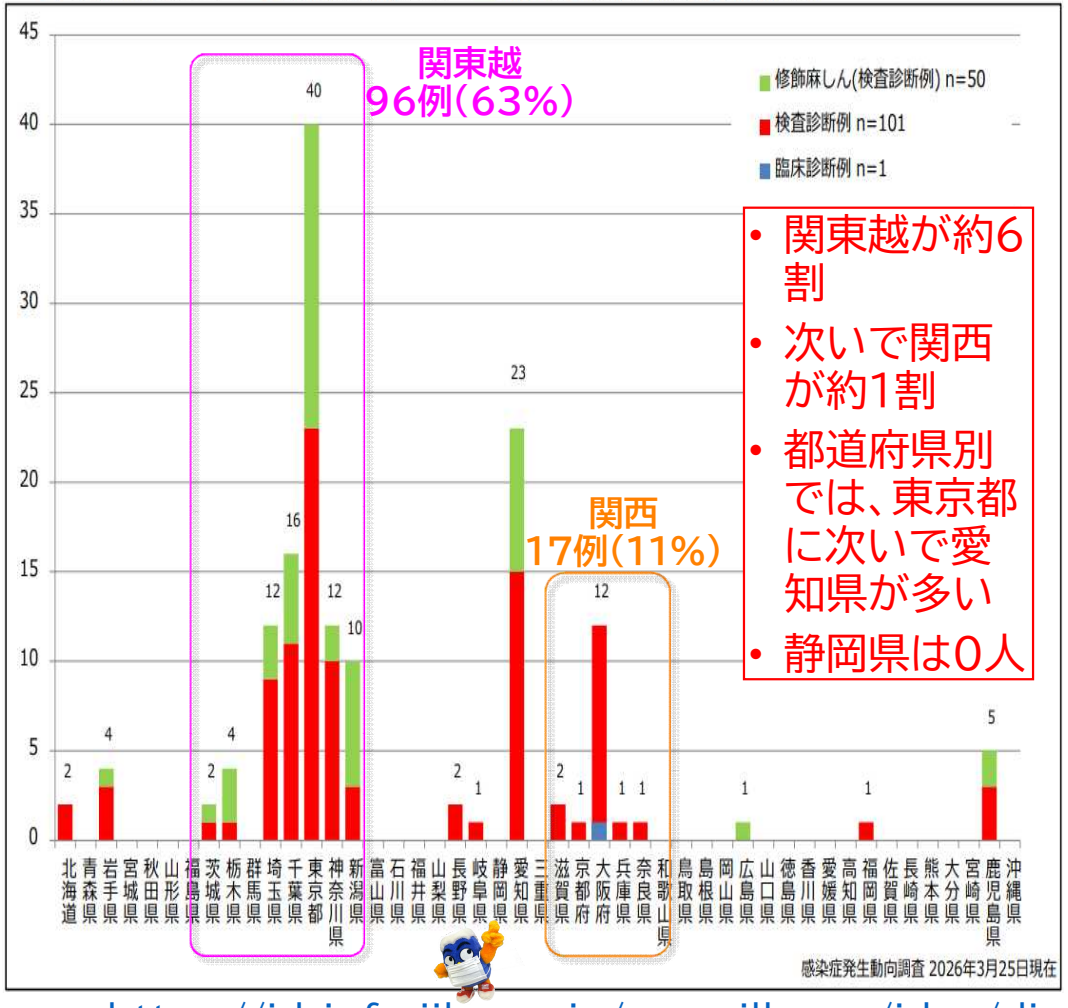
https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/diseases/measles/graph/2026/meas26-12.pdf　より

麻しん　今年の国内発生状況②（国立健康危機管理研究機構のサイトより）

4. 都道府県別病型別麻しん累積報告数　2026年 第1~12週 (n=152)（2025年12月29日～26年3月22日）

Cumulative measles cases by prefecture and methods of diagnosis, week 1-12, 2026 (as of March 25, 2026)

Clinically diagnosed　Laboratory diagnosed　Modified measles, Laboratory diagnosed

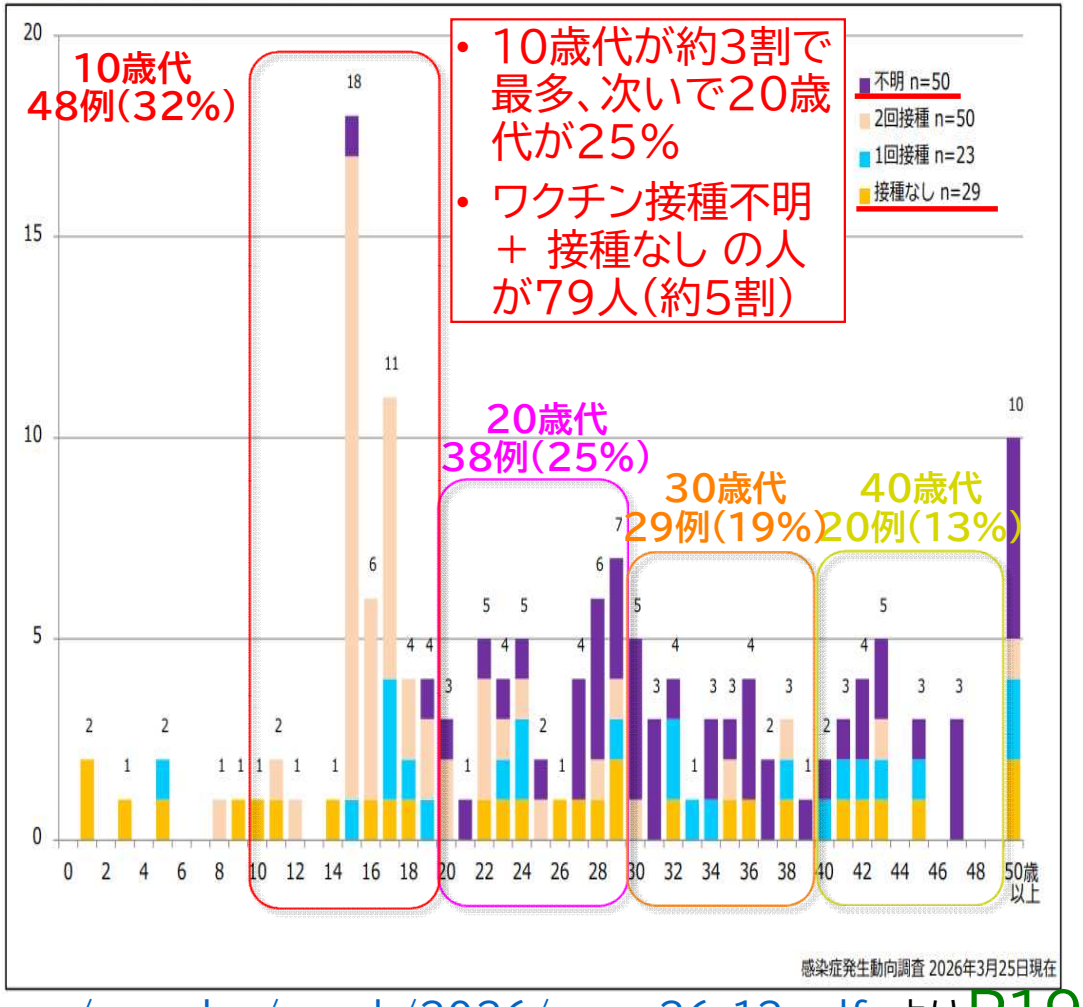


- 関東越が約6割
- 次いで関西が約1割
- 都道府県別では、東京都に次いで愛知県が多い
- 静岡県は0人

6. 年齢群別接種歴別麻しん累積報告数　2026年 第1~12週 (n=152)（2025年12月29日～26年3月22日）

Cumulative measles cases by age and vaccinated status, week 1-12, 2026 (as of March 25, 2026)

None　MCV1　MCV2　Unknown



- 10歳代が約3割で最多、次いで20歳代が25%
- ワクチン接種不明 ＋ 接種なし の人が79人(約5割)

https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/diseases/measles/graph/2026/meas26-12.pdf より

麻しんに関して県感染症管理センターからのお願い

- **1歳の誕生日がきたら**、麻しん風しん混合(MR)ワクチンをすぐにうつ！
- **5歳(年長さん)でのMRワクチン2期**の接種率が下がっているので、**忘れずにうつ！**
- 50歳未満の人は、**母子手帳で自分の麻しんワクチン接種回数を確認**し、0回・1回の人は接種(自費)の検討を！

破傷風トキソイドの一部出荷停止について

令和7年7月上旬から、破傷風トキソイドの一部製品について供給が不安定となっており、医療機関において、破傷風トキソイドの入手が困難となっている可能性があります。

破傷風トキソイドは、破傷風菌の毒素を中和し、重症化を防ぐことができるため、怪我をして、傷が深い場合や、汚染されている場合等に、破傷風の発症リスクを減らすために使われることがあります。

県民の皆様におかれましては、引き続き、怪我に気を付けていただき、安全に過ごしていただきますようお願い致します。

破傷風とは

土壌や動物の糞便などに存在する破傷風菌が原因で、菌が産生する毒素により、筋肉の麻痺やけいれんを起こし、死亡することもあります。多くは、動物に咬まれた傷や、土や砂で汚れた深い傷から破傷風菌が入って感染します。人から人への感染はありません。潜伏期間は3～21日で平均10日です。国内で年間100人程度の感染者が確認されており、2026年は、第13週（～3月29日）までに全国で16人、本県は0人です。（2025年 全国94人、本県2人）

感染症発生動向調査における特記事項欄コメント

第　13　週　　令和8年3月23日　　～　　令和8年3月29日

今週の特記事項欄コメントの報告数上位

1	インフルエンザB型	110名	（インフルエンザA型　　7名）
2	ヒトメタニューモ	23名	
3	咽頭アデノ	9名	

保健所	医療機関名	感染症名	報告数	備考
賀茂	かわづクリニック	サルモネラ	1	21歳　男
熱海	髙野医院	急性呼吸器感染症	33	
熱海	髙野医院	インフルエンザB型	3	
熱海	髙野医院	新型コロナウイルス感染症	3	
熱海	むらかみ小児科クリニック	インフルエンザB型	4	
東部	医療法人社団真理会　光ケ丘小児科	百日咳	1	
東部	医療法人社団真理会　光ケ丘小児科	インフルエンザA型	2	
東部	医療法人社団真理会　光ケ丘小児科	インフルエンザB型	17	
東部	医療法人社団真理会　光ケ丘小児科	新型コロナウイルス感染症	2	
東部	医療法人社団真理会　光ケ丘小児科	咽頭アデノ	5	
東部	医療法人社団真理会　光ケ丘小児科	ヒトメタニューモ	9	
東部	よざ小児科医院	インフルエンザB型	4	
東部	医療法人社団真理会　函南平出クリニック	インフルエンザ	6	
東部	医療法人社団真理会　函南平出クリニック	マイコプラズマ肺炎	1	
東部	医療法人社団真理会　函南平出クリニック	ノロウイルス	3	
東部	医療法人社団真理会　函南平出クリニック	咽頭アデノ	3	
東部	医療法人社団真理会　函南平出クリニック	ヒトメタニューモ	7	
東部	医療法人社団真理会　函南平出クリニック	溶連菌感染症	4	
東部	医療法人社団真理会　函南平出クリニック	ヒトライノ・エンテロウイルス	2	
御殿場	公益社団法人有隣厚生会　富士病院	インフルエンザB型	5	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	伝染性紅斑	2	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	インフルエンザB型	12	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	新型コロナウイルス感染症	2	
御殿場	安田内科小児科医院	インフルエンザA型	1	
御殿場	安田内科小児科医院	インフルエンザB型	12	
御殿場	安田内科小児科医院	クラミジア肺炎（オウム病は除く）	1	3歳女1人
御殿場	安田内科小児科医院	感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）	1	4歳女1人
御殿場	安田内科小児科医院	ヒトメタニューモ	2	2歳男1人、3歳女1人
御殿場	斉藤医院	インフルエンザB型	3	
御殿場	お八幡医院	インフルエンザB型	4	
御殿場	なかがわ医院	インフルエンザB型	2	
富士	医療法人社団富岳会　小川小児科内科医院	インフルエンザA型	4	
富士	医療法人社団富岳会　小川小児科内科医院	インフルエンザB型	12	
富士	永松医院	インフルエンザB型	2	
静岡市	原小児科医院	インフルエンザA型	0	
静岡市	原小児科医院	インフルエンザB型	6	
静岡市	かどたこどもクリニック	インフルエンザA型	0	
静岡市	かどたこどもクリニック	インフルエンザB型	4	
浜松市	浜松医療センター	ノロウイルス	1	
浜松市	クリニック・パパ	ヒトメタニューモ	4	
浜松市	クリニック・パパ	咽頭アデノ	1	
浜松市	クリニック・パパ	インフルエンザB型	4	
浜松市	クリニック・パパ	百日咳	1	
浜松市	げんきこどもクリニック	マイコプラズマ肺炎	1	
浜松市	げんきこどもクリニック	ヒトメタニューモ	1	
浜松市	げんきこどもクリニック	インフルエンザB型	3	
浜松市	幸田子供クリニック	インフルエンザB型	4	
浜松市	縣医院	インフルエンザB型	1	
浜松市	おおば小児科	インフルエンザB型	2	
浜松市	くまがいクリニック	インフルエンザB型	2	
浜松市	大竹内科医院	インフルエンザB型	4	

静岡県の感染症週報はホームページでも御覧いただけます。
（「静岡県　感染症週報」で検索）
https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/kansensho/1003065/index.html

第 13 週

		静岡県							全国				
		第 8週	第 9週	第 10週	第 11週	第 12週	今週	年累計	第 10週	第 11週	第 12週	今週	年累計
エボラ出血熱	1類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クリミア・コンゴ出血熱	1類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
痘そう	1類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南米出血熱	1類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ペスト	1類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マールブルグ病	1類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ラッサ熱	1類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性灰白髄炎	2類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
結核	2類	4	4	3	9	4	6	78	249	257	181	233	3229
ジフテリア	2類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重症急性呼吸器症候群（SARS）	2類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中東呼吸器症候群（MERS）	2類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥インフルエンザH5N1	2類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥インフルエンザH7N9	2類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コレラ	3類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性赤痢	3類	0	0	0	0	0	0	2	3	2	5	4	24
腸管出血性大腸菌感染症	3類	0	0	0	1	0	0	2	17	34	26	43	389
腸チフス	3類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
パラチフス	3類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
E型肝炎	4類	1	0	0	0	0	0	2	7	6	11	10	160
ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A型肝炎	4類	0	0	0	0	0	0	1	4	3	2	7	43
エキノコックス症	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
エムポックス	4類	0	0	0	0	0	0	0	2	2	3	2	29
黄熱	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オウム病	4類	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
オムスク出血熱	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
回帰熱	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
キャサヌル森林病	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Q熱	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
狂犬病	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コクシジオイデス症	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ジカウイルス感染症	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重症熱性血小板減少症候群	4類	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	1	7
腎症候性出血熱	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西部ウマ脳炎	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ダニ媒介脳炎	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
炭疽	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
チクングニア熱	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
つつが虫病	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	34
デング熱	4類	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	23
東部ウマ脳炎	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥インフルエンザ	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニパウイルス感染症	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本紅斑熱	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6
日本脳炎	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
ハンタウイルス肺症候群	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Bウイルス病	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鼻疽	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ブルセラ症	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベネズエラウマ脳炎	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘンドラウイルス感染症	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発しんチフス	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボツリヌス症	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マラリア	4類	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	8
野兎病	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ライム病	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リッサウイルス感染症	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リフトバレー熱	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
類鼻疽	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
レジオネラ症	4類	5	1	0	3	0	0	18	27	33	19	14	406
レプトスピラ症	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
ロッキー山紅斑熱	4類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アメーバ赤痢	5類	0	0	0	0	0	0	3	8	10	7	7	114
ウイルス性肝炎（A型肝炎及びE型肝炎を除く）	5類	0	0	0	0	0	0	1	2	4	0	2	48
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	5類	1	0	0	0	0	0	6	11	16	23	12	237
急性弛緩性麻痺	5類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
急性脳炎（ウエストナイル脳炎、日本脳炎等を除く）	5類	0	0	0	0	0	0	4	10	2	5	7	115
クリプトスポリジウム症	5類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
クロイツフェルト・ヤコブ病	5類	0	0	0	0	1	1	3	3	4	2	4	39
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5類	0	1	3	1	1	0	14	20	19	17	25	394
後天性免疫不全症候群	5類	0	1	0	0	0	2	4	15	15	10	17	212
ジアルジア症	5類	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	7
侵襲性インフルエンザ菌感染症	5類	0	0	0	0	0	0	1	3	13	8	8	128
侵襲性髄膜炎菌感染症	5類	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	15
侵襲性肺炎球菌感染症	5類	3	0	2	0	0	2	14	49	44	47	49	812
水痘（入院例に限る）	5類	0	1	1	1	0	1	9	9	10	10	9	177
先天性風しん症候群	5類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
梅毒	5類	4	7	5	4	4	4	68	156	168	126	157	2549
播種性クリプトコックス症	5類	0	0	0	0	0	0	0	3	2	2	4	53
破傷風	5類	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	16
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	5類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	5類	0	0	0	1	0	0	1	0	2	2	3	21
百日咳	5類	2	1	4	1	1	2	57	100	88	70	77	2106
風しん	5類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
麻しん	5類	0	0	0	0	0	0	0	17	32	13	30	197
薬剤耐性アシネトバクター感染症	5類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
新型インフルエンザ等感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※次週以降に届出の追加や取り下げがあった場合、この表では、前週以前の届出数に反映されません。（「今週」と「年累計」は、現時点での正しい届出数です。前週以前の届出数はその後、増減している可能性があります。）

※令和5年5月26日から「サル痘」は「エムポックス」に、「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」は「カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症」に名称が変わりました。

定点把握感染症集計表(届出数)

2026 第 13 週

		静岡県							全国				
		第8週	第9週	第10週	第11週	第12週	今週	計	第10週	第11週	第12週	今週	計
小児科	RSウイルス感染症	32	22	31	30	26	28	169	1,307	1,354	1,240	1,143	5,044
	咽頭結膜熱	13	10	10	11	11	12	67	580	570	537	508	2,195
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	156	82	142	132	141	113	766	6,452	6,792	6,049	5,828	25,121
	感染性胃腸炎	542	502	457	480	478	350	2,809	15,024	14,545	12,759	12,730	55,058
	水痘	21	15	20	16	15	22	109	757	701	781	724	2,963
	手足口病	4	9	6	11	10	9	49	148	146	139	133	566
	伝染性紅斑	15	17	14	15	14	7	82	287	282	225	193	987
	突発性発しん	11	15	23	17	12	18	96	456	454	427	487	1,824
	ヘルパンギーナ	1			3	1		5	43	33	33	33	142
	流行性耳下腺炎	3		3	8	3	3	20	58	74	55	73	260
小・内	インフルエンザ	4,215	2,172	1,055	770	621	399	9,232	54,516	44,322	37,043	24,536	160,417
	新型コロナウイルス感染症	249	172	141	154	159	98	973	4,783	4,498	4,079	3,629	16,989
眼科	急性出血性結膜炎						1	1	1	5	9	12	27
	流行性角結膜炎	2	2	2	3	1	3	13	234	234	210	232	910
基幹	細菌性髄膜炎			1				1	13	15	9	7	44
	無菌性髄膜炎	1		1		1		3	14	17	13	12	56
	マイコプラズマ肺炎	3	1	5		2		11	98	94	101	91	384
	クラミジア肺炎（オウム病は除く）								3	7	4	5	19
	感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）								43	34	36	44	157

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎（オウム病は除く）、感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねています。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日（第19週）から五類感染症（定点把握対象）に追加されました。

定点把握感染症集計表(定点当り患者数)

2026 第 13 週

		静岡県						全国			
		第8週	第9週	第10週	第11週	第12週	今週	第10週	第11週	第12週	今週
小児科	RSウイルス感染症	0.36	0.25	0.35	0.34	0.29	0.32	0.57	0.59	0.54	0.50
	咽頭結膜熱	0.15	0.11	0.11	0.12	0.12	0.14	0.25	0.25	0.23	0.22
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.75	0.92	1.60	1.48	1.58	1.28	2.80	2.95	2.63	2.54
	感染性胃腸炎	6.09	5.64	5.13	5.39	5.37	3.98	6.52	6.32	5.54	5.54
	水痘	0.24	0.17	0.22	0.18	0.17	0.25	0.33	0.30	0.34	0.32
	手足口病	0.04	0.10	0.07	0.12	0.11	0.10	0.06	0.06	0.06	0.06
	伝染性紅斑	0.17	0.19	0.16	0.17	0.16	0.08	0.12	0.12	0.10	0.08
	突発性発しん	0.12	0.17	0.26	0.19	0.13	0.20	0.20	0.20	0.19	0.21
	ヘルパンギーナ	0.01			0.03	0.01		0.02	0.01	0.01	0.01
	流行性耳下腺炎	0.03		0.03	0.09	0.03	0.03	0.03	0.03	0.02	0.03
小・内	インフルエンザ	30.32	15.63	7.59	5.54	4.47	2.87	14.33	11.66	9.75	6.46
	新型コロナウイルス感染症	1.79	1.24	1.01	1.11	1.14	0.71	1.26	1.18	1.07	0.96
眼科	急性出血性結膜炎						0.05	0.00	0.01	0.01	0.02
	流行性角結膜炎	0.09	0.09	0.09	0.14	0.05	0.14	0.34	0.34	0.30	0.34
基幹	細菌性髄膜炎			0.10				0.03	0.03	0.02	0.01
	無菌性髄膜炎	0.10		0.10		0.10		0.03	0.04	0.03	0.02
	マイコプラズマ肺炎	0.30	0.10	0.50		0.20		0.20	0.20	0.21	0.19
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0.01	0.01	0.01	0.01
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)							0.09	0.07	0.07	0.09

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※定点当り患者数とは1週間の1医療機関当りの平均患者数です。(報告数÷定点医療機関数＝定点当り患者数)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねています。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

定点把握感染症保健所別集計表

第 13 週　　定点把握感染症　保健所別状況

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	28	0.31	12	0.13	113	1.27	350	3.93	22	0.25
賀茂							8	4.00		
熱海					1	0.25	22	5.50		
東部	1	0.08	3	0.23	13	1.00	34	2.62		
御殿場	1	0.25	6	1.50	14	3.50	29	7.25		
富士	1	0.11	1	0.11	8	0.89	23	2.56	1	0.11
静岡市	11	0.69	1	0.06	29	1.81	60	3.75	1	0.06
中部	3	0.30			13	1.30	50	5.00	6	0.60
西部	1	0.08	1	0.08	9	0.75	56	4.67	12	1.00
浜松市	10	0.56			26	1.44	68	3.78	2	0.11

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	定点当り	罹患数	定点当り
総数	9	0.10	7	0.08	18	0.20	0		3	0.03
賀茂										
熱海										
東部	1	0.08			1	0.08				
御殿場			2	0.50	2	0.50				
富士	2	0.22	1	0.11	2	0.22			3	0.33
静岡市	1	0.06			4	0.25				
中部	1	0.10			2	0.20				
西部			3	0.25	2	0.17				
浜松市	4	0.22	1	0.06	5	0.28				

保健所名	インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症				指定届出機関（定点）数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	注意報基準値	警報基準値	小児科	内科
総数	399	2.87	98	0.71	8.0	16.0	89	50
賀茂	6	2.00	4	1.33	13.0	26.0	2	1
熱海	15	2.50	7	1.17	9.0	18.0	4	2
東部	64	3.20	23	1.15	8.0	16.0	13	7
御殿場	39	6.50	16	2.67	17.0	34.0	4	2
富士	61	4.07	4	0.27	11.0	22.0	9	6
静岡市	57	2.28	17	0.68	6.0	12.0	16	9
中部	16	0.94	9	0.53	8.0	16.0	11	6
西部	77	4.05	13	0.68	10.0	20.0	12	7
浜松市	64	2.29	5	0.18	7.0	14.0	18	10

*新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日（第19週）から五類（定点把握対象）に追加されました。

第 13 週　　定点把握感染症　保健所別状況

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	1	0.05	3	0.14	0		0		0	
賀茂										
熱海										
東部	1	0.25								
御殿場										
富士										
静岡市			3	0.60						
中部										
西部										
浜松市										

保健所名	クラミジア肺炎（オウム病は除く）		感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		0	
賀茂				
熱海				
東部				
御殿場				
富士				
静岡市				
中部				
西部				
浜松市				

指定届出機関（定点）数	
眼科	基幹
22	10
	1
	1
4	1
3	1
5	2
3	1
4	1
3	2

*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

定点把握感染症年齢階級別集計表(届出数)

2026 第 13 週

年齢階級区分(小児科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上	計
RSウイルス感染症	4	2	10	6	2	3	1								28
咽頭結膜熱			2	4	4	1		1							12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1	9	6	17	21	16	1	13	4	15		10	113
感染性胃腸炎	1	27	43	33	41	40	31	23	17	13	11	33	8	29	350
水痘	1	1	2		6		1	5	2			4			22
手足口病		2	4	2	1										9
伝染性紅斑						2	1	2		2					7
突発性発しん	1	6	9	1	1										18
ヘルパンギーナ															0
流行性耳下腺炎					1	1	1								3

年齢階級区分(小児科・内科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
インフルエンザ		5	10	14	18	27	21	30	24	18	7	59	59	27	38	22	12	2	4	2	399
新型コロナウイルス感染症	3		6	2	1	3	2			2	1	7	1	4	5	7	13	10	9	22	98

年齢階級区分(眼科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
急性出血性結膜炎															1					1
流行性角結膜炎														2		1				3

年齢階級区分(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
細菌性髄膜炎																	0
無菌性髄膜炎																	0
マイコプラズマ肺炎																	0
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																	0
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																	0

定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

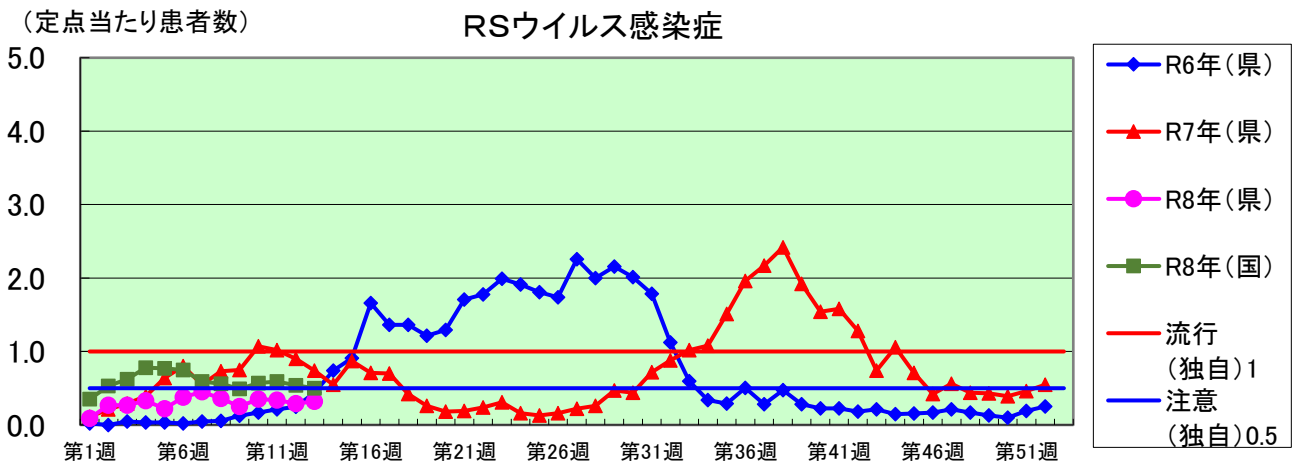
2026 第 13 週

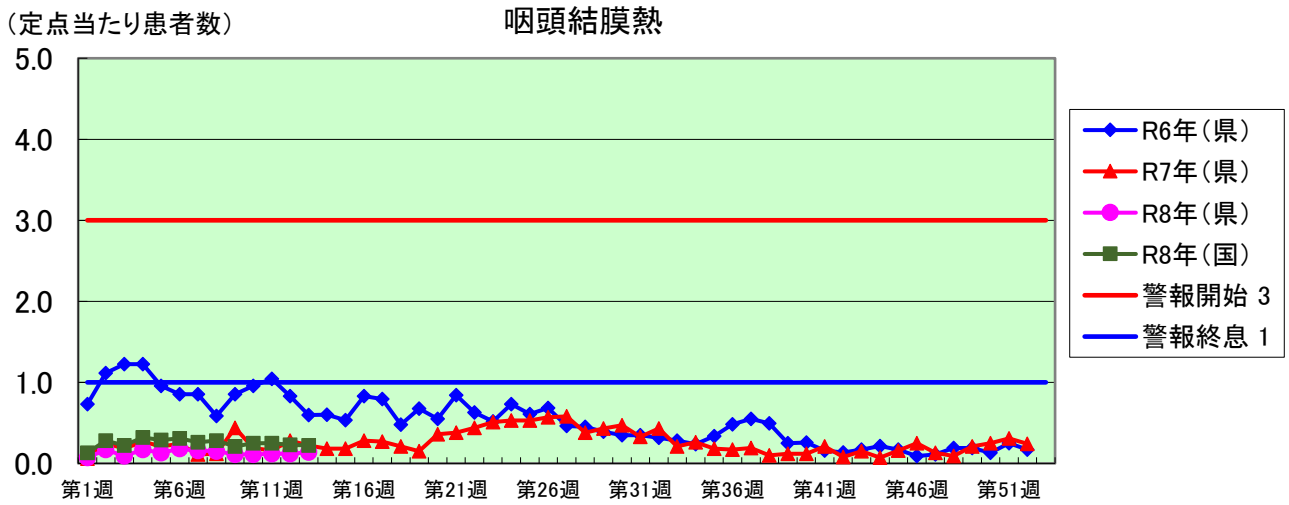
年齢階級区分(小児科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上	計
RSウイルス感染症	0.04	0.02	0.11	0.07	0.02	0.03	0.01								0.31
咽頭結膜熱			0.02	0.04	0.04	0.01		0.01							0.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			0.01	0.10	0.07	0.19	0.24	0.18	0.01	0.15	0.04	0.17		0.11	1.27
感染性胃腸炎	0.01	0.30	0.48	0.37	0.46	0.45	0.35	0.26	0.19	0.15	0.12	0.37	0.09	0.33	3.93
水痘	0.01	0.01	0.02		0.07		0.01	0.06	0.02			0.04			0.25
手足口病		0.02	0.04	0.02	0.01										0.10
伝染性紅斑						0.02	0.01	0.02		0.02					0.08
突発性発しん	0.01	0.07	0.10	0.01	0.01										0.20
ヘルパンギーナ															0.00
流行性耳下腺炎					0.01	0.01	0.01								0.03

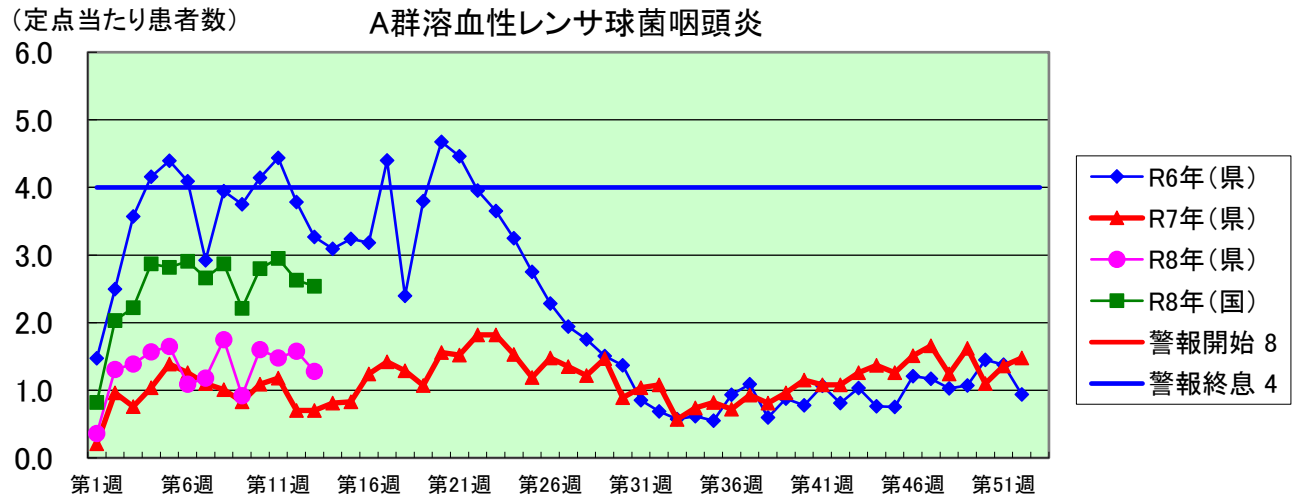
年齢階級区分(小児科・内科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
インフルエンザ		0.04	0.07	0.10	0.13	0.19	0.15	0.22	0.17	0.13	0.05	0.42	0.42	0.19	0.27	0.16	0.09	0.01	0.03	0.01	2.87
新型コロナウイルス感染症	0.02		0.04	0.01	0.01	0.02	0.01			0.01	0.01	0.05	0.01	0.03	0.04	0.05	0.09	0.07	0.06	0.16	0.71

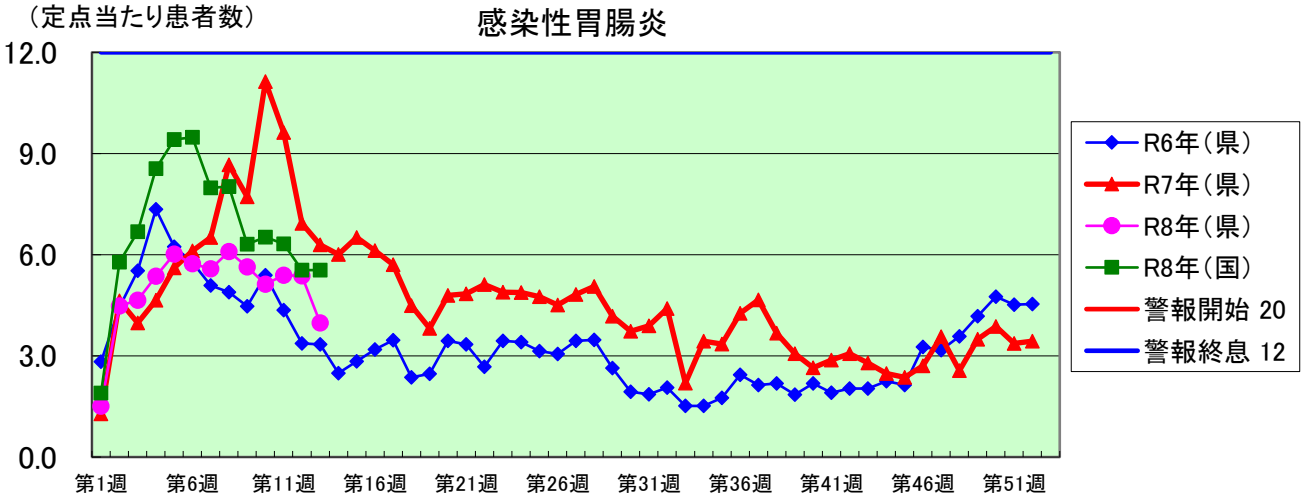
年齢階級区分(眼科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		計
急性出血性結膜炎															0.05					0	0.05
流行性角結膜炎														0.10		0.05				0	0.14

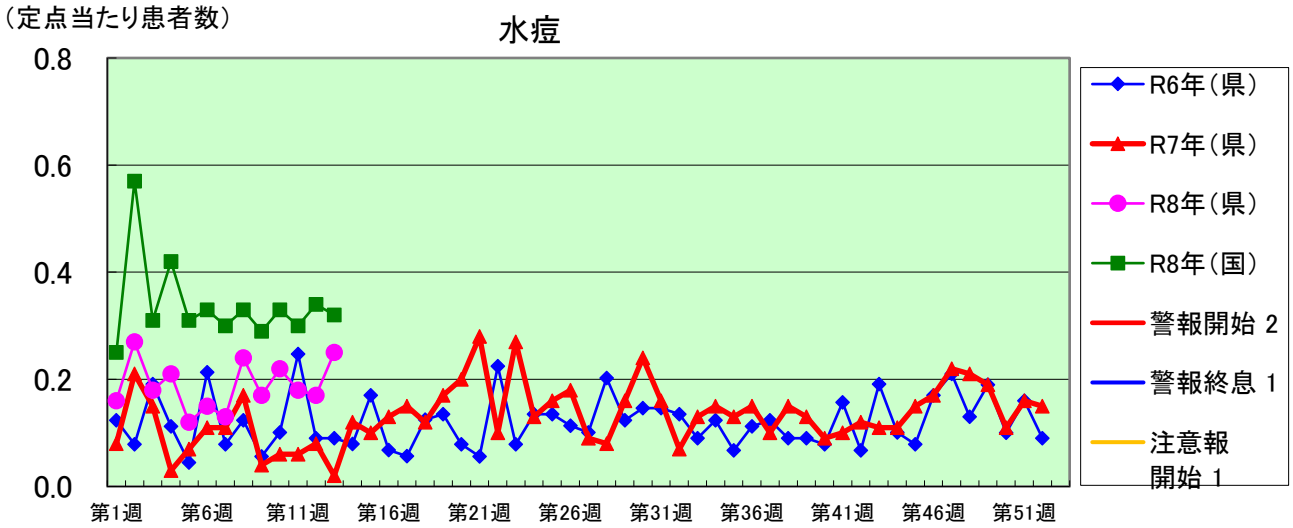
年齢階級区分(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
細菌性髄膜炎																	0.00
無菌性髄膜炎																	0.00
マイコプラズマ肺炎																	0.00
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																	0.00
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																	0.00

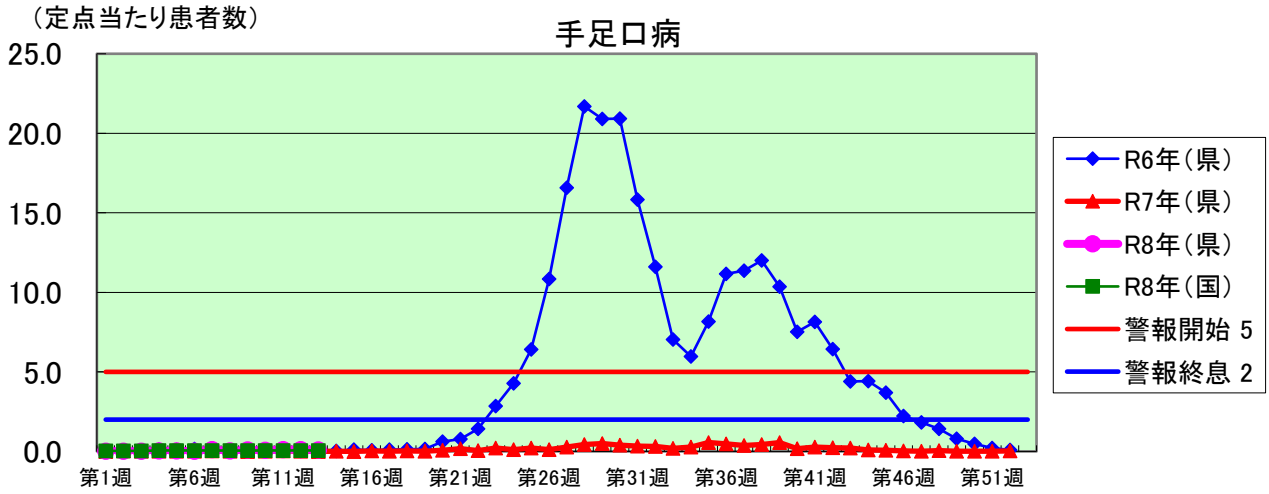

（定点当たり患者数）
RSウイルス感染症
5.0
4.0
3.0
2.0
1.0
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R6年（県）
R7年（県）
R8年（県）
R8年（国）
流行（独自）1
注意（独自）0.5

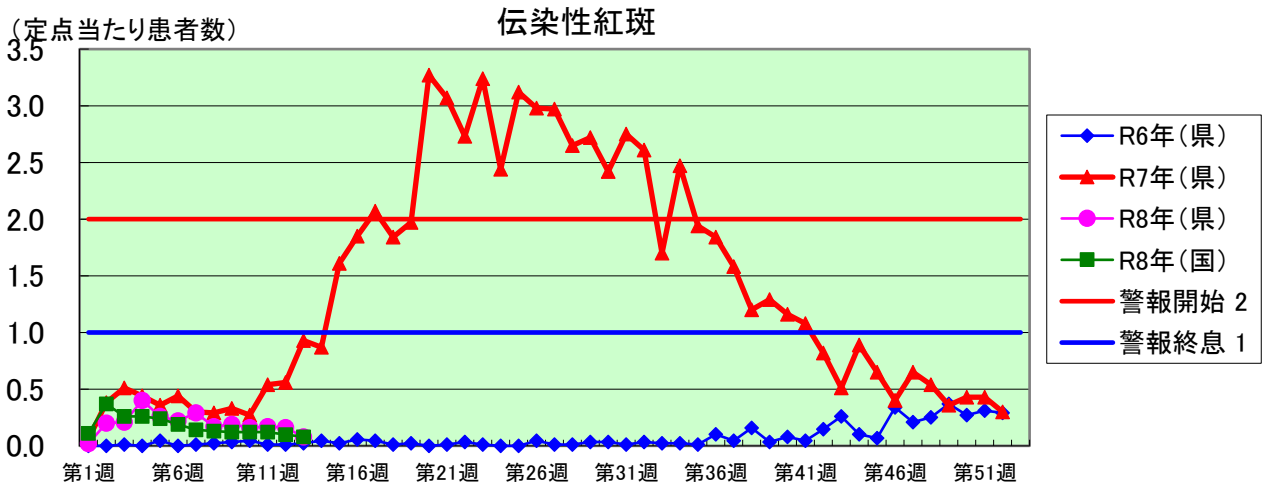

（定点当たり患者数）
咽頭結膜熱
5.0
4.0
3.0
2.0
1.0
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R6年（県）
R7年（県）
R8年（県）
R8年（国）
警報開始 3
警報終息 1

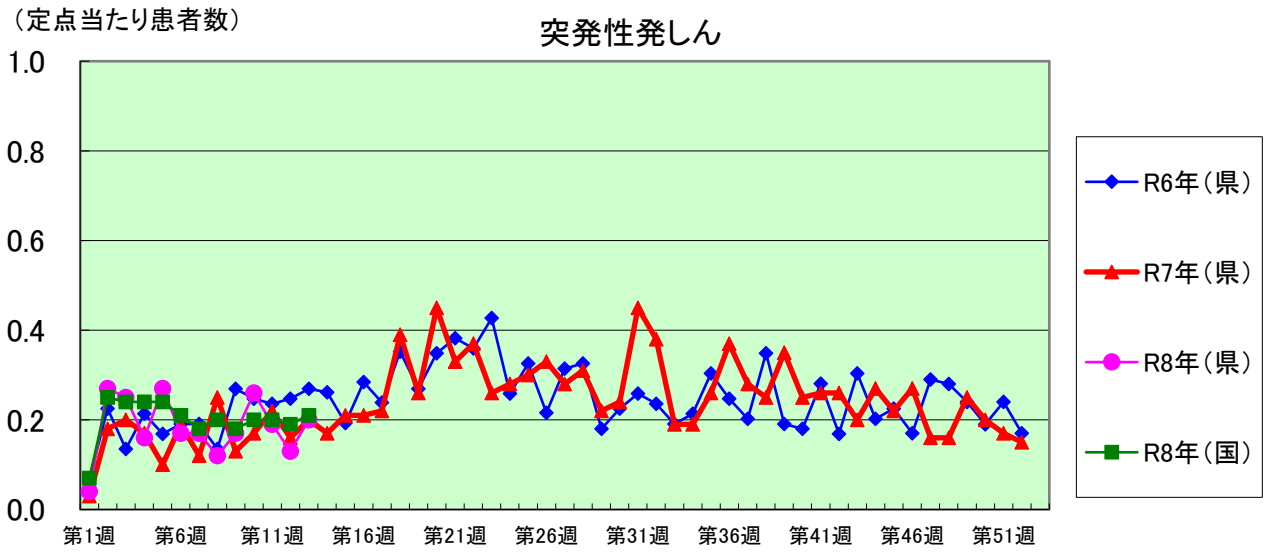

（定点当たり患者数）
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
6.0
5.0
4.0
3.0
2.0
1.0
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R6年（県）
R7年（県）
R8年（県）
R8年（国）
警報開始 8
警報終息 4

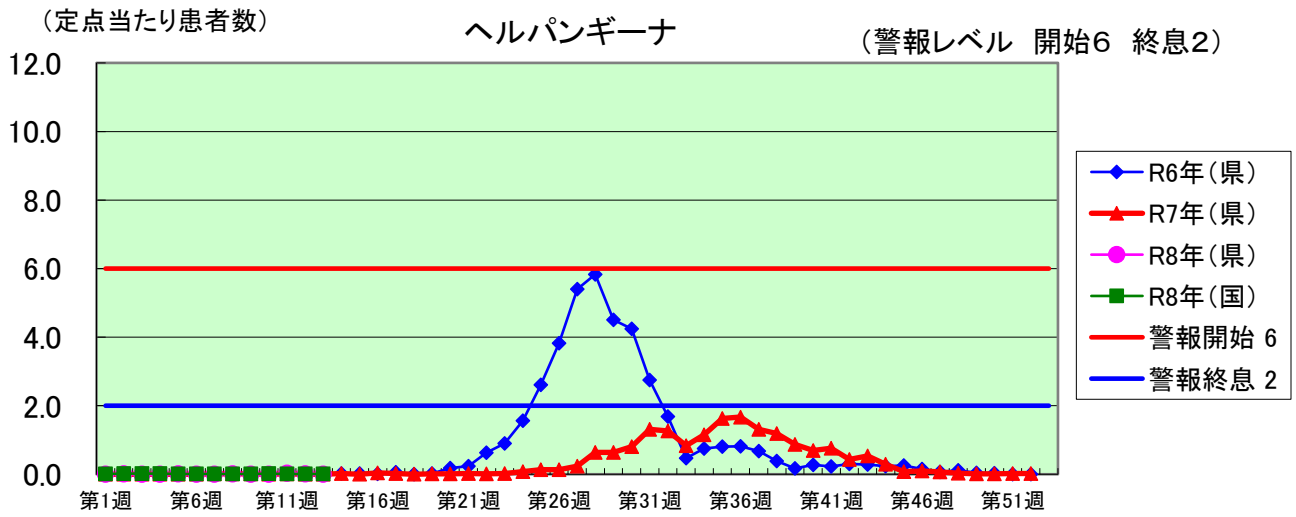

（定点当たり患者数）
感染性胃腸炎
12.0
9.0
6.0
3.0
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R6年（県）
R7年（県）
R8年（県）
R8年（国）
警報開始 20
警報終息 12

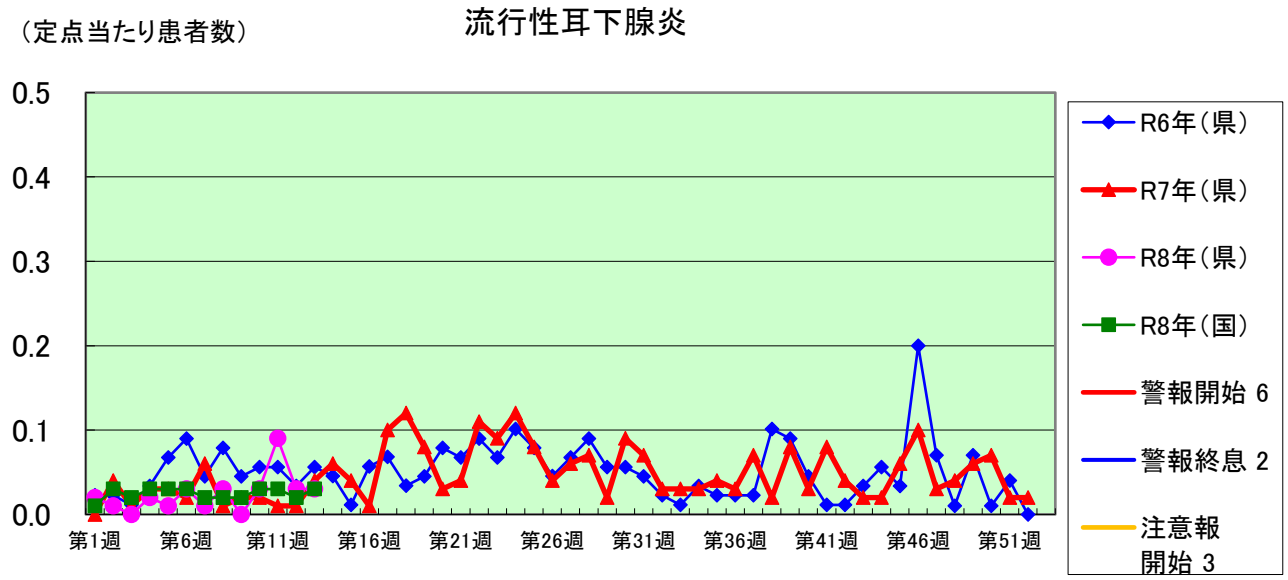

（定点当たり患者数）
水痘
0.8
0.6
0.4
0.2
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R6年（県）
R7年（県）
R8年（県）
R8年（国）
警報開始 2
警報終息 1
注意報開始 1

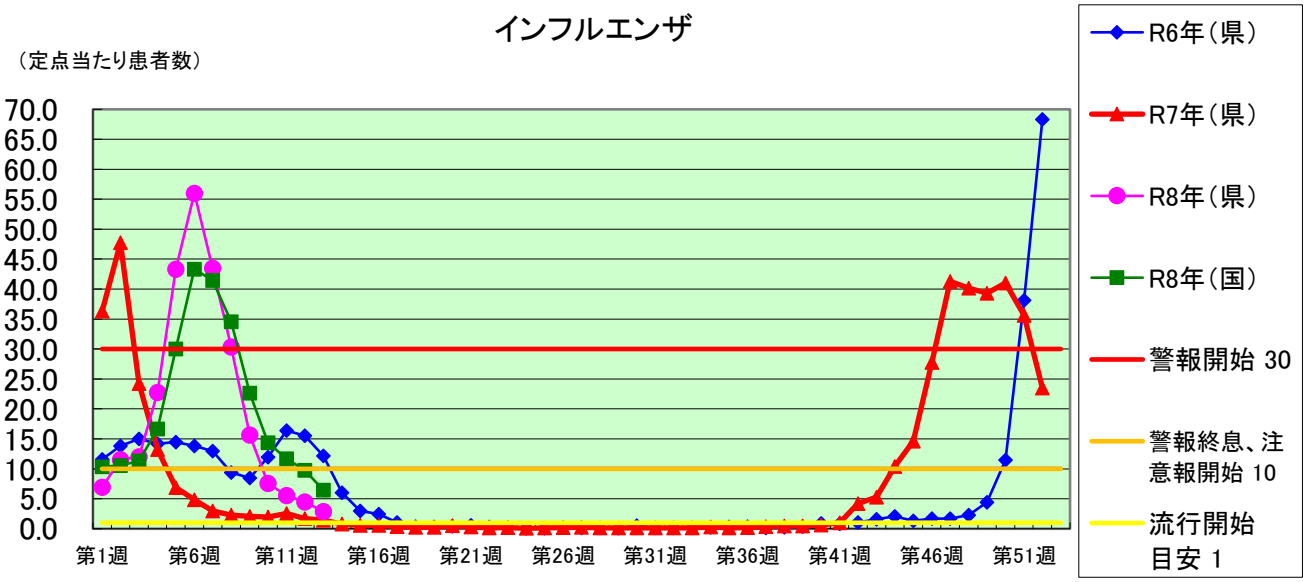

（定点当たり患者数）
手足口病
25.0
20.0
15.0
10.0
5.0
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R6年（県）
R7年（県）
R8年（県）
R8年（国）
警報開始 5
警報終息 2

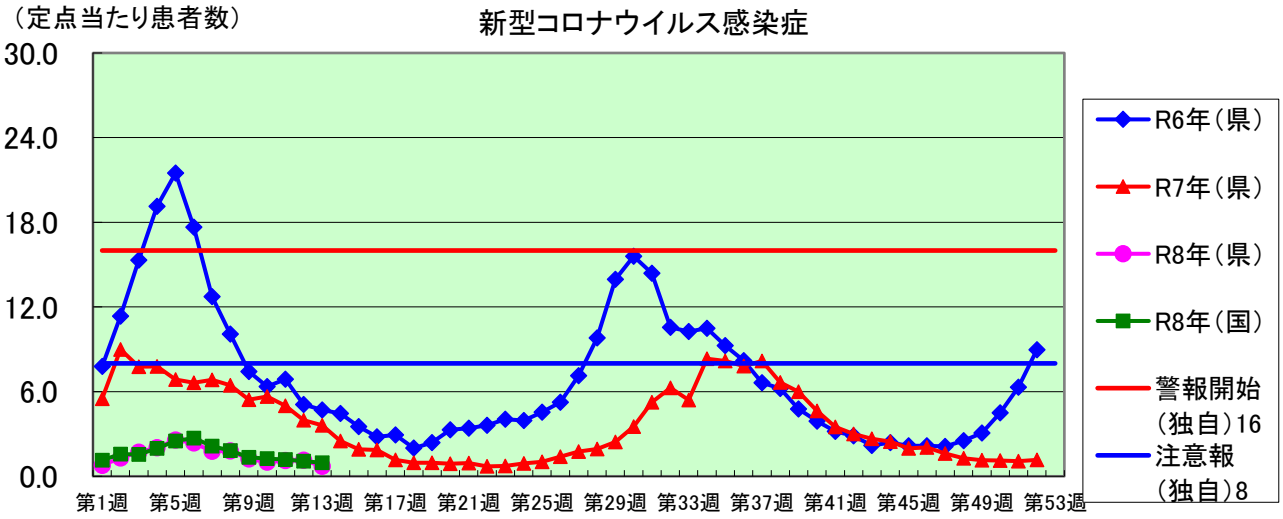

伝染性紅斑
（定点当たり患者数）
3.5
3.0
2.5
2.0
1.5
1.0
0.5
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R6年（県）
R7年（県）
R8年（県）
R8年（国）
警報開始 2
警報終息 1

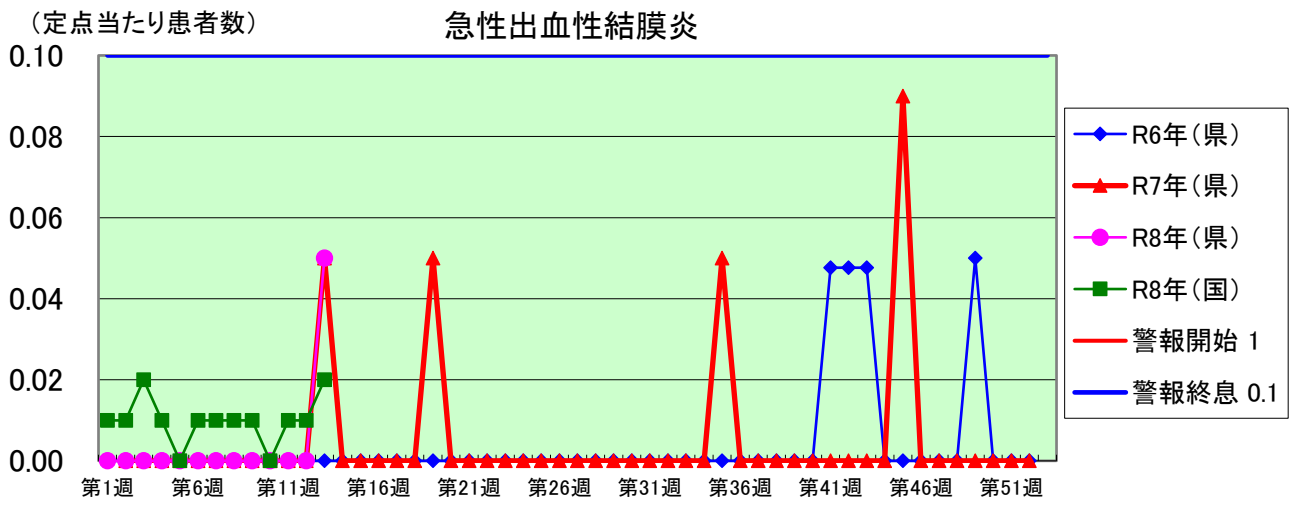

突発性発しん
（定点当たり患者数）
1.0
0.8
0.6
0.4
0.2
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R6年（県）
R7年（県）
R8年（県）
R8年（国）

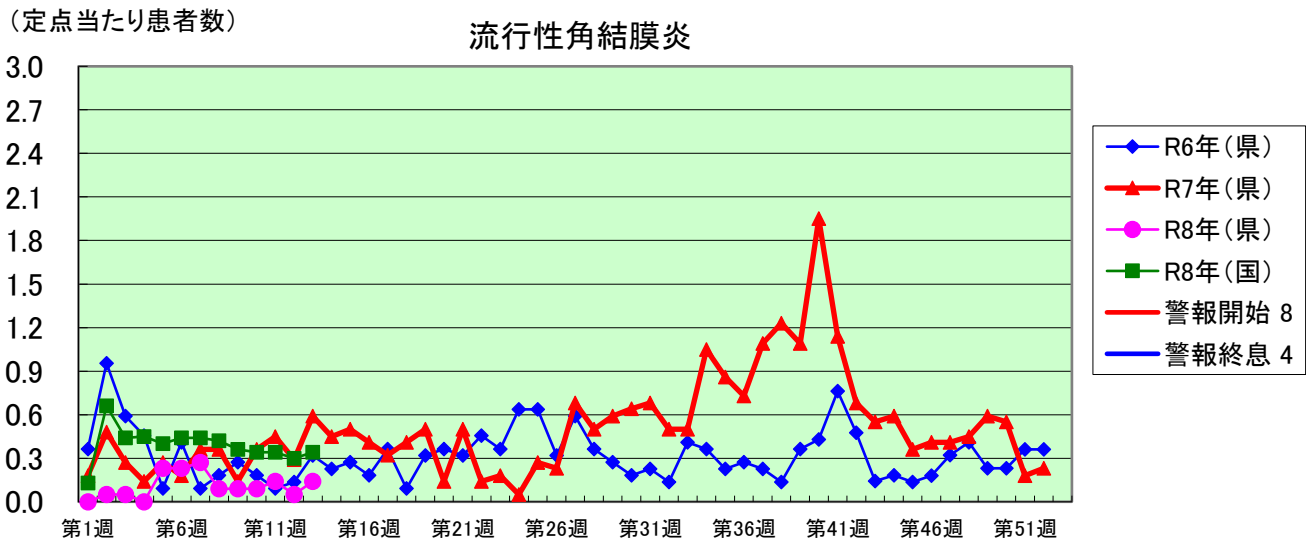

ヘルパンギーナ
（定点当たり患者数）
（警報レベル　開始6　終息2）
12.0
10.0
8.0
6.0
4.0
2.0
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R6年（県）
R7年（県）
R8年（県）
R8年（国）
警報開始 6
警報終息 2

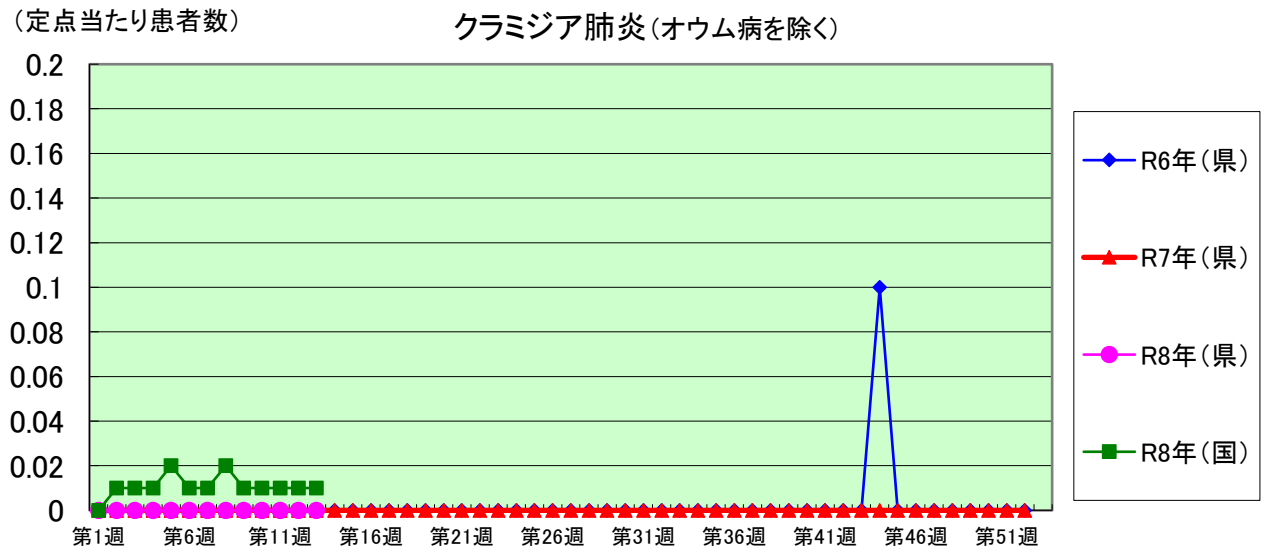

流行性耳下腺炎
（定点当たり患者数）
0.5
0.4
0.3
0.2
0.1
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R6年（県）
R7年（県）
R8年（県）
R8年（国）
警報開始 6
警報終息 2
注意報開始 3

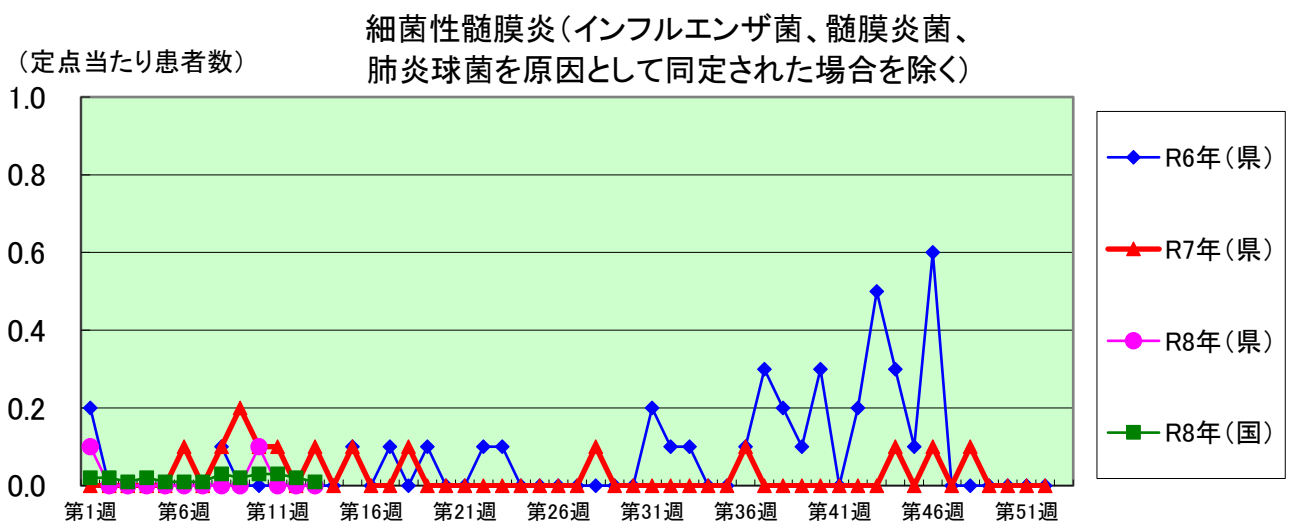

インフルエンザ
（定点当たり患者数）
70.0
65.0
60.0
55.0
50.0
45.0
40.0
35.0
30.0
25.0
20.0
15.0
10.0
5.0
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R6年（県）
R7年（県）
R8年（県）
R8年（国）
警報開始 30
警報終息、注意報開始 10
流行開始目安 1

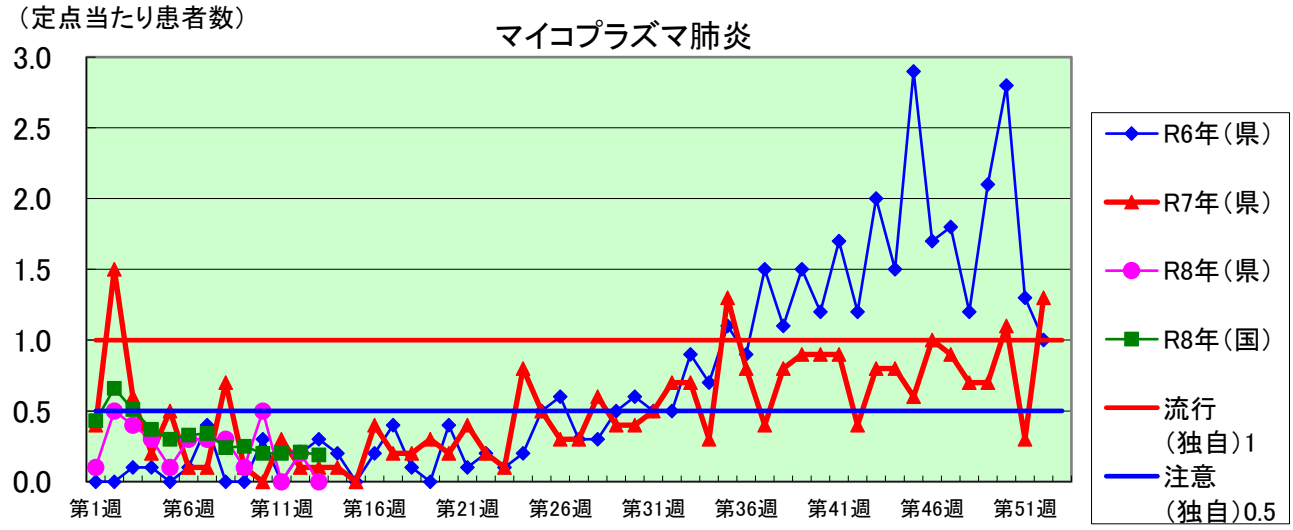

新型コロナウイルス感染症
（定点当たり患者数）
30.0
24.0
18.0
12.0
6.0
0.0
第1週
第5週
第9週
第13週
第17週
第21週
第25週
第29週
第33週
第37週
第41週
第45週
第49週
第53週
R6年（県）
R7年（県）
R8年（県）
R8年（国）
警報開始（独自）16
注意報（独自）8

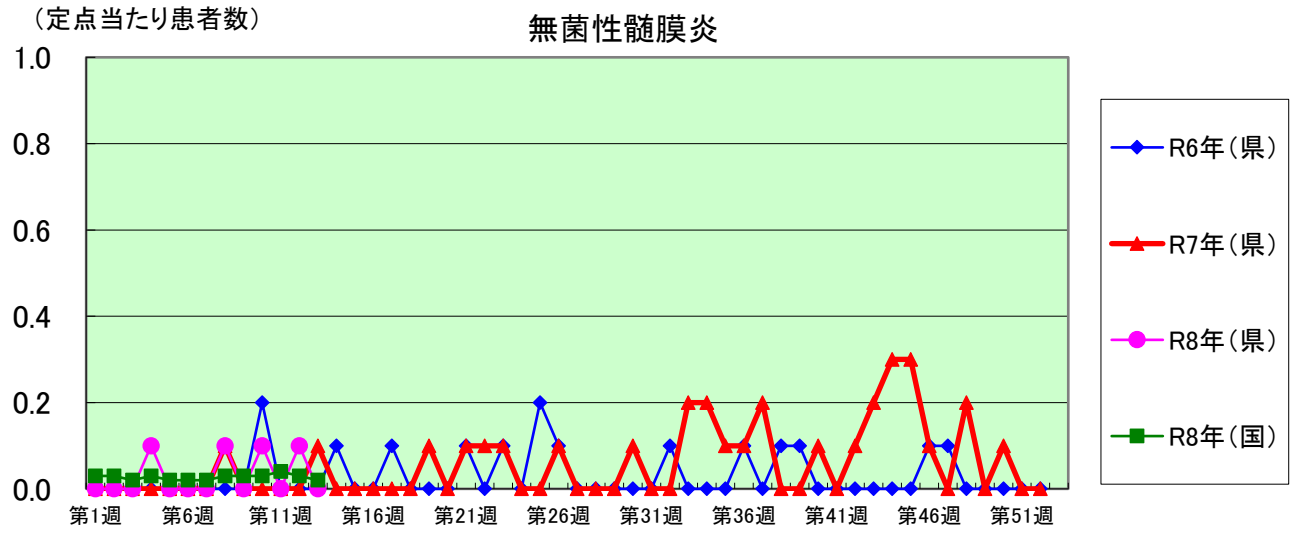

（定点当たり患者数）
急性出血性結膜炎
0.10
0.08
0.06
0.04
0.02
0.00
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R6年（県）
R7年（県）
R8年（県）
R8年（国）
警報開始 1
警報終息 0.1

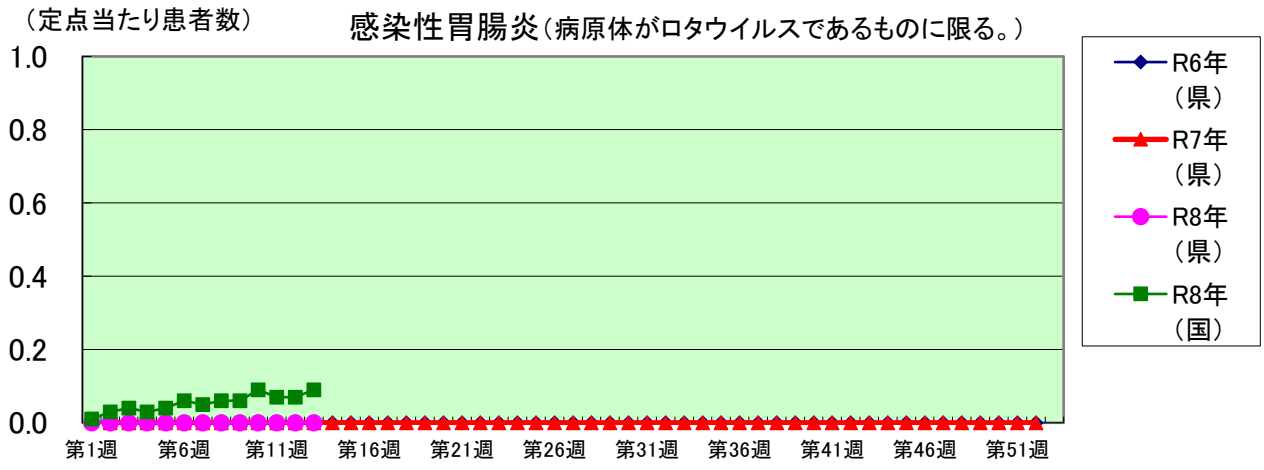

（定点当たり患者数）
流行性角結膜炎
3.0
2.7
2.4
2.1
1.8
1.5
1.2
0.9
0.6
0.3
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R6年（県）
R7年（県）
R8年（県）
R8年（国）
警報開始 8
警報終息 4


（定点当たり患者数）
クラミジア肺炎（オウム病を除く）
0.2
0.18
0.16
0.14
0.12
0.1
0.08
0.06
0.04
0.02
0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R6年（県）
R7年（県）
R8年（県）
R8年（国）


細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、
肺炎球菌を原因として同定された場合を除く）
（定点当たり患者数）
1.0
0.8
0.6
0.4
0.2
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R6年（県）
R7年（県）
R8年（県）
R8年（国）


（定点当たり患者数）
マイコプラズマ肺炎
3.0
2.5
2.0
1.5
1.0
0.5
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R6年（県）
R7年（県）
R8年（県）
R8年（国）
流行
（独自）1
注意
（独自）0.5


（定点当たり患者数）
無菌性髄膜炎
1.0
0.8
0.6
0.4
0.2
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R6年（県）
R7年（県）
R8年（県）
R8年（国）



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎（オウム病を除く）、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）

定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2026年　2　月

	静岡県							全国				
	9月	10月	11月	12月	1月	今月	計	11月	12月	1月	今月	計
性器クラミジア感染症	52	39	40	41	33	38	243	2,295	2,136	2,279	2,124	8,834
性器ヘルペスウイルス感染症	13	14	16	16	9	4	72	904	932	890	844	3,570
尖圭コンジローマ	9	10	10	11	3	5	48	472	482	457	459	1,870
淋菌感染症	9	12	11	9	15	9	65	643	576	712	564	2,495
性器クラミジア感染症(男)	18	20	13	17	12	19	99	1,140	1,053	1,153	1,087	4,433
性器クラミジア感染症(女)	34	19	27	24	21	19	144	1,155	1,083	1,126	1,037	4,401
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	4	5	8	6	1	2	26	339	353	342	324	1,358
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	9	9	8	10	8	2	46	565	579	548	520	2,212
尖圭コンジローマ(男)	5	7	6	6	−	2	26	320	329	320	313	1,282
尖圭コンジローマ(女)	4	3	4	5	3	3	22	152	153	137	146	588
淋菌感染症(男)	7	7	8	8	12	6	48	488	426	562	418	1,894
淋菌感染症(女)	2	5	3	1	3	3	17	155	150	150	146	601
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	23	11	32	34	28	31	159	1,233	1,304	1,346	1,290	5,173
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	−	1	−	−	−	−	1	24	34	41	25	124
薬剤耐性緑膿菌感染症	−	−	−	−	−	−		9	9	5	9	32

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2026年　2　月

	静岡県						全国			
	9月	10月	11月	12月	1月	今月	11月	12月	1月	今月
性器クラミジア感染症	1.73	1.30	1.33	1.37	1.10	1.27	2.34	2.19	2.35	2.17
性器ヘルペスウイルス感染症	0.43	0.47	0.53	0.53	0.30	0.13	0.92	0.95	0.92	0.86
尖圭コンジローマ	0.30	0.33	0.33	0.37	0.10	0.17	0.48	0.49	0.47	0.47
淋菌感染症	0.30	0.40	0.37	0.30	0.50	0.30	0.66	0.59	0.74	0.58
性器クラミジア感染症（男）	0.60	0.67	0.43	0.57	0.40	0.63	1.16	1.08	1.19	1.11
性器クラミジア感染症（女）	1.13	0.63	0.90	0.80	0.70	0.63	1.18	1.11	1.16	1.06
性器ヘルペスウイルス感染症（男）	0.13	0.17	0.27	0.20	0.03	0.07	0.35	0.36	0.35	0.33
性器ヘルペスウイルス感染症（女）	0.30	0.30	0.27	0.33	0.27	0.07	0.58	0.59	0.57	0.53
尖圭コンジローマ（男）	0.17	0.23	0.20	0.20	－	0.07	0.33	0.34	0.33	0.32
尖圭コンジローマ（女）	0.13	0.10	0.13	0.17	0.10	0.10	0.15	0.16	0.14	0.15
淋菌感染症（男）	0.23	0.23	0.27	0.27	0.40	0.20	0.50	0.44	0.58	0.43
淋菌感染症（女）	0.13	0.10	0.13	0.17	0.10	0.10	0.16	0.15	0.15	0.15
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2.30	1.10	3.20	3.40	2.80	3.10	2.57	2.73	2.83	2.68
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	－	0.10	－	－	－	－	0.05	0.07	0.09	0.05
薬剤耐性緑膿菌感染症	－	－	－	－	－	－	0.02	0.02	0.01	0.02

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

定点把握感染症(月報)保健所別集計表

2026年　　2　　月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	38	1.27	4	0.13	5	0.17	9	0.30
賀茂	…	…	…	…	…	…	…	…
熱海	-	-	-	-	-	-	-	-
東部	1	0.20	-	-	-	-	-	-
御殿場	2	2.00	-	-	-	-	1	1.00
富士	3	1.00	2	0.67	-	-	1	0.33
静岡市	18	3.00	2	0.33	1	0.17	5	0.83
中部	5	1.25	-	-	1	0.25	2	0.50
西部	6	1.20	-	-	2	0.40	-	-
浜松市	3	0.60	-	-	1	0.20	-	-

保健所名	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	31	3.10	–	–	–	–
賀茂	3	3.00	-	-	-	-
熱海	2	2.00	-	-	-	-
東部	-	-	-	-	-	-
御殿場	…	…	…	…	…	…
富士	1	1.00	-	-	-	-
静岡市	18	9.00	-	-	-	-
中部	1	1.00	-	-	-	-
西部	2	2.00	-	-	-	-
浜松市	4	2.00	-	-	-	-

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂		1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

＊薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から全数把握の対象となりました。

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(届出数)

2 月

年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					1	15	4	4	4	1	1	1	2	4	1		38
性器ヘルペスウイルス感染症								2	1							1	4
尖圭コンジローマ					1	1			1			2					5
淋菌感染症						1		3	1			2	1	1			9
性器クラミジア感染症(男)						4	3	1	2		1	1	2	4	1		19
性器クラミジア感染症(女)					1	11	1	3	2	1							19
性器ヘルペスウイルス感染症(男)									1							1	2
性器ヘルペスウイルス感染症(女)								2									2
尖圭コンジローマ(男)									1			1					2
尖圭コンジローマ(女)					1	1						1					3
淋菌感染症(男)								1	1			2	1	1			6
淋菌感染症(女)						1		2									3
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1				1					2		1	1	1	4	20	31
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

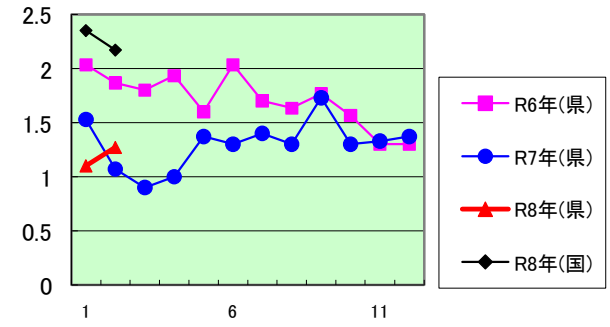
定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(定点当り)

2 月

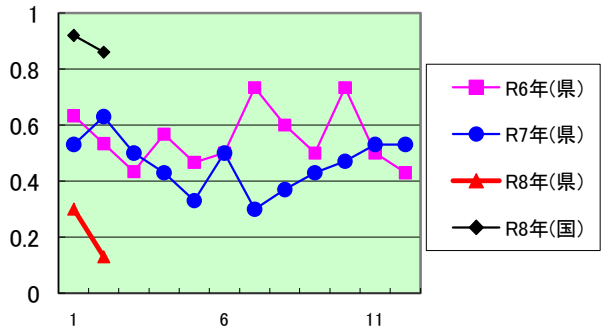
年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					0.03	0.50	0.13	0.13	0.13	0.03	0.03	0.03	0.07	0.13	0.03		1.27
性器ヘルペスウイルス感染症								0.07	0.03							0.03	0.13
尖圭コンジローマ					0.03	0.03			0.03			0.07					0.17
淋菌感染症						0.03		0.10	0.03			0.07	0.03	0.03			0.30
性器クラミジア感染症(男)						0.13	0.10	0.03	0.07		0.03	0.03	0.07	0.13	0.03		0.63
性器クラミジア感染症(女)					0.03	0.37	0.03	0.10	0.07	0.03							0.63
性器ヘルペスウイルス感染症(男)									0.03							0.03	0.07
性器ヘルペスウイルス感染症(女)								0.07									0.07
尖圭コンジローマ(男)									0.03			0.03					0.07
尖圭コンジローマ(女)					0.03	0.03						0.03					0.10
淋菌感染症(男)								0.03	0.03			0.07	0.03	0.03			0.20
淋菌感染症(女)						0.03		0.07									0.10
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0.10				0.10					0.20		0.10	0.10	0.10	0.40	2.00	3.10
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

定点把握感染症(月報)推移グラフ

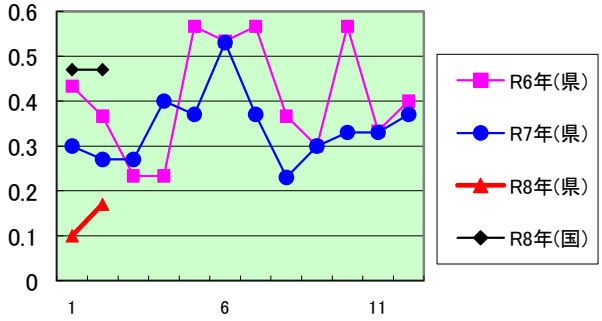
性器クラミジア感染症



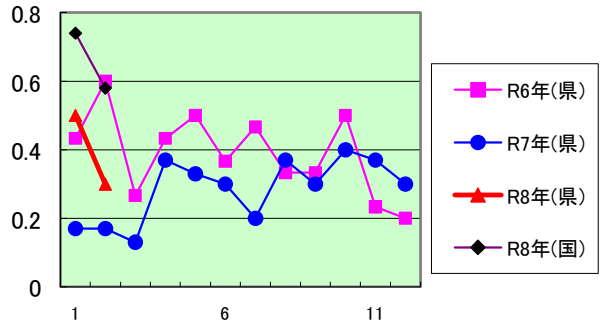
性器ヘルペスウイルス感染症



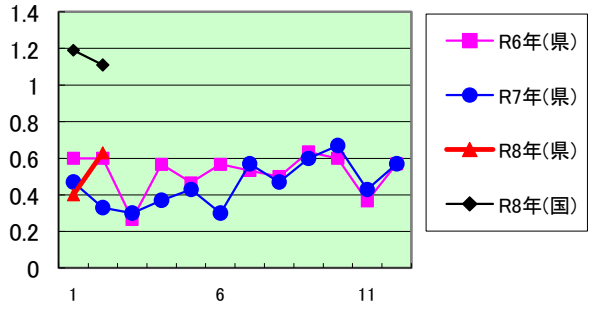
尖圭コンジローマ



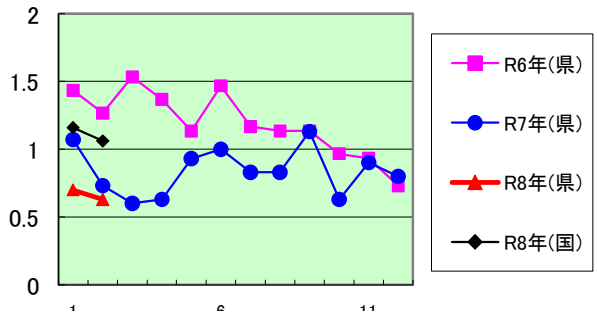
淋菌感染症



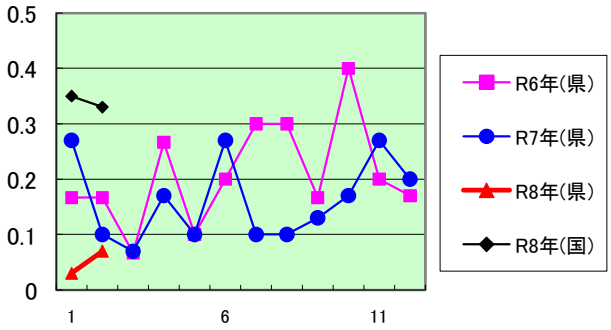
性器クラミジア感染症（男）



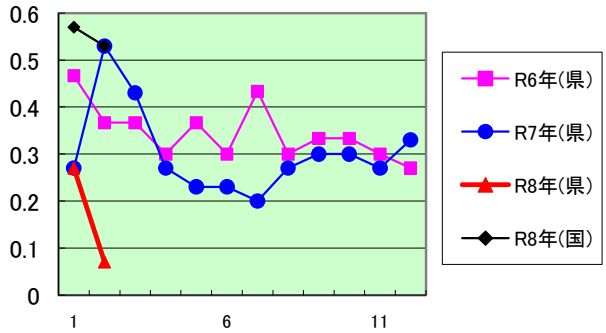
性器クラミジア感染症（女）



性器ヘルペスウイルス感染症（男）

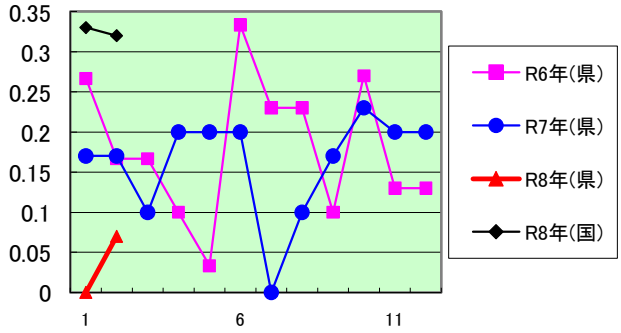


性器ヘルペスウイルス感染症（女）

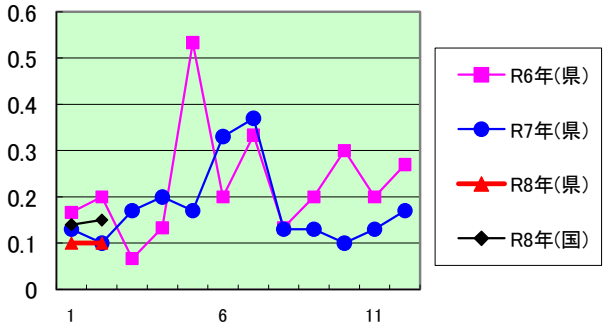


定点把握感染症(月報)推移グラフ

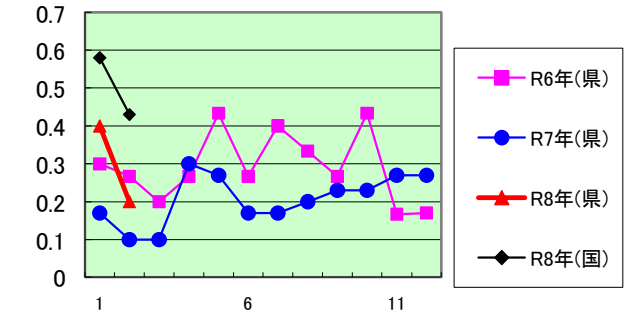
尖圭コンジローマ(男)



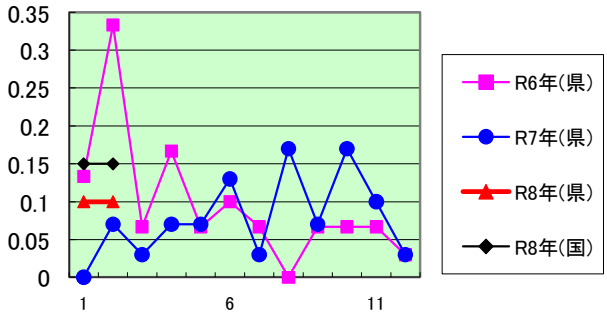
尖圭コンジローマ(女)



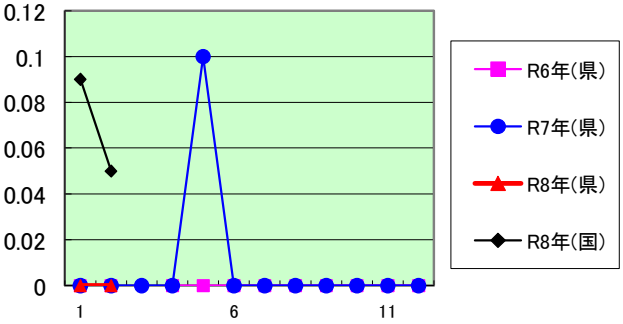
淋菌感染症(男)



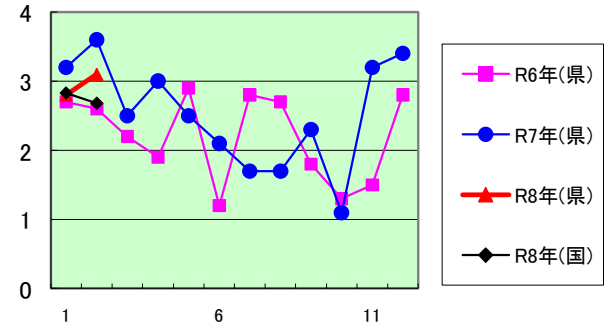
淋菌感染症(女)



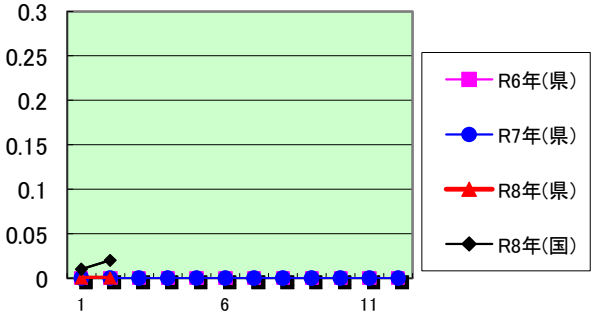
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



薬剤耐性緑膿菌感染症



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

インフルエンザ施設別発生状況(学級閉鎖)について

2026年　　第13週　　3/23　～ 3/29

保:保育園　幼:幼稚園　小:小学校　中:中学校　高:高等学校
特支:特別支援学校　こ:こども園　高専:高等専門学校

市町	学級閉鎖があった学校・園の施設種別	保	幼	小	中	高	特支	こ	高専	今週合計	前週	今シーズン合計
下田市	学校・園の数										1	21
	学校・園の患者数合計										8	282
東伊豆町	学校・園の数										0	13
	学校・園の患者数合計										0	189
河津町	学校・園の数										0	3
	学校・園の患者数合計										0	34
南伊豆町	学校・園の数										0	9
	学校・園の患者数合計										0	100
松崎町	学校・園の数										0	9
	学校・園の患者数合計										0	137
西伊豆町	学校・園の数										0	8
	学校・園の患者数合計										0	82
熱海市	学校・園の数										0	16
	学校・園の患者数合計										0	139
伊東市	学校・園の数										0	36
	学校・園の患者数合計										0	518
沼津市	学校・園の数										0	121
	学校・園の患者数合計										0	2,443
三島市	学校・園の数										0	69
	学校・園の患者数合計										0	1,397
裾野市	学校・園の数										0	47
	学校・園の患者数合計										0	654
伊豆市	学校・園の数										0	7
	学校・園の患者数合計										0	139
伊豆の国市	学校・園の数										0	35
	学校・園の患者数合計										0	778
函南町	学校・園の数										0	26
	学校・園の患者数合計										0	490
清水町	学校・園の数										0	11
	学校・園の患者数合計										0	184
長泉町	学校・園の数										0	29
	学校・園の患者数合計										0	649
御殿場市	学校・園の数										1	96
	学校・園の患者数合計										10	1,378
小山町	学校・園の数										0	23
	学校・園の患者数合計										0	211
富士市	学校・園の数										2	170
	学校・園の患者数合計										78	3,255
富士宮市	学校・園の数										0	82
	学校・園の患者数合計										0	2,076
静岡市清水区	学校・園の数										0	142
	学校・園の患者数合計										0	2,869
静岡市葵区	学校・園の数										0	163
	学校・園の患者数合計										0	3,446
静岡市駿河区	学校・園の数										0	97
	学校・園の患者数合計										0	2,211

インフルエンザ施設別発生状況（学級閉鎖）について

2026年　　第13週　　3/23　～ 3/29

保：保育園　幼：幼稚園　小：小学校　中：中学校　高：高等学校
特支：特別支援学校　こ：こども園　高専：高等専門学校

市町	学級閉鎖があった学校・園の施設種別	保	幼	小	中	高	特支	こ	高専	今週合計	前週	今シーズン合計
島田市	学校・園の数										0	95
	学校・園の患者数合計										0	2,193
焼津市	学校・園の数										0	110
	学校・園の患者数合計										0	2,397
藤枝市	学校・園の数										0	147
	学校・園の患者数合計										0	3,133
牧之原市	学校・園の数										0	44
	学校・園の患者数合計										0	762
吉田町	学校・園の数										0	19
	学校・園の患者数合計										0	701
川根本町	学校・園の数										0	2
	学校・園の患者数合計										0	12
磐田市	学校・園の数										0	155
	学校・園の患者数合計										0	3,257
掛川市	学校・園の数										0	130
	学校・園の患者数合計										0	2,708
袋井市	学校・園の数										0	71
	学校・園の患者数合計										0	1,384
湖西市	学校・園の数										0	37
	学校・園の患者数合計										0	601
御前崎市	学校・園の数										0	21
	学校・園の患者数合計										0	444
菊川市	学校・園の数										0	38
	学校・園の患者数合計										0	644
森町	学校・園の数										0	17
	学校・園の患者数合計										0	482
浜松市中央区	学校・園の数										0	486
	学校・園の患者数合計										0	9,974
浜松市浜名区	学校・園の数										0	151
	学校・園の患者数合計										0	3,203
浜松市天竜区	学校・園の数										0	17
	学校・園の患者数合計										0	222
県内合計	学校・園の数										4	2,773
	学校・園の患者数合計										96	55,778
2025-2026シーズン施設別合計	学校・園の数	22	124	1,530	648	358	31	60				
	学校・園の患者数合計	220	1,125	29,823	13,049	10,377	454	730				

・引き続き、咳エチケット※、手洗い、換気等、基本的な感染対策をお願い致します。
（※　咳をするときに服のそでやハンカチで口鼻をおおう、マスクの適切な着用が可能なら咳の出るときはマスクを着ける）

新型コロナ変異株ゲノム解析結果について（月１回更新しています）

＜変異株の件数＞2 月 23 日（月）～3 月 22 日（日）判明分

保健所	賀茂	熱海	東部	御殿場	富士	中部	西部	合計
デルタ株	0	0	0	0	0	0	0	0
オミクロン株	0	0	0	0	0	0	1	1
（内BA.2）	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)
（内BA.5）	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
（内組換体）	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

本県の変異株の判明状況（3 月 22 日時点）

		合計	県	静岡市	浜松市
合計（デルタ株＋オミクロン株）	判明者数	11,326	6,436	2,482	2,408
	（前回からの増加数）	(1)	(1)	(0)	(0)
デルタ株（R3.5.16～）	判明者数	2,411	1,256	648	507
	（前回からの増加数）	(0)	(0)	(0)	(0)
オミクロン株（R4.1.1～）	判明者数	8,915	5,180	1,834	1,901
	（前回からの増加数）	(1)	(1)	(0)	(0)
※オミクロン株【内、BA.２】	判明者数	2,173	1,131	562	480
	（前回からの増加数）	(1)	(1)	(0)	(0)
※オミクロン株【内、BA.５】	判明者数	3,515	2,399	831	285
	（前回からの増加数）	(0)	(0)	(0)	(0)
※オミクロン株【内、組換体】	判明者数	903	525	106	272
	（前回からの増加数）	(0)	(0)	(0)	(0)

※県　　：国立遺伝学研究所でゲノム解析を実施
　静岡市：国立感染症研究所でゲノム解析を実施
　浜松市：浜松市保健環境研究所でゲノム解析を実施

過去１年間の本県の変異株（オミクロン株）の判明状況（3 月 22 日時点）

	オミクロン株判明数				全オミクロン株に占める割合		
	合計	内、BA.２	内、BA.５	内、組換体	BA.２	BA.５	組換体
２月24日（月）～３月23日（日）	24	9	0	15	37.5%	0.0%	62.5%
3月24日（月）～4月20日（日）	11	3	0	8	37.5%	0.0%	62.5%
4月21日（月）～5月25日（日）	5	2	0	3	37.5%	0.0%	62.5%
5月26日（月）～6月22日（日）	4	4	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
6月23日（月）～7月27日（日）	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
7月28日（月）～8月24日（日）	7	6	0	1	85.7%	0.0%	14.3%
8月25日（月）～9月21日（日）	3	3	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
9月22日（月）～10月26日（日）	21	19	0	2	90.5%	0.0%	9.5%
10月27日（月）～11月23日（日）	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
11月24日（月）～12月21日（日）	3	3	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
12月22日（月）～1月25日（日）	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
1月26日（月）～2月22日（日）	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
2月23日（月）～3月22日（日）	1	1	0	0	100.0%	0.0%	0.0%

ゲノム解析結果の系統別判明数（政令市含む）

2 月 23 日（月）～3 月 22 日（日）判明分（解析なし）

系統名	判明数	割合
PQ	0	0.0%
NB.1.8.1	0	0.0%
KP.3	0	0.0%
その他のKP	0	0.0%
XEC	0	0.0%
その他	1	100.0%
計	1	100.0%

静岡県感染症対策課　055-928-7220